

4. 血液製剤に関する情報の調査報告

(1) 「血液製剤使用実態調査」(千葉県)の結果報告

令和4年度調査
「血液製剤使用実態調査」(千葉県)

令和6年11月

千葉県合同輸血療法委員会

「血液製剤使用実態調査」（千葉県）データ解析

【目的】

千葉県の血液製剤適正使用推進事業の検討のため

【対象施設】

令和4年度「血液製剤使用実態調査」（別添）に回答した施設

【対象期間】

令和3年度（2021年4月1日～2022年3月31日）

【方法】

厚生労働省委託事業「輸血業務・輸血製剤年間使用量に関する総合的調査」より千葉県のデータを取得し、全国の状況と比較・検討を行う。

【調査結果】

1 医療機関の概要について

（1）病床数（表1）

表1. 輸血実施施設の病床数別分類

	0床	1～299床	300～499床	500床以上	合計
回答施設数	28	108	18	13	167

（2）医療機関の種類について（複数回答あり）（表2）

表2. 輸血施設種類別にみた病床ごとの施設数

	0床	1～299床	300～499床	500床以上	合計
地域医療支援病院	0	10	5	10	25
特定機能病院	0	1	1	3	5
臨床研究中核病院	0	0	1	3	4
一般病院	5	80	13	4	102
診療所	21	17	0	0	38
へき地医療拠点病院	0	0	0	0	0
その他	2	4	0	1	7

(3) 診療科について（複数回答あり）（表3）

表3. 施設規模別の診療科の割合（%）

	0 床		1～299 床		300～499 床		500 床以上		全体	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
心臓血管外科	0	0.00	11	10.19	11	61.11	13	100.0	35	20.96
消化器外科	0	0.00	44	40.74	14	77.78	12	92.31	70	41.92
脳神経外科	2	7.14	39	36.11	15	83.33	13	100.0	69	41.32
呼吸器外科	0	0.00	6	5.56	12	66.67	12	92.31	30	17.96
整形外科	4	14.29	79	73.15	17	94.44	13	100.0	113	67.66
産婦人科	0	0.00	29	26.85	12	66.67	13	100.0	54	32.34
皮膚科・形成外科	2	7.14	51	47.22	17	94.44	13	100.0	83	49.70
泌尿器科	7	25.00	61	56.48	17	94.44	13	100.0	98	58.68
その他外科	6	21.43	34	31.48	12	66.67	12	92.31	64	38.32
血液内科	1	3.57	10	9.26	11	61.11	12	92.31	34	20.36
循環器内科	2	7.14	62	57.41	15	83.33	13	100.0	92	55.09
消化器内科	2	7.14	60	55.56	17	94.44	13	100.0	92	55.09
呼吸器内科	2	7.14	47	43.52	15	83.33	13	100.0	77	46.11
腎臓内科	12	42.86	34	31.48	11	61.11	12	92.31	69	41.32
神経内科	1	3.57	40	37.04	13	72.22	12	92.31	66	39.52
膠原病リウマチ科	1	3.57	23	21.30	9	50.00	11	84.62	44	26.35
内分泌代謝科	1	3.57	33	30.56	9	50.00	12	92.31	55	32.93
その他の内科	12	42.86	47	43.52	10	55.56	12	92.31	81	48.50
精神科・心療内科	3	10.71	17	15.74	12	66.67	11	84.62	43	25.75
小児科	2	7.14	34	31.48	14	77.78	13	100.0	63	37.72
腫瘍治療科	0	0.00	1	0.93	3	16.67	4	30.77	8	4.79
救急科	0	0.00	23	21.30	12	66.67	13	100.0	48	28.74
歯科・口腔外科	1	3.57	19	17.59	11	61.11	12	92.31	43	25.75
その他の診療科	4	14.29	19	17.59	7	38.89	8	61.54	38	22.75
回答施設合計	28		108		18		13		167	

2 血液製剤の納入状況

(1) 各製剤の購入量

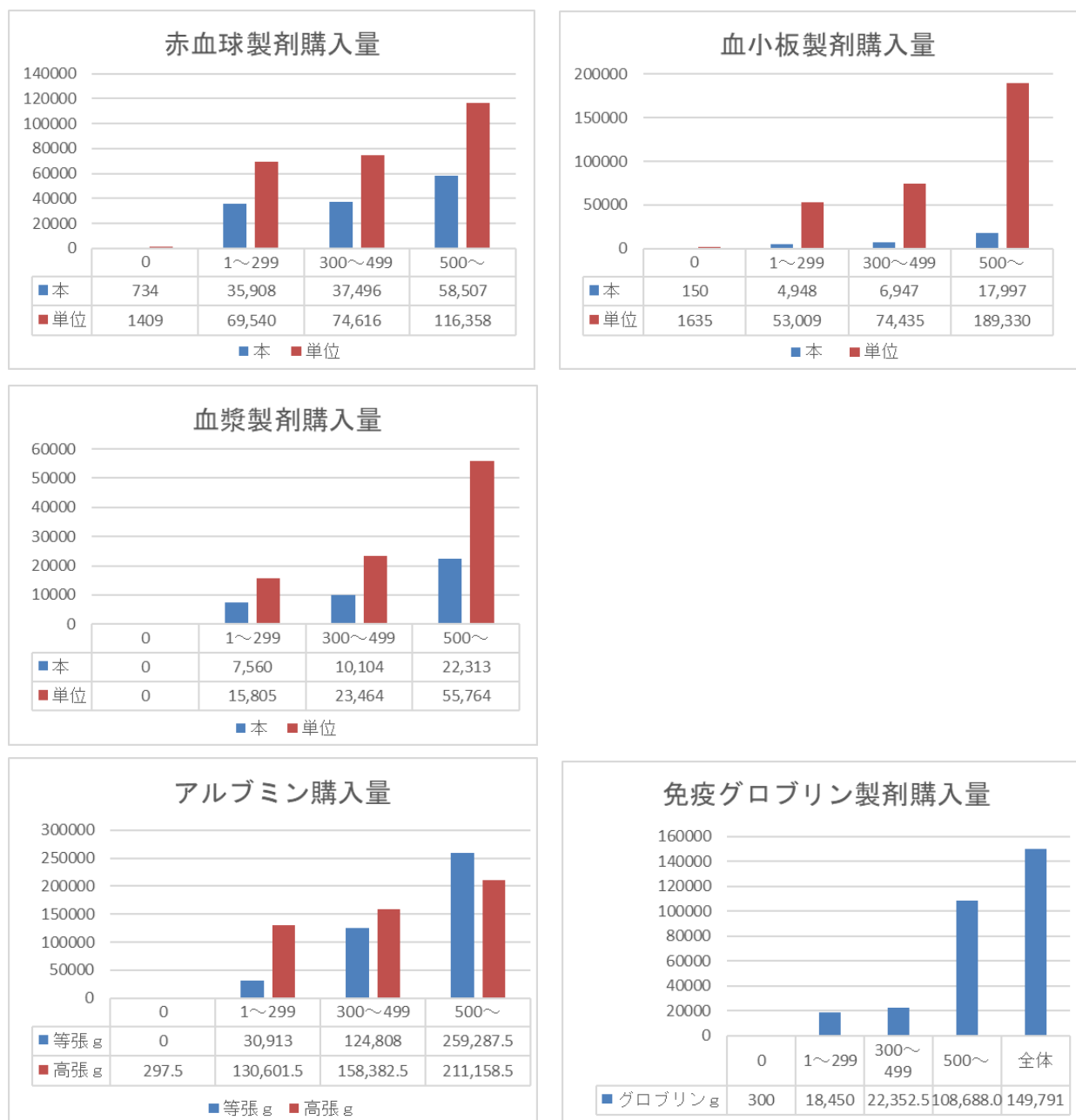


図1. 血液製剤購入

この調査では、いずれも施設規模が大きくなるほど購入量が多かった（図1）。

(2) 血液製剤の廃棄率

血液廃棄率（％）＝全血液廃棄袋数／全購入血液袋数とした

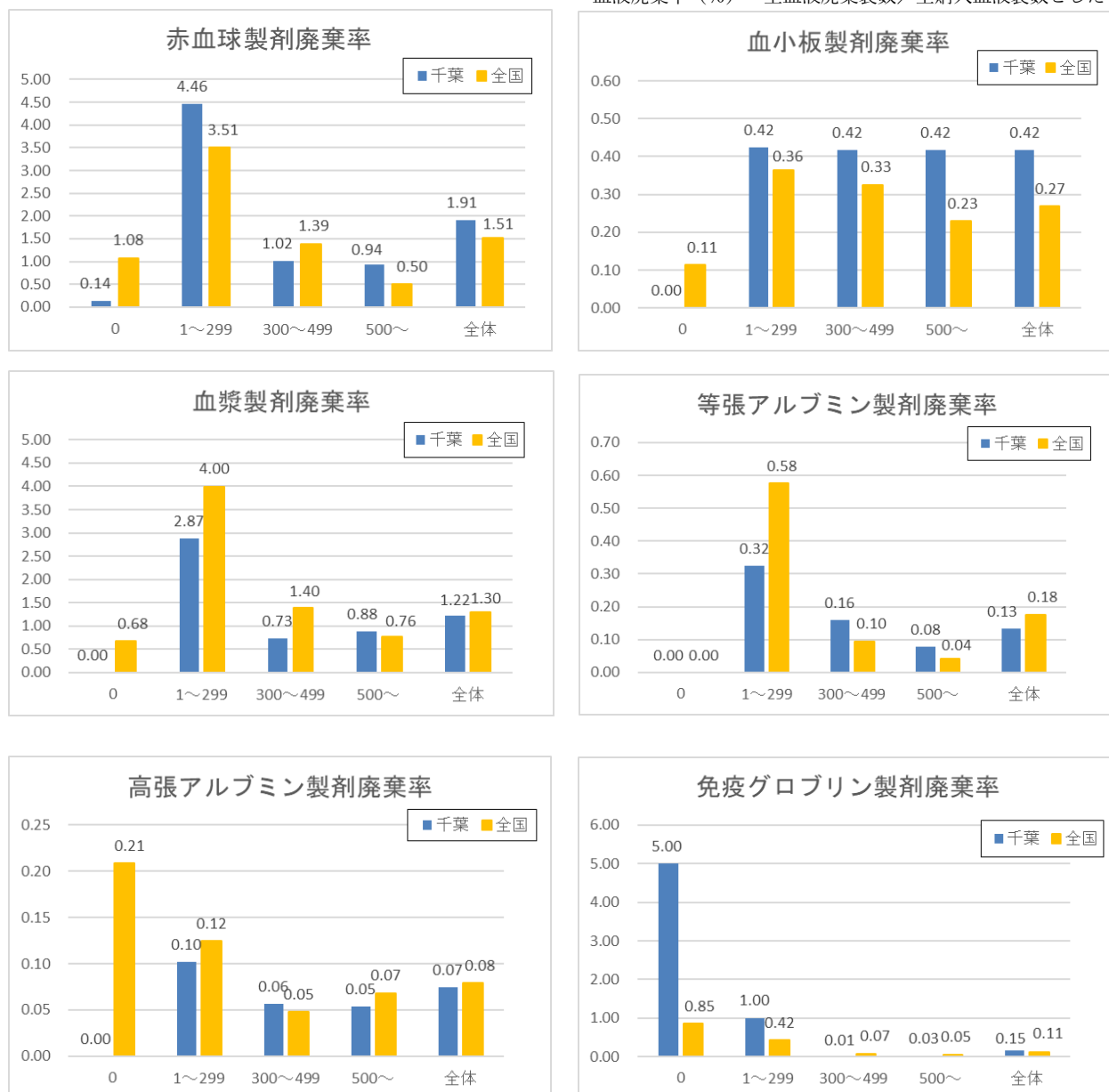


図2. 血液製剤廃棄率（％）

廃棄率について、千葉県全体の廃棄率は全国より赤血球製剤と血小板製剤で高い傾向にあった。病床別では、赤血球製剤は1～299床の施設が、血小板製剤は0床を除くすべての病床において高い結果であった。（図2）。

等張アルブミン製剤及び高張アルブミン製剤、免疫グロブリン製剤では、1～299床の施設での廃棄率が高かった。免疫グロブリン製剤において、0床の施設で廃棄率が高い結果となったが、これは今回1施設のみの回答であり施設の状況がそのまま反映されていると考えられた。

3 輸血用血液製剤の使用実態について

(1) 年間の輸血用血液製剤の投与本数（製剤別・診療科別）

①赤血球製剤

赤血球製剤は、対象施設の総数として1単位製剤が3,325本、2単位製剤が133,114本、合成血液の2単位製剤が2本であり、すべてを合わせた使用本数が136,495本、総使用単位数は269,665単位であった。また、解凍赤血球の使用はなかった（表4）。

表4. 赤血球製剤の総使用量

病床数	製剤	赤血球液		洗浄赤血球液		解凍赤血球液		合成血液		赤血球製剤 (本数・単位) 合計
		LR-1	LR-2	LR-1	LR-2	LR-1	LR-2	LR-1	LR-2	
(本)	0	98	530	0	0	0	0	0	0	628
	1～299	2142	31697	0	10	0	0	0	2	33851
	300～499	370	36774	0	25	0	0	0	0	37169
	500～	715	64113	0	19	0	0	0	0	64847
	総計	3325	133114	0	54	0	0	0	2	136495
(単位)	0	98	1060	0	0	0	0	0	0	1158
	1～299	2142	63394	0	20	0	0	0	4	65560
	300～499	370	73548	0	50	0	0	0	0	73968
	500～	715	128226	0	38	0	0	0	0	128979
	総計	3325	266228	0	108	0	0	0	4	269665

診療科別の使用単位は、血液内科が最多で38,871単位（16.73%）、次いで心臓血管外科が32,733単位（14.09%）、その他の内科が24,912単位（10.72%）と消化器内科が19,208単位（8.27%）と続いた（図3、表7）。

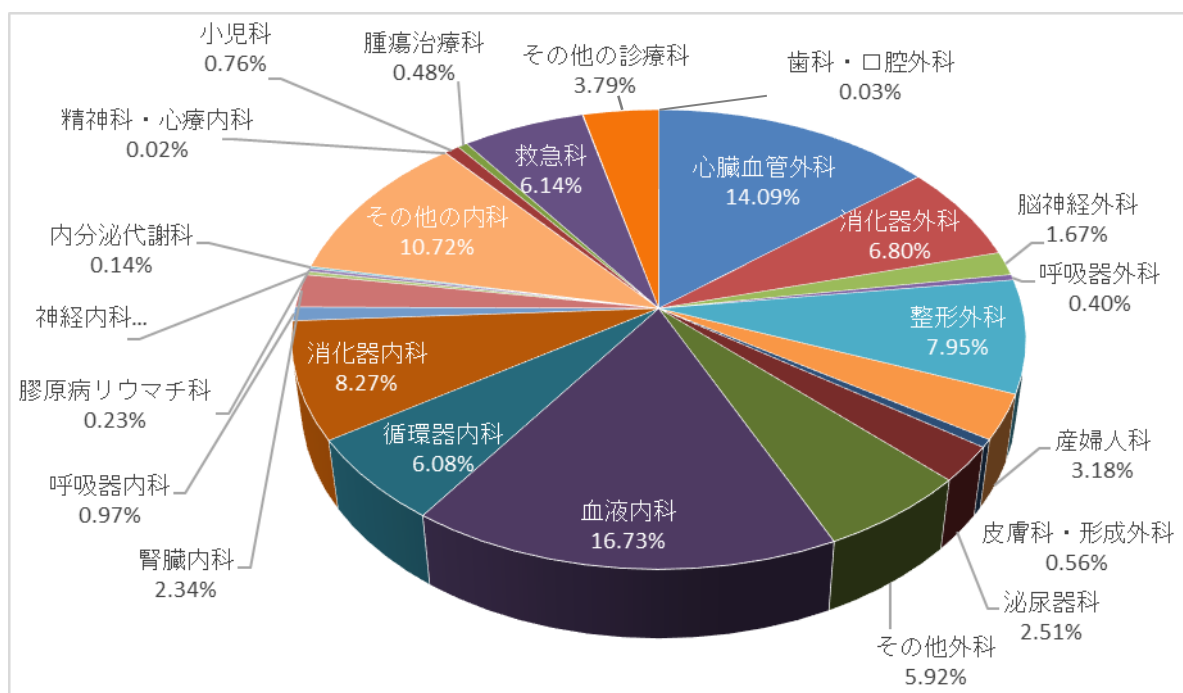


図3. 赤血球製剤の診療科別使用単位数 (%)

②血小板製剤

血小板製剤は、対象施設の総数が 31,961 本、総使用単位数は 338,247 単位であった。製剤別では 1 単位製剤の使用はなく、5 単位製剤は 102 本、10 単位製剤（PC-HLA、照射洗浄 PC、照射洗浄 PC-HLA を含む）は 30,018 本、15 単位製剤（PC-HLA 含む）が 53 本、20 単位製剤（PC-HLA を含む）が 1889 本であった（表 5）。PC-HLA と洗浄血小板を除く血小板のうち、93% は 10 単位製剤が使用されていた。

表 5. 血小板製剤の総使用量

	製剤 病床数	製剤											合計
		LR-1	LR-2	LR-5	LR-10	LR-15	LR-20	PC-HLA -LR-10	PC-HLA -LR-15	PC-HLA -LR-20	Ir-WPC -LR-10	Ir-WPC -HLA -LR-10	
(本)	0	0	0	0	132	1	13	4	0	0	0	0	150
	1～299	0	1	23	4458	12	366	56	0	1	0	0	4917
	300～499	0	0	42	6288	13	505	61	6	4	1	0	6920
	500～	0	0	37	18422	19	997	160	2	3	331	3	19974
	総計	0	1	102	29300	45	1881	281	8	8	332	3	31961
(単位)	0	0	0	0	1320	15	260	40	0	0	0	0	1635
	1～299	0	2	115	44580	180	7320	560	0	20	0	0	52777
	300～499	0	0	210	62880	195	10100	610	90	80	10	0	74175
	500～	0	0	185	184220	285	19940	1600	30	60	3310	30	209660
	総計	0	2	510	293000	675	37620	2810	120	160	3320	30	338247

診療科別の使用単位は、血液内科が最多で 148,585 単位（50.00%）次いで心臓血管外科が 41,985 単位（14.13%）、その他の内科が 41,549 単位（13.98%）、小児科が 10,830 単位（3.64%）と続いた（図 4、表 7）。

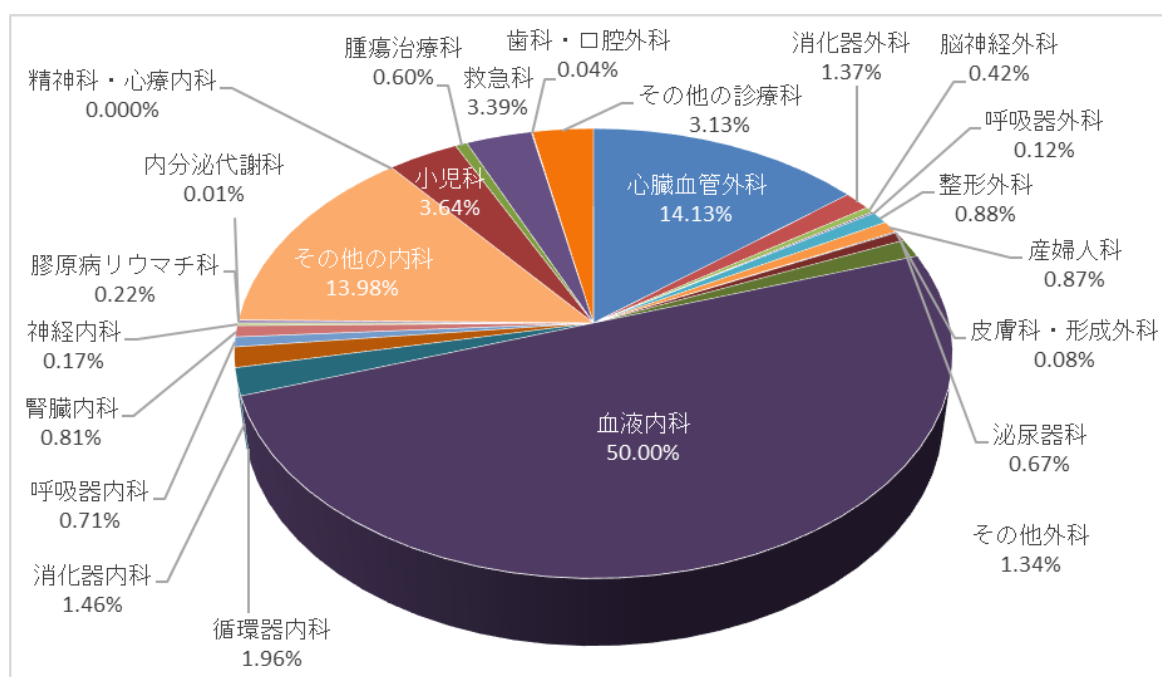


図 4. 血小板製剤の診療科別使用単位数 (%)

③血漿製剤

血漿製剤は、対象施設の総数が 43,379 本、総使用単位数は 103,273 単位であった。製剤別は 120mL 製剤が 619 本、240mL 製剤が 34,193 本、480mL 製剤が 8,567 本であった（表 6）。

表 6. 血漿製剤の使用量

	製剤 病床数	LR-120	LR-240	LR-480	合計
(本)	0	0	0	0	0
	1～299	150	6813	368	7331
	300～499	390	7780	1797	9967
	500～	79	19600	6402	26081
	総計	619	34193	8567	43379
(単位)	0	0	0	0	0
	1～299	150	13626	1472	15248
	300～499	390	15560	7188	23138
	500～	79	39200	25608	64887
	総計	619	68386	34268	103273

診療科別の使用単位は、心臓血管外科が最多で 29,909 単位（33.42%）、次いで、救急科が 11,297 単位（12.62%）その他の内科が 8,004 単位（8.94%）さらに消化器外科が 7,278 単位（8.13%）と続いた（図 5、表 7）。

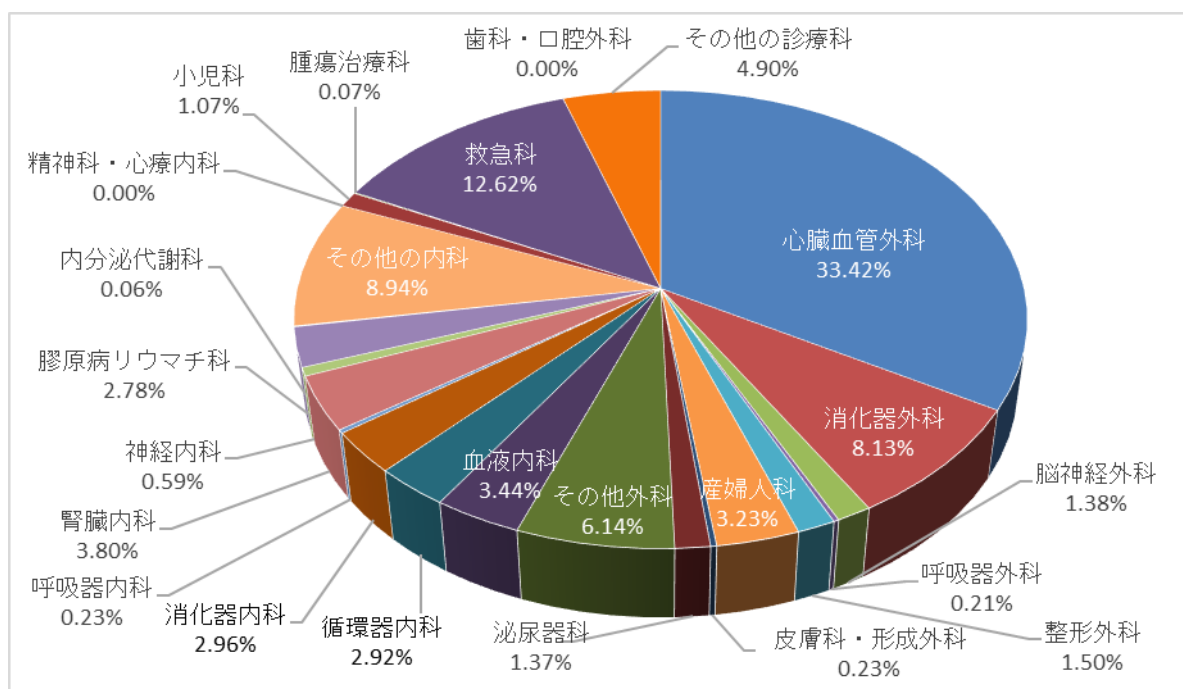


図 5. 血漿製剤の診療科別使用単位数 (%)

④免疫グロブリン製剤の使用実績について

診療科別免疫グロブリン使用量は、神経内科、小児科、血液内科の順で多く使用されていた（図6）。疾患別件数では、重症感染症、低・無ガンマグロブリン血症、川崎病の順で使用されていた（図7、表7）。

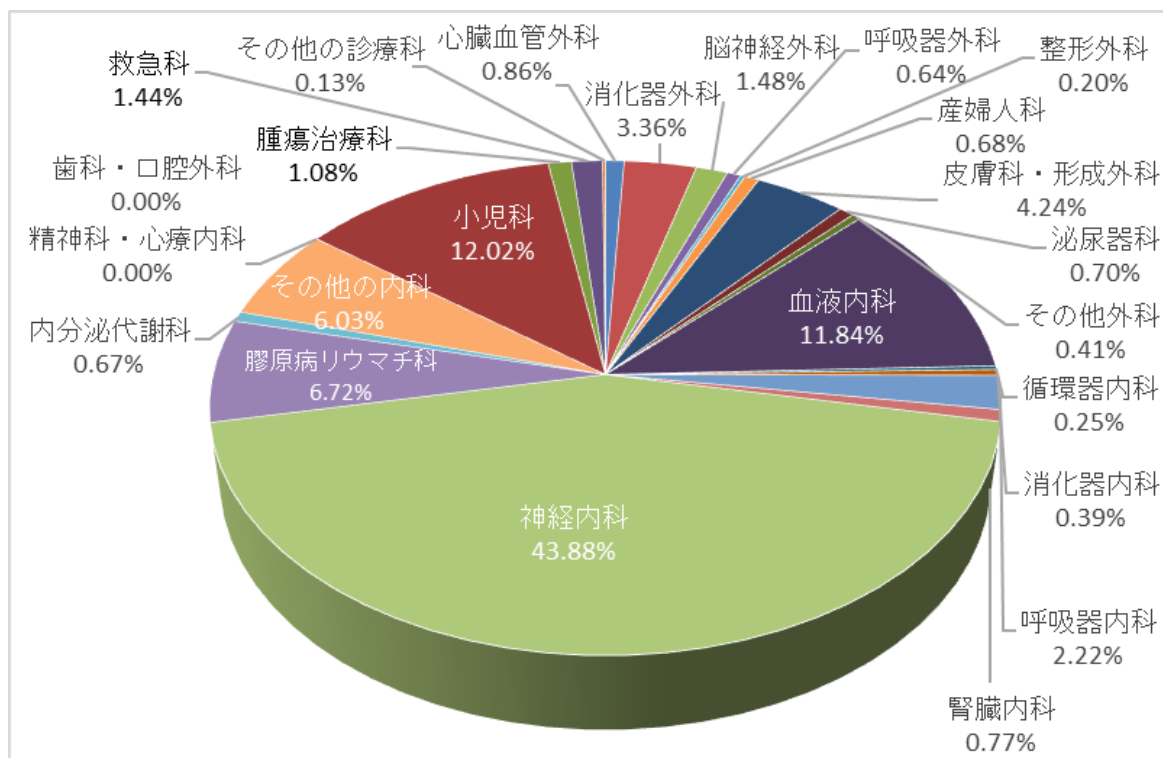


図6. 診療科別免疫グロブリン使用量

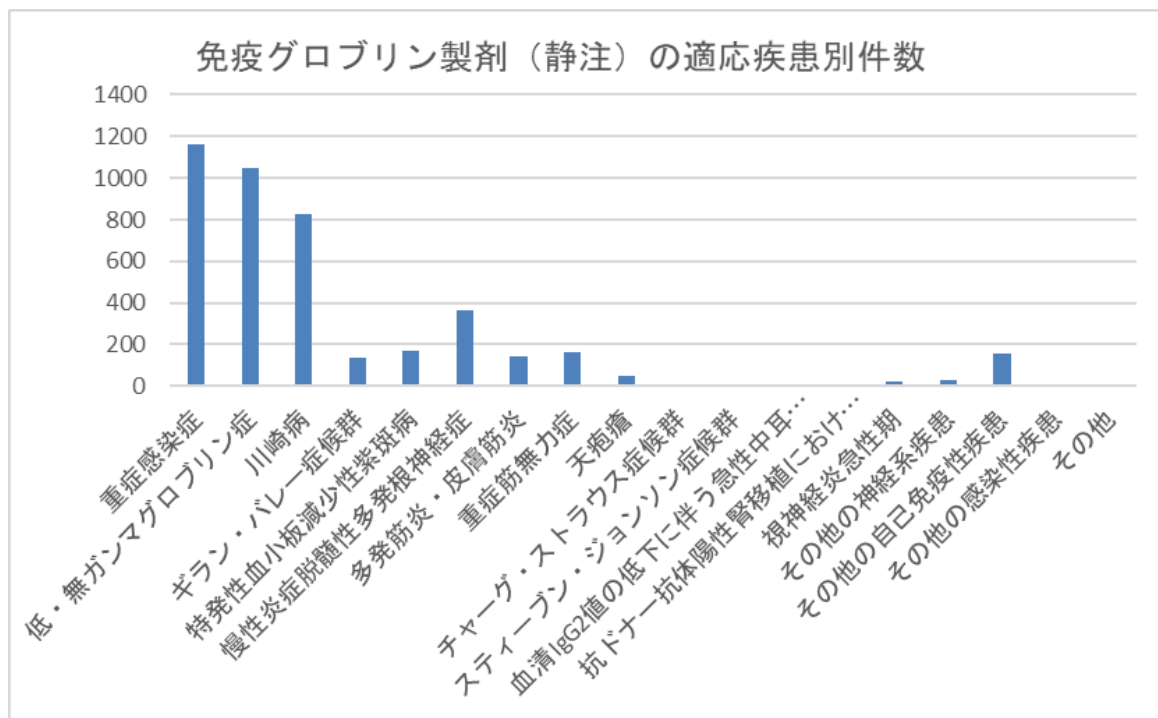


図7. 適応疾患別件数

表 7 診療科別の血液製剤使用割合 (%)

	①赤血球製剤	②血小板製剤	③血漿製剤	④免疫グロブリン製剤
心臓血管外科	14.09	14.13	33.42	0.86
消化器外科	6.80	1.37	8.13	3.36
脳神経外科	1.67	0.42	1.38	1.48
呼吸器外科	0.40	0.12	0.21	0.64
整形外科	7.95	0.88	1.50	0.20
産婦人科	3.18	0.87	3.23	0.68
皮膚科・形成外科	0.56	0.08	0.23	4.24
泌尿器科	2.51	0.67	1.37	0.70
その他外科	5.92	1.34	6.14	0.41
血液内科	16.73	50.00	3.44	11.84
循環器内科	6.08	1.96	2.92	0.25
消化器内科	8.27	1.46	2.96	0.39
呼吸器内科	0.97	0.71	0.23	2.22
腎臓内科	2.34	0.81	3.80	0.77
神経内科	0.25	0.17	0.59	43.88
膠原病リウマチ科	0.23	0.22	2.78	6.72
内分泌代謝科	0.14	0.01	0.06	0.67
その他の内科	10.72	13.98	8.94	6.03
精神科・心療内科	0.02	0.00	0.00	0.00
小児科	0.76	3.64	1.07	12.02
腫瘍治療科	0.48	0.60	0.07	1.08
救急科	6.14	3.39	12.62	1.44
歯科・口腔外科	0.03	0.04	0.00	0.00
その他の診療科	3.79	3.13	4.90	0.13
合計	100.0	100.0	100.0	100.0

⑤アルブミン製剤の使用実績について

アルブミン製剤は、等張 370,687.5 g、高張 468,492.5 g、全体 839,180 g であった。国産、海外・献血、海外・非献血、その他でみたアルブミン原料血漿別割合は等張製剤：27.3%、43.9%、26.6%、2.2%、高張製剤：69.5%、0.3%、29.3%、0.8%、全体：50.9%、19.5%、28.1%、1.4%であった（表 8、図 8）。

表 8. アルブミン製剤の使用割合（%）

	等張製剤	高張製剤	全体
国産	27.3	69.5	50.9
海外・献血	43.9	0.3	19.5
海外・非献血	26.6	29.3	28.1
国産・海外不明	2.2	0.8	1.4
合計	100.0	100.0	100.0

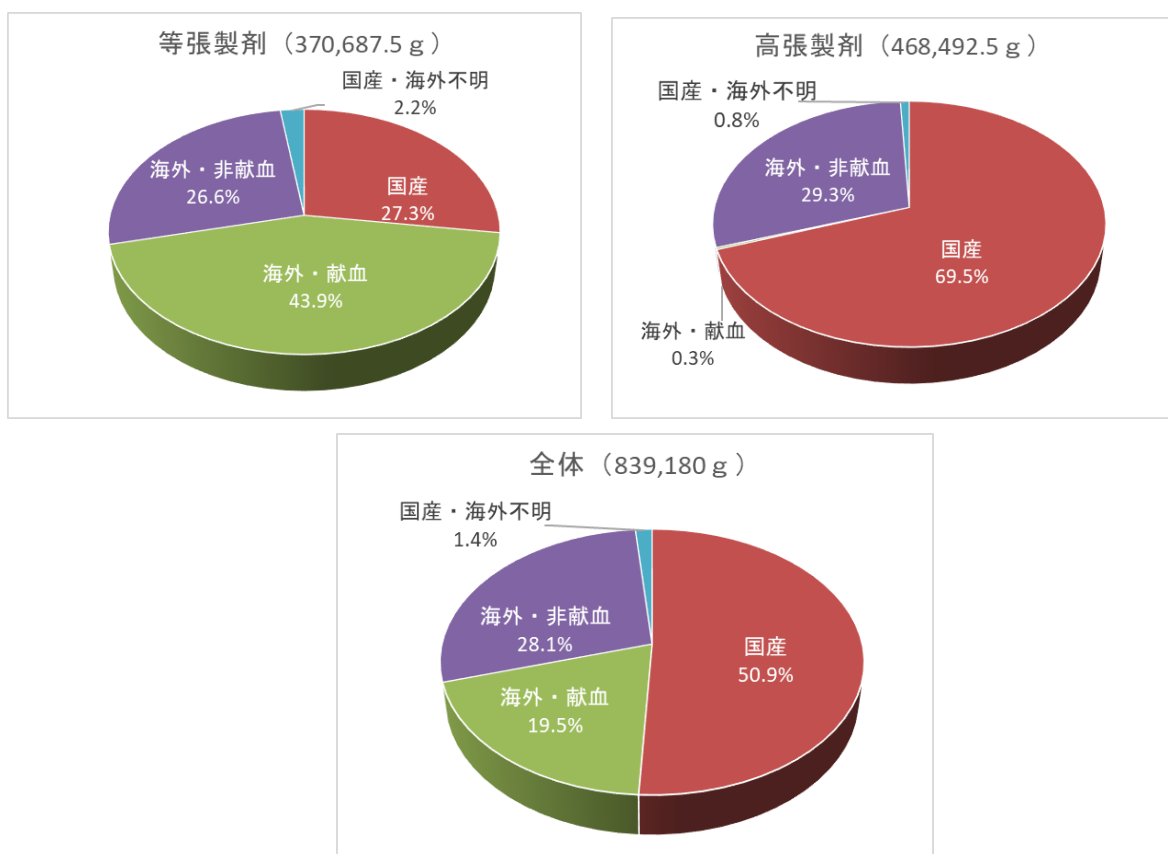


図 8. アルブミン原料血漿別割合

4 製剤別 1 病床あたりの年間使用量

製剤別の 1 病床あたりの年間使用量を図 9～13 に示す。

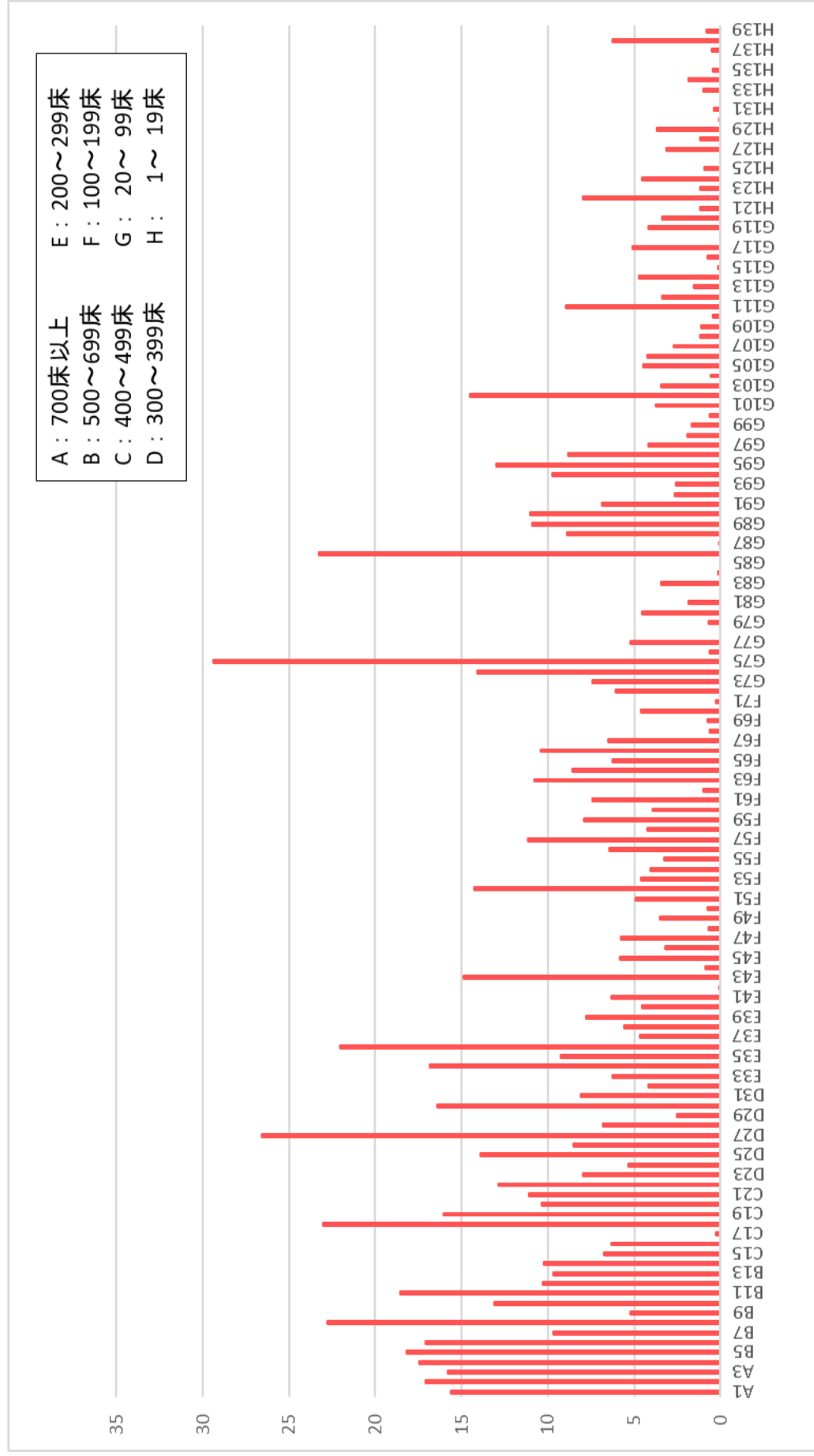


図 9. 【赤血球製剤】 1 病床あたりの年間使用量 (単位/床)

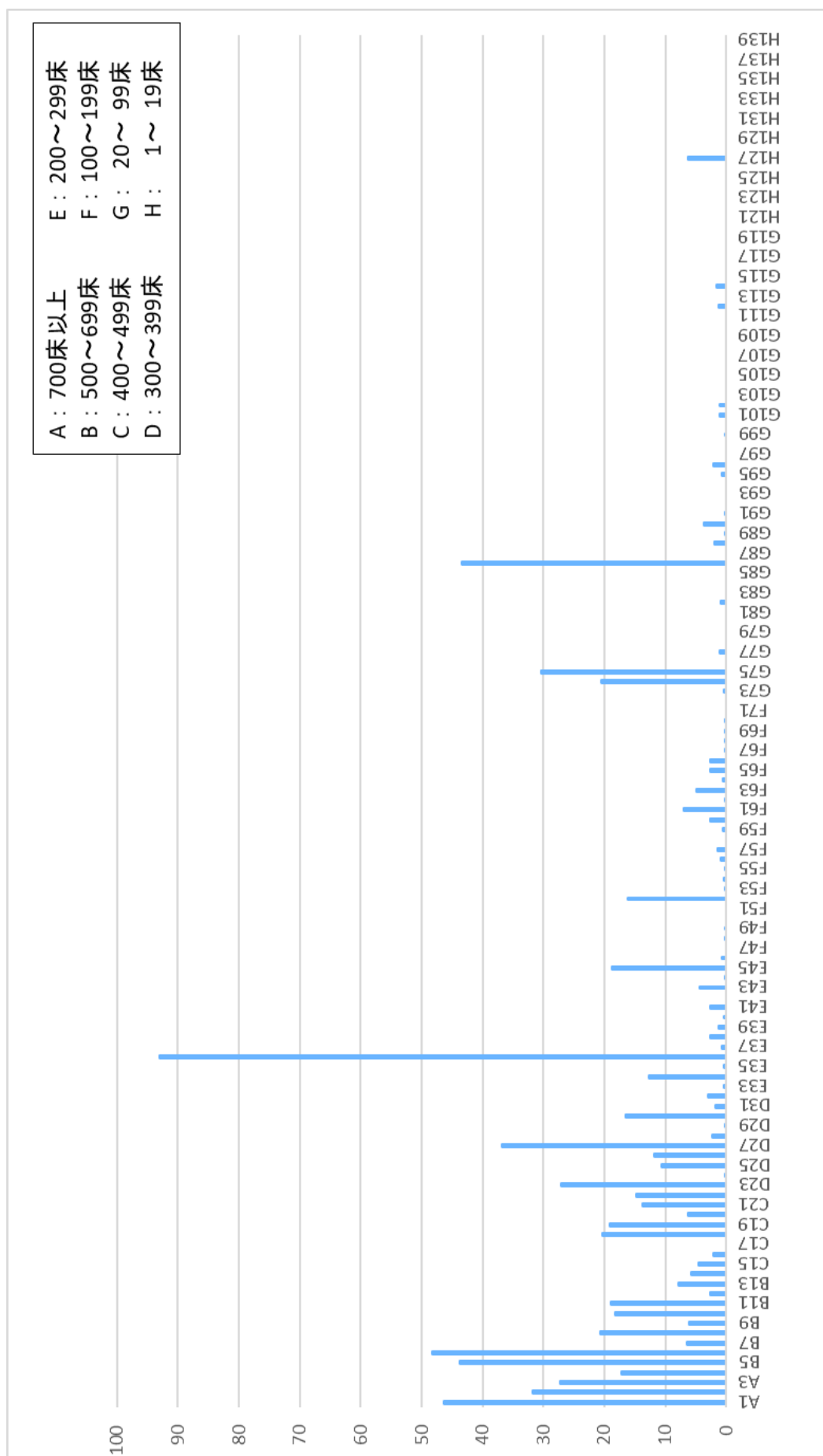
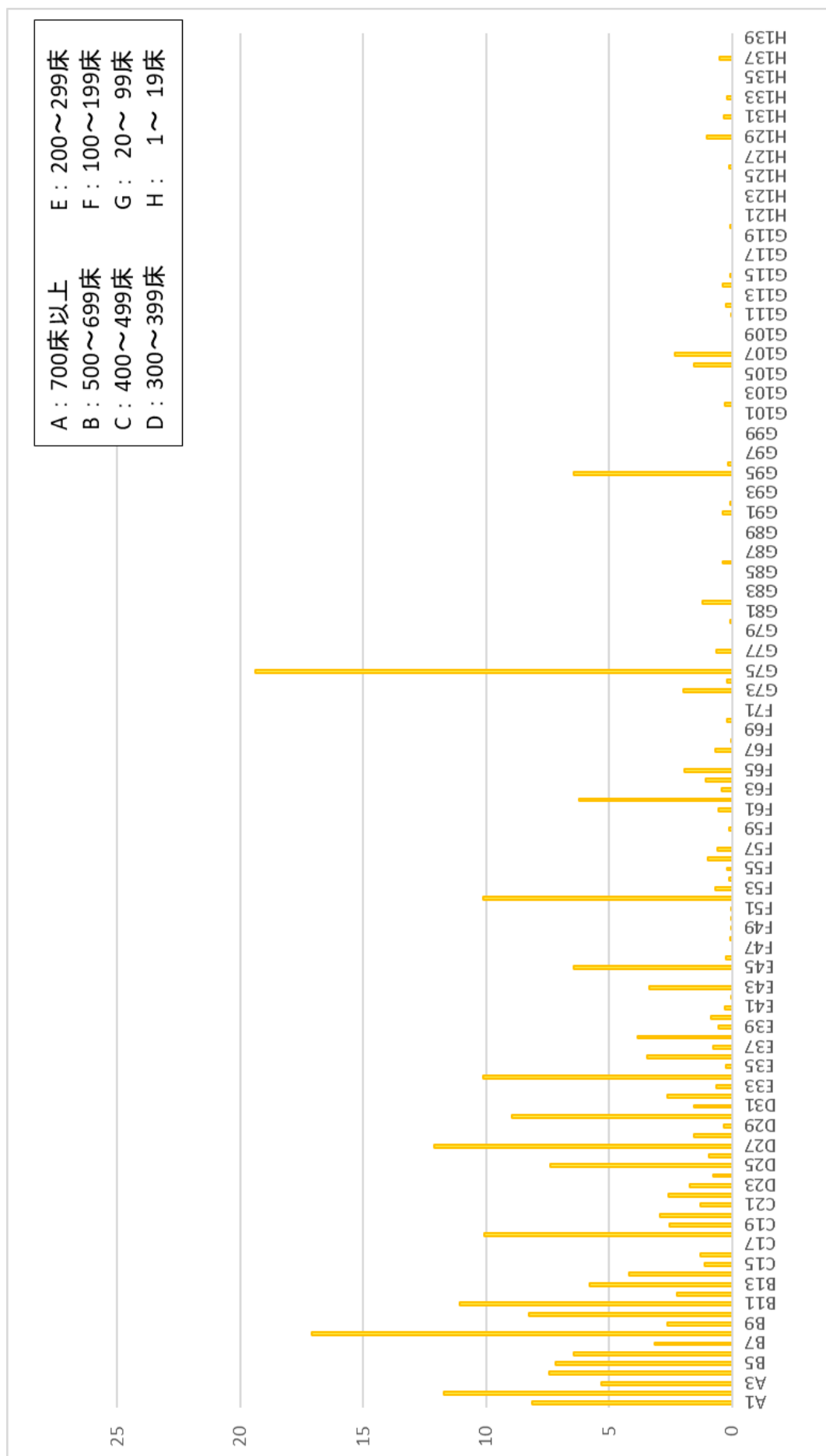


図 10. 【血小板製剤】 1 病床あたりの年間使用量 (単位/床)



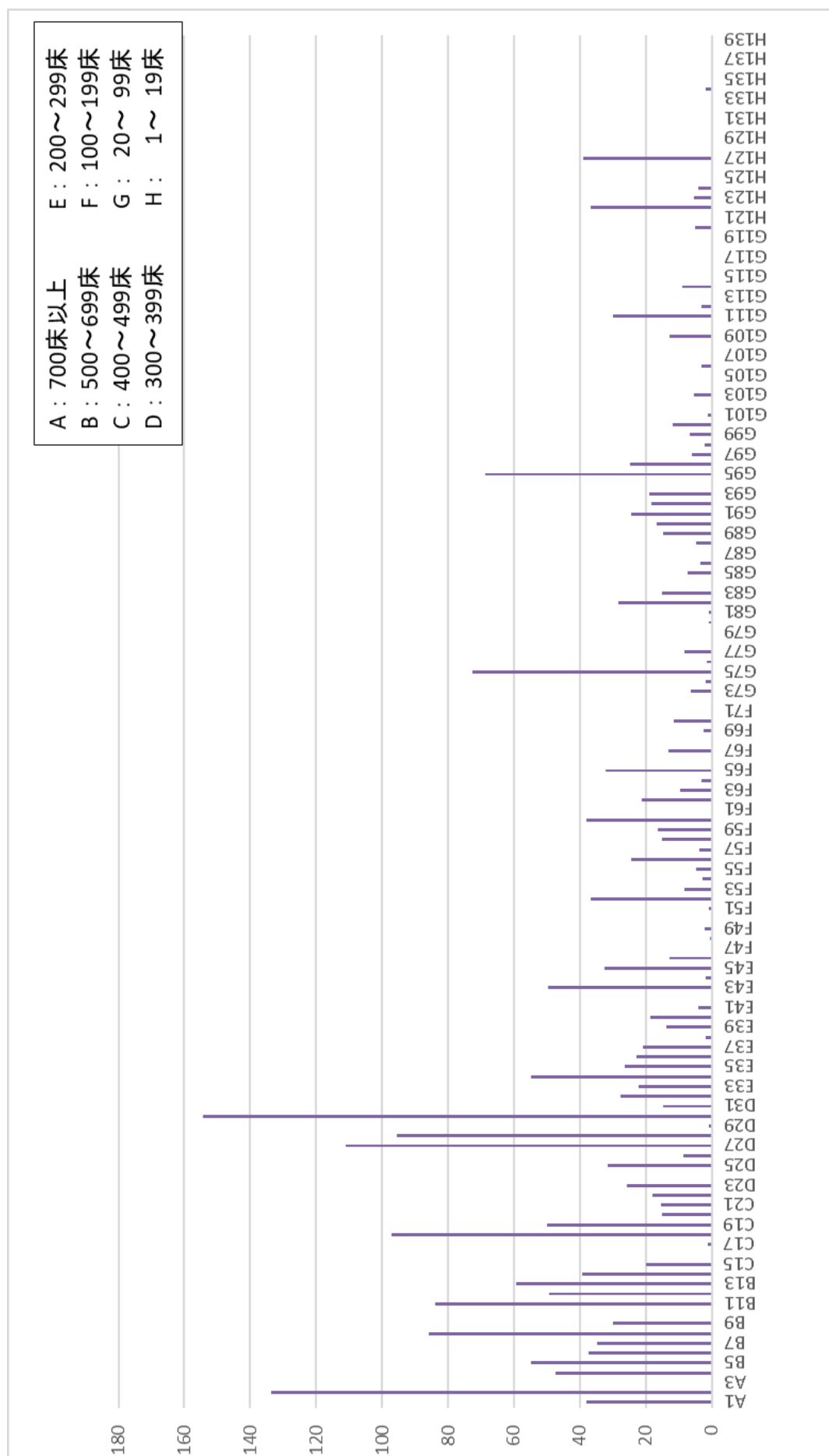


図 12. 【総アルブミン使用量】 1 病床あたりの年間使用量 (g/床)

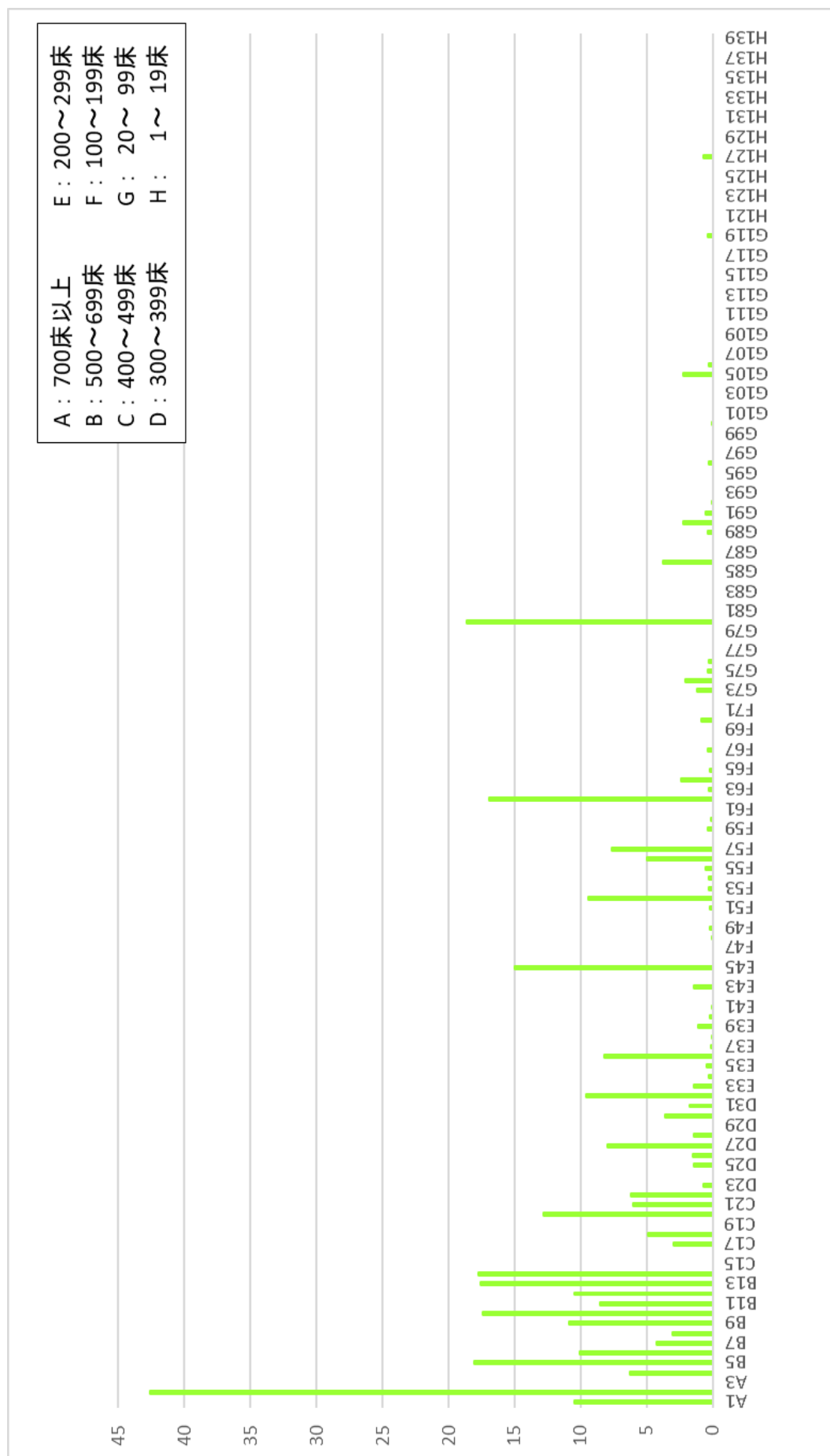


図 13. 【免疫グロブリン使用量】 1 病床あたりの年間使用量 (g/床)

5 千葉県と全国の比較

(1) 製剤別購入量 (表9～14)

<赤血球製剤>

表9. 千葉県と全国の「赤血球製剤の購入総袋(本)数と総単位数」

千葉県

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
赤血球製剤総袋(本)数	0床	26	2	316	28.23	734	62.55
	1～299床	103	1	3062	348.62	35908	505.97
	300～499床	18	58	4974	2083.11	37496	1273.08
	500床以上	12	1660	7051	4875.58	58507	1922.94
	全体	159	1	7051	834.25	132645	1508.80
赤血球製剤総単位数	0床	26	2	622	54.19	1409	123.62
	1～299床	103	2	6124	675.15	69540	994.06
	300～499床	18	113	9884	4145.33	74616	2533.52
	500床以上	12	3314	14047	9696.50	116358	3848.36
	全体	159	2	14047	1647.31	261923	3004.57

全 国

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
赤血球製剤総袋(本)数	0床	798	1	1342	27.67	22081	64.41
	1～299床	2966	1	4555	218.28	647420	345.60
	300～499床	427	1	12496	1661.94	709648	1226.93
	500床以上	255	18	11973	4631.35	1180995	2186.36
	全体	4446	1	12496	575.83	2560144	1301.52
赤血球製剤総単位数	0床	798	1	2670	52.60	41977	126.19
	1～299床	2966	1	9046	423.05	1254775	678.07
	300～499床	427	2	24990	3279.33	1400273	2431.81
	500床以上	255	36	23915	9165.66	2337243	4301.83
	全体	4446	1	24990	1132.31	5034268	2573.67

<血小板製剤>

表10. 千葉県と全国の「血小板製剤の購入総袋(本)数と総単位数」

千葉県

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
血小板製剤総袋(本)数	0床	2	41	109	75.00	150	48.08
	1～299床	55	0	2484	89.96	4948	340.58
	300～499床	17	8	1148	408.65	6947	360.84
	500床以上	12	351	3839	1499.75	17997	1196.88
	全体	86	0	3839	349.33	30042	718.65
血小板製剤総単位数	0床	2	540	1095	817.50	1635	392.44
	1～299床	55	0	25840	963.80	53009	3545.72
	300～499床	17	80	12275	4378.53	74435	3788.21
	500床以上	12	3790	41620	15777.50	189330	12478.20
	全体	86	0	41620	3702.43	318409	7520.97

全 国

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
血小板製剤総袋(本)数	0床	94	1	1195	28.12	2643	124.47
	1～299床	1547	1	3672	53.64	82982	198.47
	300～499床	419	1	3205	404.31	169405	484.89
	500床以上	255	1	11568	1743.04	444474	1386.14
	全体	2315	1	11568	302.16	699504	745.21
血小板製剤総単位数	0床	94	1	11940	284.03	26699	1247.32
	1～299床	1547	1	38685	569.34	880764	2042.01
	300～499床	419	10	32115	4355.34	1824887	5360.91
	500床以上	255	5	115560	18262.76	4657003	14326.43
	全体	2315	1	115560	3191.95	7389353	7796.49

<血漿製剤>

表 11. 千葉県と全国の「血漿製剤の購入総袋（本）数と総単位数」

千葉県

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
新鮮凍結血漿製剤 総袋(本)数	0床					
	1～299床	60	1	1414	126.00	7560
	300～499床	17	34	1513	594.35	10104
	500床以上	12	625	3233	1859.42	22313
	全体	89	1	3233	449.18	39977
新鮮凍結血漿製剤 総単位数	0床					
	1～299床	60	1	2878	263.42	15805
	300～499床	17	122	4358	1380.24	23464
	500床以上	12	1282	10450	4647.00	55764
	全体	89	1	10450	1067.79	95033

全 国

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
新鮮凍結血漿製剤 総袋(本)数	0床	16	1	33	9.19	147
	1～299床	1258	1	2070	65.94	82947
	300～499床	411	1	12202	447.95	184106
	500床以上	254	3	8692	1778.22	451667
	全体	1939	1	12202	370.74	718867
新鮮凍結血漿製剤 総単位数	0床	16	2	132	22.25	356
	1～299床	1258	1	4144	146.09	183783
	300～499床	411	2	23860	1032.55	424380
	500床以上	254	6	21942	4447.02	1129543
	全体	1939	1	23860	896.37	1738062

<アルブミン製剤>

表 12. 千葉県と全国の「アルブミン製剤の購入量（g）」

千葉県

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
等張アルブミン製剤 (5%)	0床					
	1～299床	67	0.0	4562.5	461.38	30912.5
	300～499床	16	0.0	27625.0	7800.47	124807.5
	500床以上	12	5875.0	61125.0	21607.29	259287.5
	全体	95	0.0	61125.0	4234.77	415007.5
高張アルブミン製剤 (20%)	0床	3	0.0	10.0	3.33	10.0
	1～299床	68	0.0	9980.0	481.82	32764.0
	300～499床	16	0.0	30060.0	6201.25	99220.0
	500床以上	12	0.0	43200.0	5065.50	60786.0
	全体	99	0.0	43200.0	1947.27	192780.0
高張アルブミン製剤 (25%)	0床	3	0.0	250.0	95.83	287.5
	1～299床	69	0.0	13375.0	1417.93	97837.5
	300～499床	16	0.0	22500.0	3697.66	59162.5
	500床以上	12	450.0	22250.0	12531.04	150372.5
	全体	100	0.0	22500.0	3076.60	307660.0
アルブミン製剤合計	0床	3	10.0	250.0	99.17	297.5
	1～299床	71	0.0	15750.0	2274.85	161514.0
	300～499床	16	265.0	49672.5	17699.38	283190.0
	500床以上	12	17950.0	107800.0	39203.83	470446.0
	全体	102	0.0	107800.0	8974.98	915447.5

全 国

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
等張アルブミン製剤 (5%)	0床	7	12.5	662.5	200.00	1400.0
	1～299床	732	5.0	44625.0	982.63	719285.0
	300～499床	327	10.0	62012.5	5467.23	1787785.0
	500床以上	235	25.0	92000.0	17505.85	4113875.0
	全体	1301	5.0	92000.0	5090.20	6622345.0
高張アルブミン製剤 (20%)	0床	37	4.0	10000.0	422.86	15646.0
	1～299床	473	8.0	60000.0	1856.31	878034.0
	300～499床	137	16.0	43330.0	7722.29	1057954.0
	500床以上	118	4.0	81500.0	12813.93	1512044.0
	全体	765	4.0	81500.0	4527.68	3463678.0
高張アルブミン製剤 (25%)	0床	145	10.0	18137.5	577.55	83745.0
	1～299床	1518	5.0	22000.0	1727.20	2621882.5
	300～499床	270	15.0	76925.0	9142.17	2468385.0
	500床以上	177	25.0	194125.0	24359.14	4311567.5
	全体	2110	5.0	194125.0	4495.54	580.0
アルブミン製剤合計	0床	186	4.0	18137.5	541.89	100971.0
	1～299床	2035	5.0	60000.0	2073.32	4219201.5
	300～499床	385	25.0	138937.5	13802.92	5314124.0
	500床以上	240	50.0	213412.5	41406.19	9937486.5
	全体	2846	4.0	213412.5	6876.88	19571603.0

<免疫グロブリン製剤>

表 13. 千葉県と全国の「免疫グロブリン製剤（静注）の購入量（g）」

千葉県

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
免疫グロブリン製剤： 静注／(g)	0床	1	300.0	300.0	300.0	
	1～299床	47	0.0	2885.0	374.15	17585.0
	300～499床	12	220.0	8435.0	1862.71	22352.5
	500床以上	12	2125.0	34395.0	8839.17	106070.0
	全体	72	0.0	34395.0	2032.05	146307.5

全 国

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
免疫グロブリン製剤： 静注／(g)	0床	16	2.5	1860.0	200.47	3207.5
	1～299床	1120	0.5	43290.0	475.67	532754.0
	300～499床	325	10.0	24417.5	2484.67	807518.5
	500床以上	205	350.0	51158.5	10911.68	2236893.5
	全体	1666	0.5	51158.5	2149.08	3580373.5

表 14. 千葉県と全国の「免疫グロブリン製剤（皮下注）の購入量（g）」

千葉県

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
免疫グロブリン製剤： 皮下注／(g)	0床					
	1～299床	3	0.0	591.0	216.25	865.0
	300～499床					
	500床以上	7	22.0	1750.0	374.00	2618.0
	全体	10	0.0	1750.0	316.64	3483.0

全 国

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
免疫グロブリン製剤： 皮下注／(g)	0床	5	1.0	402.0	125.40	627.0
	1～299床	57	1.0	3072.0	328.81	18742.0
	300～499床	64	6.0	6412.0	469.23	30031.0
	500床以上	111	3.0	27424.0	1291.92	143403.0
	全体	237	1.0	27424.0	813.51	192803.0

(2) 製剤別廃棄量 (表 15～21)

< 赤血球製剤 >

表 15. 千葉県と全国の「赤血球製剤の廃棄総袋 (本) 数と総単位数」

千葉県

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
赤血球製剤総袋(本)数	0床	1	1	1.00	1	
	1～299床	68	0	23.54	1601	39.53
	300～499床	18	1	21.17	381	12.96
	500床以上	13	14	42.31	550	31.53
	全体	100	0	25.33	2533	35.44
赤血球製剤総単位数	0床	1	2	2.00	2	
	1～299床	68	0	46.00	3128	78.44
	300～499床	18	2	42.33	762	25.93
	500床以上	13	28	84.08	1093	62.59
	全体	100	0	49.85	4985	70.37

全 国

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
赤血球製剤総袋(本)数	0床	798	1	1342	27.67	22081
	1～299床	2966	1	4555	218.28	647420
	300～499床	427	1	12496	1661.94	709648
	500床以上	255	18	11973	4631.35	1180995
	全体	4446	1	12496	575.83	2560144
赤血球製剤総単位数	0床	798	1	2670	52.60	41977
	1～299床	2966	1	9046	423.05	1254775
	300～499床	427	2	24990	3279.33	1400273
	500床以上	255	36	23915	9165.66	2337243
	全体	4446	1	24990	1132.31	5034268

< 血小板製剤 >

表 16. 千葉県と全国の「血小板製剤の廃棄総袋 (本) 数と総単位数」

千葉県

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
血小板製剤総袋(本)数	0床					
	1～299床	10	1	4	2.10	21
	300～499床	12	1	4	2.42	29
	500床以上	13	1	11	5.77	75
	全体	35	1	11	3.57	125
血小板製剤総単位数	0床					
	1～299床	10	10	50	24.00	240
	300～499床	12	10	50	26.67	320
	500床以上	13	10	150	63.08	820
	全体	35	10	150	39.43	1380

全 国

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
血小板製剤総袋(本)数	0床	94	1	1195	28.12	2643
	1～299床	1547	1	3672	53.64	82982
	300～499床	419	1	3205	404.31	169405
	500床以上	255	1	11568	1743.04	444474
	全体	2315	1	11568	302.16	699504
血小板製剤総単位数	0床	94	1	11940	284.03	26699
	1～299床	1547	1	38685	569.34	880764
	300～499床	419	10	32115	4355.34	1824887
	500床以上	255	5	115560	18262.76	4657003
	全体	2315	1	115560	3191.95	7389353

<血漿製剤>

表 17. 千葉県と全国の「血漿製剤の廃棄総袋（本）数と総単位数」

千葉県

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
新鮮凍結血漿製剤 総袋(本)数	0床						
	1～299床	28	1	29	7.75	217	7.06
	300～499床	16	1	13	4.63	74	4.19
	500床以上	13	1	45	15.08	196	11.99
	全体	57	1	45	8.54	487	8.61
新鮮凍結血漿製剤 総単位数	0床						
	1～299床	28	2	60	16.71	468	16.09
	300～499床	16	2	36	10.38	166	9.77
	500床以上	13	4	104	37.31	485	29.06
	全体	57	2	104	19.63	1119	20.80

全 国

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
新鮮凍結血漿製剤 総袋(本)数	0床	16	1	33	9.19	147	10.96
	1～299床	1258	1	2070	65.94	82947	172.36
	300～499床	411	1	12202	447.95	184106	803.19
	500床以上	254	3	8692	1778.22	451667	1365.80
	全体	1939	1	12202	370.74	718867	849.45
新鮮凍結血漿製剤 総単位数	0床	16	2	132	22.25	356	34.10
	1～299床	1258	1	4144	146.09	183783	366.45
	300～499床	411	2	23860	1032.55	424380	1686.85
	500床以上	254	6	21942	4447.02	1129543	3465.21
	全体	1939	1	23860	896.37	1738062	2069.93

表 18. 千葉県の製剤別廃棄理由

<赤血球製剤>

件数

項目	0床	1～299床	300～499床	500床以上	合計
有効期限切れ	0	1505	272	369	2146
破損	0	10	8	16	34
保管管理不良	0	7	17	65	89
転用ができない	0	57	21	13	91
その他	1	6	7	29	43

<血小板製剤>

件数

項目	0床	1～299床	300～499床	500床以上	合計
有効期限切れ	0	12	17	28	57
破損	0	1	2	4	7
保管管理不良	0	3	0	1	4
転用ができない	0	6	5	34	45
その他	0	0	5	6	11

<血漿製剤>

件数

項目	0床	1～299床	300～499床	500床以上	合計
有効期限切れ	0	189	19	21	229
破損	0	14	14	25	53
保管管理不良	0	3	2	9	14
転用ができない	0	10	18	57	85
その他	0	1	9	33	43

<アルブミン製剤>

表 19. 千葉県と全国の「アルブミン製剤の廃棄量（g）」

千葉県

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
等張アルブミン製剤 (5%)	0床						
	1～299床	9	0.0	62.5	11.11	100.0	20.20
	300～499床	9	0.0	75.0	22.22	200.0	21.45
	500床以上	7	0.0	162.5	35.71	250.0	58.82
	全体	27	0.0	162.5	20.37	550.0	34.52
高張アルブミン製剤 (20%)	0床	2	0.0	0.0	0.00	0.0	0.00
	1～299床	10	0.0	8.0	0.80	8.0	2.53
	300～499床	9	0.0	40.0	7.11	64.0	13.97
	500床以上	7	0.0	0.0	0.00	0.0	0.00
	全体	28	0.0	40.0	2.57	72.0	8.38
高張アルブミン製剤 (25%)	0床	2	0.0	37.5	18.75	37.5	26.52
	1～299床	9	0.0	37.5	13.89	125.0	13.18
	300～499床	9	0.0	25.0	2.78	25.0	8.33
	500床以上	7	0.0	50.0	16.07	112.5	20.04
	全体	27	0.0	50.0	11.11	300.0	15.24
アルブミン製剤合計	0床	2	0.0	37.5	18.75	37.5	26.52
	1～299床	10	8.0	87.5	23.30	233.0	24.18
	300～499床	9	12.5	115.0	32.11	289.0	32.23
	500床以上	7	12.5	162.5	51.79	362.5	50.74
	全体	28	0.0	162.5	32.93	922.0	35.25

全 国

項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差	
等張アルブミン製剤 (5%)	0床	7	12.5	662.5	200.00	1400.0	253.41
	1～299床	732	5.0	44625.0	982.63	719285.0	2354.37
	300～499床	327	10.0	62012.5	5467.23	1787785.0	7542.94
	500床以上	235	25.0	92000.0	17505.85	4113875.0	15700.46
	全体	1301	5.0	92000.0	5090.20	6622345.0	9964.23
高張アルブミン製剤 (20%)	0床	37	4.0	10000.0	422.86	15646.0	1640.37
	1～299床	473	8.0	60000.0	1856.31	878034.0	3780.00
	300～499床	137	16.0	43330.0	7722.29	1057954.0	7349.77
	500床以上	118	4.0	81500.0	12813.93	1512044.0	14181.86
	全体	765	4.0	81500.0	4527.68	3463678.0	8187.78
高張アルブミン製剤 (25%)	0床	145	10.0	18137.5	577.55	83745.0	1774.45
	1～299床	1518	5.0	22000.0	1727.20	2621882.5	2591.82
	300～499床	270	15.0	76925.0	9142.17	2468385.0	9173.20
	500床以上	177	25.0	194125.0	24359.14	4311567.5	24375.81
	全体	2110	5.0	194125.0	4495.54	580.0	10383.40
アルブミン製剤合計	0床	186	4.0	18137.5	541.89	100971.0	1726.31
	1～299床	2035	5.0	60000.0	2073.32	4219201.5	3566.05
	300～499床	385	25.0	138937.5	13802.92	5314124.0	14245.74
	500床以上	240	50.0	213412.5	41406.19	9937486.5	33234.13
	全体	2846	4.0	213412.5	6876.88	19571603.0	15989.43

<免疫グロブリン製剤>

表 20. 千葉県と全国の「免疫グロブリン製剤（静注）の廃棄量（g）」

千葉県

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
免疫グロブリン製剤: 静注／(g)	0床	2	0.0	15.0	7.50	15.0	10.61
	1～299床	9	2.5	67.5	20.28	182.5	19.58
	300～499床	1	1.5	1.5	1.50	1.5	
	500床以上	3	5.0	17.5	9.17	27.5	7.22
	全体	15	0.0	67.5	15.10	226.5	16.76

全 国

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
免疫グロブリン製剤： 静注／(g)	0床	16	2.5	1860.0	200.47	3207.5	456.87
	1～299床	1120	0.5	43290.0	475.67	532754.0	1677.95
	300～499床	325	10.0	24417.5	2484.67	807518.5	2910.59
	500床以上	205	350.0	51158.5	10911.68	2236893.5	8997.72
	全体	1666	0.5	51158.5	2149.08	3580373.5	4985.76

表 21. 千葉県と全国の「免疫グロブリン製剤（皮下注）の廃棄量（g）」

千葉県

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
免疫グロブリン製剤： 皮下注／(g)	0床						
	1～299床	2	1.0	1.0	1.00	2.0	
	300～499床						
	500床以上						
	全体	2	0.0	1.0	0.67	2.0	

全 国

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
免疫グロブリン製剤： 皮下注／(g)	0床	5	1.0	402.0	125.40	627.0	161.40
	1～299床	57	1.0	3072.0	328.81	18742.0	517.85
	300～499床	64	6.0	6412.0	469.23	30031.0	864.24
	500床以上	111	3.0	27424.0	1291.92	143403.0	3132.46
	全体	237	1.0	27424.0	813.51	192803.0	2245.79

【まとめ】

今回、「輸血業務・輸血製剤年間使用量に関する総合的調査」より千葉県データを取得し、血液製剤の購入量、廃棄率、使用実態についてデータ解析を行った。

血液製剤の購入量はいずれも施設規模が大きくなるほど多かった。

廃棄率について、千葉県全体の廃棄率は全国より赤血球製剤と血小板製剤で高い傾向にあった。病床別では赤血球製剤が1～299床の施設で、血小板製剤は0床を除くすべての病床において高い結果であり、廃棄理由としては「有効期限切れ」が最も多く、次に「転用ができない」であった。等張アルブミン製剤、高張アルブミン製剤、免疫グロブリン製剤では、1～299床の施設での廃棄率が高い傾向にあった。

使用実態について、診療科別の使用量は、赤血球製剤では血液内科が多く、次いで心臓血管外科、その他内科、消化器内科の順であった。血小板製剤では血液内科の使用が半数を占め、心臓血管外科、その他内科、小児科と続いた。血漿製剤では心臓血管外科、救急科、その他の内科、消化器外科で多く使用され、次いでその他の外科、血液内科、産婦人科と続いた。免疫グロブリンについては神経内科の使用が約半数を占めており、次いで小児科、血液内科と続いた。

免疫グロブリン製剤の適応疾患別件数では、重症感染症が多く、次いで低・無ガンマグロブリン血症、川崎病であった。

アルブミン製剤の原料別割合について、等張製剤は「海外・献血」が43.9%、「国産」が27.3%、「海外・非献血」が26.6%であった。高張製剤は「国産」が69.5%を占めた。アルブミン製剤全体での「国産」の割合は50.9%であった。

【1】基本項目（千葉県）

1-1) 医療機関の概要について

1-4. 2021 年～2022 年 3 月の期間で全身手術を行いましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	61	58.10%	17	94.44%	12	100.00%	90	55.56%
2	行わなかった	27	100.00%	41	39.05%	0	0.00%	0	0.00%	68	41.98%
3	わからない	0	0.00%	3	2.86%	1	5.56%	0	0.00%	4	2.47%
	回答施設合計	27		105		18		12		162	

全麻酔件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床						
1～299床	50	2	1904	503.16	25158	489.31
300～499床	14	118	4344	2125.00	29750	1193.98
500床以上	11	2838	4414	3273.09	36004	460.17
全体	75	2	4414	1212.16	90912	1251.51

1-5. 2021 年～2022 年 3 月の期間で、心臓・大血管手術を行いましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	7	6.80%	8	47.06%	13	100.00%	28	17.50%
2	行わなかった	27	100.00%	94	91.26%	9	52.94%	0	0.00%	130	81.25%
3	わからない	0	0.00%	2	1.94%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.25%
	回答施設合計	27		103		17		13		160	

全麻酔件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床						
1～299床	7	45	269	145.71	1020	78.74
300～499床	6	32	262	137.00	822	96.74
500床以上	12	42	1154	352.00	4224	416.12
全体	25	32	1154	220.26	6066	307.20

1-6. 2021 年～2022 年 3 月の期間で、帝王切開を行いましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	18	17.14%	7	38.89%	12	92.31%	37	22.70%
2	行わなかった	27	100.00%	87	82.86%	11	61.11%	0	0.00%	125	76.69%
3	わからない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	7.69%	1	0.61%
	回答施設合計	27		105		18		13		163	

帝王切開件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床						
1～299床	13	1	317	92.23	1199	88.00
300～499床	5	17	303	99.00	495	116.73
500床以上	11	30	364	176.55	1942	112.15
全体	29	1	364	125.38	3636	106.87

1-7. 2021 年～2022 年 3 月の期間で、造血幹細胞移植を行いましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	2	1.92%	4	23.53%	7	53.85%	13	8.07%
2	行わなかった	27	100.00%	100	96.15%	13	76.47%	5	38.46%	145	90.06%
3	わからない	0	0.00%	2	1.92%	0	0.00%	1	7.69%	3	1.86%
	回答施設合計	27		104		17		13		161	

造血幹細胞移植						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床						
1～299床	2	6	23	14.50	29	12.02
300～499床	3	1	9	3.67	11	4.62
500床以上	7	6	49	26.86	188	19.04
全体	12	1	49	19.00	228	17.94

1-8. 2021 年～2022 年 3 月の期間で、腎臓移植を行いましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	1	0.97%	0	0.00%	5	41.67%	6	3.75%
2	行わなかった	27	100.00%	101	98.06%	18	100.00%	7	58.33%	153	95.63%
3	わからない	0	0.00%	1	0.97%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.63%
	回答施設合計	27		103		18		12		160	

造血幹細胞移植						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床						
1～299床	1	2	2	2.00	2	
300～499床						
500床以上	4	2	32	14.00	56	12.96
全体	5	2	32	11.60	58	12.44

1-9. 2021 年～2022 年 3 月の期間で、肝臓移植を行いましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	8.33%	1	0.63%
2	行わなかった	26	100.00%	103	99.04%	18	100.00%	11	91.67%	158	98.75%
3	わからない	0	0.00%	1	0.96%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.63%
	回答施設合計	26		104		18		12		160	

肝臓移植						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床						
1～299床						
300～499床						
500床以上	1	3	3	3.00	3	
全体	1	3	3	3.00	3	

1-10. 2021 年～2022 年 3 月の期間で、心臓移植を行いましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	8.33%	1	0.62%
2	行わなかった	27	100.00%	103	99.04%	18	100.00%	11	91.67%	159	98.76%
3	わからない	0	0.00%	1	0.96%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.62%
	回答施設合計	27		104		18		12		161	

心臓移植						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床						
1～299床						
300～499床						
500床以上	1	4	4	4.00	4	
全体	1	4	4	4.00	4	

1-11. 2021 年～2022 年 3 月の期間で、膵臓移植を行いましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	行わなかった	27	100.00%	103	99.04%	18	100.00%	12	100.00%	160	99.38%
3	わからない	0	0.00%	1	0.96%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.62%
	回答施設合計	27		104		18		12		161	

1-12. 2021 年～2022 年 3 月の期間で、血漿交換を行いましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	10	9.62%	8	44.44%	11	91.67%	29	18.01%
2	行わなかった	27	100.00%	92	88.46%	10	55.56%	1	8.33%	130	80.75%
3	わからない	0	0.00%	2	1.92%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.24%
	回答施設合計	27		104		18		12		161	

血漿交換						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床						
1～299床	10	1	9	2.90	29	2.81
300～499床	8	1	53	11.88	95	17.96
500床以上	9	23	152	49.22	443	40.61
全体	27	1	152	21.00	567	32.01

1-13. 貴施設の救急医療体制として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	一次救急指定病院	0	0.00%	6	5.66%	0	0.00%	0	0.00%	6	3.68%
2	二次救急指定病院	0	0.00%	65	61.32%	15	83.33%	3	23.08%	83	50.92%
3	三次救急指定病院	0	0.00%	2	1.89%	1	5.56%	10	76.92%	13	7.98%
4	救命救急センター	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	6	46.15%	6	3.68%
5	高度救命救急センター	0	0.00%	1	0.94%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.61%
6	救急指定病院ではない	26	100.00%	35	33.02%	2	11.11%	0	0.00%	63	38.65%
	回答施設合計	26		106		18		13		163	

1-14. オーダリングシステムを導入していますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	導入している	2	7.41%	52	48.60%	17	94.44%	13	100.00%	84	50.91%
2	導入していない	25	92.59%	55	51.40%	1	5.56%	0	0.00%	81	49.09%
	回答施設合計	27		107		18		13		165	

1-15. 輸血業務でオーダリングシステムを利用しているものとして当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血関連検査	2	100.00%	47	92.16%	17	100.00%	13	100.00%	79	95.18%
2	日赤血液製剤輸血	2	100.00%	44	86.27%	17	100.00%	13	100.00%	76	91.57%
3	貯血式自己血製剤貯血	0	0.00%	19	37.25%	17	100.00%	11	84.62%	47	56.63%
4	貯血式自己血製剤輸血	0	0.00%	26	50.98%	17	100.00%	12	92.31%	55	66.27%
5	希釈式自己血製剤輸血	0	0.00%	0	0.00%	1	5.88%	1	7.69%	2	2.41%
6	回収式自己血製剤輸血	0	0.00%	2	3.92%	0	0.00%	1	7.69%	3	3.61%
7	院内成分採血製剤(末梢血幹細胞)	0	0.00%	2	3.92%	3	17.65%	4	30.77%	9	10.84%
8	院内成分採血製剤(CAR-T用のリンパ球)	0	0.00%	0	0.00%	1	5.88%	0	0.00%	1	1.20%
9	院内調製血(分割製剤等)	0	0.00%	2	3.92%	2	11.76%	3	23.08%	7	8.43%
10	輸血副反応	1	50.00%	21	41.18%	12	70.59%	9	69.23%	43	51.81%
11	細胞治療(テムセル)	0	0.00%	1	1.96%	0	0.00%	1	7.69%	2	2.41%
12	細胞治療(その他の再生医療等製品)	0	0.00%	1	1.96%	0	0.00%	1	7.69%	2	2.41%
13	ベッドサイドで患者と製剤の認証	1	50.00%	24	47.06%	11	64.71%	9	69.23%	45	54.22%
14	その他	0	0.00%	2	3.92%	1	5.88%	0	0.00%	3	3.61%
	回答施設合計	2		51		17		13		83	

1-16. 血漿分画製剤業務でオーダリングシステムを利用しているものとして当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血漿分画製剤(アルブミン製剤)	1	100.00%	44	97.78%	14	93.33%	11	84.62%	70	94.59%
2	血漿分画製剤(アルブミン製剤以外)	1	100.00%	34	75.56%	10	66.67%	9	69.23%	54	72.97%
3	血漿分画製剤投与後の副反応	1	100.00%	6	13.33%	9	60.00%	3	23.08%	19	25.68%
4	ベッドサイドで患者と製剤の認証	1	100.00%	14	31.11%	10	66.67%	7	53.85%	32	43.24%
5	細胞治療(再生医療等製品)	0	0.00%	1	2.22%	1	6.67%	1	7.69%	3	4.05%
6	その他	0	0.00%	3	6.67%	0	0.00%	1	7.69%	4	5.41%
	回答施設合計	1		45		15		13		74	

1-17. 輸血業務に部門システム(検査システム・輸血管理システム)を導入していますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	導入している	0	0.00%	43	40.95%	18	100.00%	13	100.00%	74	45.40%
2	導入していない	27	100.00%	62	59.05%	0	0.00%	0	0.00%	89	54.60%
	回答施設合計	27		105		18		13		163	

1-18. 輸血業務に部門システムを利用しているものとして当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血関連検査	0	0.00%	41	91.11%	18	100.00%	13	100.00%	72	94.74%
2	日赤血液製剤入庫	0	0.00%	33	73.33%	18	100.00%	13	100.00%	64	84.21%
3	日赤血液製剤輸血	0	0.00%	34	75.56%	18	100.00%	13	100.00%	65	85.53%
4	貯血式自己血製剤貯血	0	0.00%	21	46.67%	18	100.00%	13	100.00%	52	68.42%
5	貯血式自己血製剤輸血	0	0.00%	20	44.44%	18	100.00%	13	100.00%	51	67.11%
6	希釈式自己血製剤輸血	0	0.00%	0	0.00%	1	5.56%	1	7.69%	2	2.63%
7	回収式自己血製剤輸血	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	7.69%	1	1.32%
8	院内成分採血製剤(末梢血幹細胞)	0	0.00%	1	2.22%	3	16.67%	6	46.15%	10	13.16%
9	院内成分採血製剤(CAR-T用のリンパ球)	0	0.00%	0	0.00%	1	5.56%	0	0.00%	1	1.32%
10	院内調製血(分割製剤等)	0	0.00%	2	4.44%	3	16.67%	3	23.08%	8	10.53%
11	輸血副反応	0	0.00%	19	42.22%	15	83.33%	10	76.92%	44	57.89%
12	細胞治療(テムセル)	0	0.00%	1	2.22%	0	0.00%	1	7.69%	2	2.63%
13	細胞治療(その他の再生医療等製品)	0	0.00%	1	2.22%	0	0.00%	1	7.69%	2	2.63%
14	ベッドサイドで患者と製剤の認証	0	0.00%	12	26.67%	8	44.44%	8	61.54%	28	36.84%
15	輸血手帳	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
16	その他	0	0.00%	2	4.44%	1	5.56%	0	0.00%	3	3.95%
	回答施設合計	0		45		18		13		76	

1-19. 血漿分画製剤管理業務に部門システム(検査システム・輸血管理システム・血漿分画製剤管理システム)を導入していますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	導入している	0	0.00%	18	17.31%	12	70.59%	9	69.23%	39	24.22%
2	導入していない	27	100.00%	86	82.69%	5	29.41%	4	30.77%	122	75.78%
	回答施設合計	27		104		17		13		161	

1-20. 血漿分画製剤管理業務に部門システムを利用しているものとして当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血漿分画製剤(アルブミン製剤)	0	0.00%	14	77.78%	11	91.67%	8	61.54%	33	76.74%
2	血漿分画製剤(アルブミン製剤以外)	0	0.00%	13	72.22%	5	41.67%	5	38.46%	23	53.49%
3	血漿分画製剤投与後の副反応	0	0.00%	4	22.22%	8	66.67%	3	23.08%	15	34.88%
4	細胞治療(再生医療等製品)	0	0.00%	1	5.56%	1	8.33%	0	0.00%	2	4.65%
5	ベッドサイドで患者と製剤の認証	0	0.00%	4	22.22%	7	58.33%	3	23.08%	14	32.56%
6	その他	0	0.00%	1	5.56%	0	0.00%	0	0.00%	1	2.33%
	回答施設合計	0		18		12		13		43	

3-1) 輸血を実施した件数と実患者数について

1-147. 2021年～2022年3月の期間で輸血を実施しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	実施した	26	100.00%	100	97.09%	17	100.00%	13	100.00%	156	98.11%
2	実施しなかった	0	0.00%	3	2.91%	0	0.00%	0	0.00%	3	1.89%
	回答施設合計	26		103		17		13		159	

1-148. 2021 年～2022 年 3 月の期間で輸血を実施した件数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 同種血のみ実施(件数)	0床	26	1	413	30.46	792	80.82
	1～299床	96	0	5420	311.51	29905	650.73
	300～499床	15	47	5337	2260.80	33912	1626.04
	500床以上	10	1282	8019	4985.90	49859	2535.90
	全体	147	0	8019	778.69	114468	1614.89
(2) 自己血のみ実施(件数)	0床	26	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	96	0	60	3.43	329	10.64
	300～499床	15	0	204	42.13	632	61.89
	500床以上	10	1	166	54.90	549	60.12
	全体	147	0	204	10.27	1510	30.89
(3) 同種血、自己血併用実施(件数)	0床	26	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	96	0	2	0.05	5	0.30
	300～499床	15	0	11	2.00	30	3.91
	500床以上	10	0	19	4.00	40	5.77
	全体	147	0	19	0.51	75	2.20
(4) 実施合計件数	0床	26	1	413	30.46	792	80.82
	1～299床	96	1	5480	314.99	30239	656.15
	300～499床	15	47	5337	2304.93	34574	1627.41
	500床以上	10	1308	8047	5044.80	50448	2542.31
	全体	147	1	8047	789.48	116053	1631.10

1-149. 2021 年～2022 年 3 月の期間で輸血を実施した実患者数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 同種血のみ実施(実患者数)	0床	26	1	58	8.04	209	13.47
	1～299床	97	0	830	111.73	10838	150.46
	300～499床	16	34	1293	547.00	8752	312.41
	500床以上	11	490	1619	1143.45	12578	389.05
	全体	150	0	1619	215.85	32377	352.83
(2) 自己血のみ実施(実患者数)	0床	26	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	96	0	60	3.18	305	9.67
	300～499床	15	0	111	29.00	464	38.83
	500床以上	10	1	151	50.82	559	48.10
	全体	147	0	151	8.91	1328	24.05
(3) 同種血、自己血併用実施(実患者数)	0床	26	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	96	0	2	0.05	5	0.30
	300～499床	15	0	10	1.69	27	3.07
	500床以上	10	0	9	2.36	26	2.46
	全体	147	0	10	0.39	58	1.41
(4) 実施合計実患者数	0床	26	1	58	8.04	209	13.47
	1～299床	97	1	830	114.93	11148	153.13
	300～499床	15	34	1336	577.69	9243	310.67
	500床以上	10	514	1699	1196.64	13163	391.04
	全体	148	1	1699	225.09	33763	366.43

【2】輸血療法の体制について（千葉県）

2-1) 輸血のインフォームド・コンセント(IC)について

1-56. 輸血のインフォームド・コンセント(IC)について関わる職種を全て選んでください（説明の補助も含む） 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	医師	25	100.00%	106	100.00%	18	100.00%	12	100.00%	161	100.00%
2	看護師	21	84.00%	71	66.98%	11	61.11%	7	58.33%	110	68.32%
3	臨床検査技師	4	16.00%	3	2.83%	1	5.56%	0	0.00%	8	4.97%
4	薬剤師	2	8.00%	4	3.77%	1	5.56%	0	0.00%	7	4.35%
5	その他	2	8.00%	4	3.77%	0	0.00%	0	0.00%	6	3.73%
	回答施設合計	25		106		18		12		161	

1-57. 患者への説明（不規則抗体検出時など）に不規則抗体カードまたは輸血関連情報カードを利用していますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	7	6.73%	2	11.76%	2	15.38%	11	6.92%
2	いいえ	25	100.00%	97	93.27%	15	88.24%	11	84.62%	148	93.08%
	回答施設合計	25		104		17		13		159	

1-58. 患者へ検査結果などを説明する職種について全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	医師	0	0.00%	7	100.00%	2	100.00%	2	100.00%	11	100.00%
2	看護師	0	0.00%	4	57.14%	0	0.00%	1	50.00%	5	45.45%
3	臨床検査技師	0	0.00%	0	0.00%	1	50.00%	0	0.00%	1	9.09%
4	薬剤師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		7		2		2		11	

2-2) 血液製剤の管理について

1-59. 輸血検査を行っている部門として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	0	0.00%	4	3.74%	5	27.78%	8	61.54%	17	10.56%
2	検査部門	4	17.39%	72	67.29%	13	72.22%	5	38.46%	94	58.39%
3	院外の検査機関に委託	17	73.91%	28	26.17%	0	0.00%	0	0.00%	45	27.95%
4	その他	2	8.70%	3	2.80%	0	0.00%	0	0.00%	5	3.11%
	回答施設合計	23		107		18		13		161	

1-60. 輸血用血液製剤を管理している部門として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	1	4.55%	7	6.60%	5	27.78%	9	69.23%	22	13.84%
2	検査部門	4	18.18%	64	60.38%	13	72.22%	4	30.77%	85	53.46%
3	院外の検査機関に委託	3	13.64%	8	7.55%	0	0.00%	0	0.00%	11	6.92%
4	その他	14	63.64%	27	25.47%	0	0.00%	0	0.00%	41	25.79%
	回答施設合計	22		106		18		13		159	

1-61. 輸血用血液製剤を保管する保冷库として当てはまるものを1つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液専用保冷库(自記式記録計付き、警報装置付き)	0	0.00%	57	53.27%	16	88.89%	12	92.31%	85	52.47%
2	血液専用保冷库(自記式記録計付き)	0	0.00%	3	2.80%	0	0.00%	0	0.00%	3	1.85%
3	血液専用保冷库(自記式記録計なし、警報装置なし)	0	0.00%	4	3.74%	0	0.00%	0	0.00%	4	2.47%
4	薬品保冷库(自記式記録計付き、警報装置付き)	4	16.67%	13	12.15%	1	5.56%	1	7.69%	19	11.73%
5	薬品保冷库(自記式記録計付き)	3	12.50%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	1.85%
6	薬品保冷库(自記式記録計なし、警報装置なし)	6	25.00%	14	13.08%	0	0.00%	0	0.00%	20	12.35%
7	家庭用冷蔵・冷凍庫	11	45.83%	14	13.08%	0	0.00%	0	0.00%	25	15.43%
8	その他	0	0.00%	2	1.87%	1	5.56%	0	0.00%	3	1.85%
	回答施設合計	24		107		18		13		162	

「その他」の場合

- ・血液専用保冷库 ロガー付き・集中温度管理システム
- ・薬品保冷库（自記式記録計なし、警報装置付き）
- ・薬用保冷库（自動式記録計なし、警報装置付き）

1-62. 一般病棟で輸血用血液製剤の一時保管はありますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	2	10.00%	33	32.04%	1	5.56%	3	23.08%	39	25.32%
2	ない	15	75.00%	67	65.05%	17	94.44%	10	76.92%	109	70.78%
3	その他	3	15.00%	3	2.91%	0	0.00%	0	0.00%	6	3.90%
	回答施設合計	20		103		18		13		154	

「その他」の場合

- ・検査室から搬送後、一時的保管として家庭用冷蔵庫で保存。例）OPE 室へ行くまで等
- ・休診日使用分は前日払出し病棟で保管
- ・手術室内の薬品保冷库
- ・次の透析までの間保管するのみ
- ・病棟なし
- ・病棟がない

1-63. 新鮮凍結人血漿についてお伺いします。新鮮凍結人血漿を扱っていますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	扱っている	1	4.35%	63	60.58%	18	100.00%	13	100.00%	95	60.13%
2	扱っていない	22	95.65%	41	39.42%	0	0.00%	0	0.00%	63	39.87%
	回答施設合計	23		104		18		13		158	

1-64. 新鮮凍結人血漿融解を担当する部門として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部(輸血管理部門)	0	0.00%	12	19.35%	8	44.44%	6	46.15%	26	27.66%
2	病棟	1	100.00%	47	75.81%	8	44.44%	4	30.77%	60	63.83%
3	その他	0	0.00%	3	4.84%	2	11.11%	3	23.08%	8	8.51%
	回答施設合計	1		62		18		13		94	

「その他」の場合

- ・院内コードはすべて対応。その他、日勤時間帯は、依頼時可能であれば対応
- ・検査部（輸血管理部門）、手術室
- ・使用場所の所属看護師
- ・検査部門
- ・検査室＋ope 室
- ・検査部門
- ・検査科
- ・基本的には使用する病棟、手術室だが、夜間など人手が足りない場合など検査科で融解することもある

1-65. 新鮮凍結人血漿融解した後の使用までの管理として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	融解後、直ちに投与	1	100.00%	59	95.16%	15	83.33%	11	84.62%	86	91.49%
2	融解後、専用保冷庫(2～6℃)で保管	0	0.00%	2	3.23%	3	16.67%	2	15.38%	7	7.45%
3	融解後、汎用(非専用)保冷庫(2～6℃)で保管	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	融解後、室温で保管	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	1	1.61%	0	0.00%	0	0.00%	1	1.06%
	回答施設合計	1		62		18		13		94	

「その他」の場合

- ・原則として融解後、直ちに投与、投与できない時は冷蔵庫で一時保管で、融解後 2 4 時間以内に使用

1-66. 院内で輸血用血液製剤を運搬する容器として当てはまるものを選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発泡スチロールの容器	4	16.67%	39	36.79%	7	38.89%	1	7.69%	51	31.68%
2	クーラーボックス	7	29.17%	24	22.64%	6	33.33%	4	30.77%	41	25.47%
3	ビニール製の搬送バック	2	8.33%	27	25.47%	6	33.33%	9	69.23%	44	27.33%
4	血液搬送装置(ポータブル保冷装置; ATR)	0	0.00%	0	0.00%	2	11.11%	2	15.38%	4	2.48%
5	その他	11	45.83%	26	24.53%	4	22.22%	1	7.69%	42	26.09%
	回答施設合計	24		106		18		13		161	

「その他」の場合

- ・プラスチック容器+保冷バック
- ・定温安定輸送 Bag EBT-10H(E BAG)
- ・トレイ
- ・EBAC EBT-10H
- ・プラスチックのケース、保冷バッグなど
- ・トレイ
- ・保冷バッグ
- ・容器を使用していない
- ・担当看護師が検査科から製剤を直接受け取り、病棟に持ち運ぶ
- ・バット類
- ・ビニール製の保冷バックに必ず保冷剤を一緒に入れて運搬
- ・金属トレイ
- ・金属製トレイ
- ・金属トレイ
- ・膿盆
- ・ステンレストレイ
- ・冷蔵庫保存、使用時に取り出しの為、容器なし
- ・プラスチック製トレイ
- ・プラスチック容器
- ・使用していない
- ・銀バット・トレイ
- ・そのまま
- ・ワンフロアでの対応のため移動なし
- ・10ml ほどのため、容器は使用せず
- ・解凍後直接投与しているため運搬容器は使用していない
- ・輸血施行直前に HD 室内冷蔵庫より輸血を取り出し、バットに入れ輸血する
- ・トレイに入れて運ぶ
- ・プラスチックケース
- ・バット
- ・金属製トレイ
- ・冷蔵庫から患者ベッドまで数メートルしかないなので運搬容器を使用していません
- ・直接、使用場所（透析室）へ搬入、冷蔵庫保管
- ・そのまま
- ・運搬する必要があるため準備していない
- ・金属トレイ
- ・トレイ、保冷庫からベッドまで近いため原則として融解後

1-67. 院内および院外搬送用として血液搬送装置（ポータブル保冷装置；ATR など）を導入していますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	導入している	0	0.00%	0	0.00%	1	5.56%	3	23.08%	4	2.60%
2	導入を検討してる	1	5.00%	1	0.97%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.30%
3	導入の予定なし	19	95.00%	102	99.03%	16	88.89%	9	69.23%	146	94.81%
4	その他	0	0.00%	0	0.00%	1	5.56%	1	7.69%	2	1.30%
	回答施設合計	20		103		18		13		154	

「その他」の場合

- ・搬送用としてではなく救急外来に超緊急輸血用としてO型RBCを入れたATRを常設している
- ・定温安定輸送 Bag EBT-10H(E BAG)使用しているが、院外では使用していない

1-68. 貴施設に、輸血責任医師（輸血業務担当や責任者として病院等から任命されている医師）はいますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる(専任)	0	0.00%	3	2.91%	4	22.22%	5	38.46%	12	7.59%
2	いる(兼任)	5	20.83%	50	48.54%	13	72.22%	8	61.54%	76	48.10%
3	いない	19	79.17%	50	48.54%	1	5.56%	0	0.00%	70	44.30%
	回答施設合計	24		103		18		13		158	

1-69. 輸血責任医師は、日本輸血・細胞治療学会認定医ですか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	4	7.84%	1	7.14%	4	33.33%	9	11.11%
2	いいえ	3	75.00%	38	74.51%	12	85.71%	8	66.67%	61	75.31%
3	わからない	1	25.00%	9	17.65%	1	7.14%	0	0.00%	11	13.58%
	回答施設合計	4		51		14		12		81	

1-70. 貴施設に、学会認定・臨床輸血看護師はいますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる	1	4.55%	4	3.88%	3	17.65%	4	30.77%	12	7.74%
2	いない	18	81.82%	87	84.47%	13	76.47%	7	53.85%	125	80.65%
3	わからない	3	13.64%	12	11.65%	1	5.88%	2	15.38%	18	11.61%
	回答施設合計	22		103		17		13		155	

1-71. 学会認定・臨床輸血看護師の行っている業務について当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	新人看護師への輸血業務の教育	1	100.00%	3	100.00%	1	50.00%	1	33.33%	6	66.67%
2	看護学校学生への教育	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	全看護師への定期的な教育指導	0	0.00%	3	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	33.33%
4	輸血に関するインシデントの評価・解析	0	0.00%	2	66.67%	0	0.00%	1	33.33%	3	33.33%
5	輸血時のインフォームド・コンセントの補助	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	輸血業務に関する院内監査	0	0.00%	1	33.33%	0	0.00%	1	33.33%	2	22.22%
7	輸血療法委員会への出席	1	100.00%	3	100.00%	2	100.00%	2	66.67%	8	88.89%
8	リスクマネージャー委員会への出席	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
9	地域の合同輸血療法委員会への出席	0	0.00%	1	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	1	11.11%
10	その他	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	2	22.22%
	回答施設合計	1		3		2		3		9	

「その他」の場合

- ・学会のHPより名前を確認したが直接話したことはない。
- ・所属病棟看護師への教育

1-72. 学会認定・臨床輸血看護師の配属後に改善されたことについて当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血副反応の報告率の向上	1	33.33%	1	10.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	9.09%
2	重篤な輸血副反応の報告数の増加	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	輸血実施時の安全管理体制の向上	1	33.33%	3	30.00%	1	25.00%	1	20.00%	6	27.27%
4	輸血部門と臨床部門との連携の向上	1	33.33%	2	20.00%	1	25.00%	1	20.00%	5	22.73%
5	病棟での血液製剤の保管管理の向上	0	0.00%	2	20.00%	1	25.00%	1	20.00%	4	18.18%
6	輸血に関するインシデント報告の増加	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
7	輸血に関するインシデントの内容の変化	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	20.00%	1	4.55%
8	血液型とクロス用検体の同時採血の減少	0	0.00%	1	10.00%	1	25.00%	0	0.00%	2	9.09%
9	廃棄血の減少	0	0.00%	1	10.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	4.55%
10	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	20.00%	1	4.55%
	回答施設合計	3		10		4		5		22	

「その他」の場合

- ・学会のHPより名前を確認したが直接話したことはない。

1-73. 貴施設に、学会認定・アフエレーシスナースはいますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	7.69%	1	0.65%
2	いない	18	85.71%	90	86.54%	16	94.12%	11	84.62%	135	87.10%
3	わからない	3	14.29%	14	13.46%	1	5.88%	1	7.69%	19	12.26%
	回答施設合計	21		104		17		13		155	

1-74. 貴施設に、学会認定・自己血輸血看護師はいますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる	0	0.00%	0	0.00%	1	5.88%	2	15.38%	3	1.95%
2	いない	19	90.48%	91	88.35%	14	82.35%	9	69.23%	133	86.36%
3	わからない	2	9.52%	12	11.65%	2	11.76%	2	15.38%	18	11.69%
	回答施設合計	21		103		17		13		154	

1-75. 貴施設に臨床検査技師はいますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる	9	39.13%	89	84.76%	18	100.00%	13	100.00%	129	81.13%
2	いない	14	60.87%	16	15.24%	0	0.00%	0	0.00%	30	18.87%
	回答施設合計	23		105		18		13		159	

1-76. 臨床検査技師の配置状況として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	平日のみ日勤帯配置(夜間オンコール無し)	6	66.67%	14	15.91%	0	0.00%	0	0.00%	20	15.75%
2	平日のみ日勤帯配置(夜間オンコール有り)	1	11.11%	34	38.64%	0	0.00%	0	0.00%	35	27.56%
3	全日勤帯のみ配置(夜間オンコール無し)	0	0.00%	4	4.55%	0	0.00%	0	0.00%	4	3.15%
4	全日勤帯のみ配置(夜間オンコール有り)	0	0.00%	14	15.91%	1	5.88%	0	0.00%	15	11.81%
5	24 時間体制で配置	0	0.00%	20	22.73%	16	94.12%	13	100.00%	49	38.58%
6	必要時のみ配置	2	22.22%	2	2.27%	0	0.00%	0	0.00%	4	3.15%
7	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	9		88		17		13		127	

1-77. 輸血検査業務全体を担当し責任を持つ臨床検査技師「輸血担当技師」はいますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	いる(専任)	0	0.00%	6	6.74%	9	50.00%	13	100.00%	28	21.71%
2	いる(兼任)	4	44.44%	48	53.93%	9	50.00%	0	0.00%	61	47.29%
3	いない	5	55.56%	35	39.33%	0	0.00%	0	0.00%	40	31.01%
	回答施設合計	9		89		18		13		129	

1-78. 輸血療法委員会又は同様の機能を持つ委員会はありますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	3	13.04%	54	52.43%	18	100.00%	13	100.00%	88	56.05%
2	ない	20	86.96%	49	47.57%	0	0.00%	0	0.00%	69	43.95%
	回答施設合計	23		103		18		13		157	

1-79. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で輸血療法委員会の開催回数として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	0回	0	0.00%	3	5.56%	0	0.00%	0	0.00%	3	3.41%
2	1～5回	2	66.67%	6	11.11%	0	0.00%	0	0.00%	8	9.09%
3	6回	1	33.33%	34	62.96%	15	83.33%	10	76.92%	60	68.18%
4	7回以上	0	0.00%	11	20.37%	3	16.67%	3	23.08%	17	19.32%
	回答施設合計	3		54		18		13		88	

1-80. 輸血療法委員会の委員の出席率として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ほぼ100%	2	66.67%	15	30.00%	2	11.11%	1	7.69%	20	23.81%
2	81～99%	1	33.33%	23	46.00%	8	44.44%	2	15.38%	34	40.48%
3	61～80%	0	0.00%	9	18.00%	6	33.33%	6	46.15%	21	25.00%
4	41～60%	0	0.00%	3	6.00%	1	5.56%	4	30.77%	8	9.52%
5	21～40%	0	0.00%	0	0.00%	1	5.56%	0	0.00%	1	1.19%
6	0～20%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	3		50		18		13		84	

2-3) 輸血関連の検査体制について

1-81. 日中勤務時間帯（各施設の定める所定労働時間における夜間・休日を除く日中の勤務時間帯を指す）の ABO 血液型検査・RhD 血液型検査の実施者として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	0	0.00%	5	4.72%	6	33.33%	10	76.92%	21	12.88%
2	検査部門の臨床検査技師	4	15.38%	67	63.21%	12	66.67%	4	30.77%	87	53.37%
3	院内の検査センター技師	0	0.00%	13	12.26%	2	11.11%	0	0.00%	15	9.20%
4	看護師	0	0.00%	3	2.83%	0	0.00%	0	0.00%	3	1.84%
5	担当医	0	0.00%	3	2.83%	0	0.00%	0	0.00%	3	1.84%
6	院外の検査機関に委託	24	92.31%	34	32.08%	0	0.00%	0	0.00%	58	35.58%
7	検査を実施していない	0	0.00%	1	0.94%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.61%
8	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	26		106		18		13		163	

1-82. 夜間・休日勤務時間帯の ABO 血液型検査・RhD 血液型検査の実施者として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	0	0.00%	2	1.90%	6	33.33%	9	69.23%	17	10.49%
2	検査部門の臨床検査技師	1	3.85%	61	58.10%	17	94.44%	13	100.00%	92	56.79%
3	院内の検査センター技師	0	0.00%	11	10.48%	1	5.56%	0	0.00%	12	7.41%
4	看護師	0	0.00%	4	3.81%	0	0.00%	0	0.00%	4	2.47%
5	担当医	0	0.00%	3	2.86%	0	0.00%	0	0.00%	3	1.85%
6	院外の検査機関に委託	7	26.92%	24	22.86%	0	0.00%	0	0.00%	31	19.14%
7	検査を実施していない	18	69.23%	14	13.33%	0	0.00%	0	0.00%	32	19.75%
8	その他	0	0.00%	1	0.95%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.62%
	回答施設合計	26		105		18		13		162	

1-83. 日中勤務時間帯の不規則抗体スクリーニングの実施者として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	0	0.00%	4	3.77%	6	33.33%	10	76.92%	20	12.27%
2	検査部門の臨床検査技師	1	3.85%	46	43.40%	12	66.67%	4	30.77%	63	38.65%
3	院内の検査センター技師	0	0.00%	10	9.43%	1	5.56%	0	0.00%	11	6.75%
4	看護師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	担当医	0	0.00%	1	0.94%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.61%
6	院外の検査機関に委託	24	92.31%	47	44.34%	0	0.00%	0	0.00%	71	43.56%
7	検査を実施していない	1	3.85%	5	4.72%	0	0.00%	0	0.00%	6	3.68%
8	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	26		106		18		13		163	

1-84. 夜間・休日勤務時間帯の不規則抗体スクリーニングの実施者として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	0	0.00%	2	1.89%	6	33.33%	8	61.54%	16	9.82%
2	検査部門の臨床検査技師	0	0.00%	42	39.62%	17	94.44%	12	92.31%	71	43.56%
3	院内の検査センター技師	0	0.00%	10	9.43%	1	5.56%	0	0.00%	11	6.75%
4	看護師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	担当医	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	院外の検査機関に委託	7	26.92%	33	31.13%	0	0.00%	0	0.00%	40	24.54%
7	検査を実施していない	19	73.08%	26	24.53%	0	0.00%	1	7.69%	46	28.22%
8	その他	0	0.00%	1	0.94%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.61%
	回答施設合計	26		106		18		13		163	

1-85. 日中勤務時間帯の交差適合試験の実施者として当てはまるものを全て選んでください

複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	0	0.00%	4	3.77%	6	33.33%	10	76.92%	20	12.27%
2	検査部門の臨床検査技師	4	15.38%	70	66.04%	12	66.67%	3	23.08%	89	54.60%
3	院内の検査センター技師	0	0.00%	13	12.26%	1	5.56%	0	0.00%	14	8.59%
4	看護師	0	0.00%	3	2.83%	0	0.00%	0	0.00%	3	1.84%
5	担当医	0	0.00%	3	2.83%	0	0.00%	0	0.00%	3	1.84%
6	院外の検査機関に委託	22	84.62%	22	20.75%	0	0.00%	0	0.00%	44	26.99%
7	検査を実施していない	0	0.00%	2	1.89%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.23%
8	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	26		106		18		13		163	

1-86. 夜間・休日勤務時間帯の交差適合試験の実施者として当てはまるものを全て選んでください

複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門の臨床検査技師	0	0.00%	2	1.89%	6	33.33%	9	69.23%	17	10.43%
2	検査部門の臨床検査技師	1	3.85%	62	58.49%	17	94.44%	13	100.00%	93	57.06%
3	院内の検査センター技師	0	0.00%	12	11.32%	1	5.56%	0	0.00%	13	7.98%
4	看護師	0	0.00%	4	3.77%	0	0.00%	0	0.00%	4	2.45%
5	担当医	0	0.00%	2	1.89%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.23%
6	院外の検査機関に委託	7	26.92%	19	17.92%	0	0.00%	0	0.00%	26	15.95%
7	検査を実施していない	18	69.23%	16	15.09%	0	0.00%	0	0.00%	34	20.86%
8	その他	0	0.00%	1	0.94%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.61%
	回答施設合計	26		106		18		13		163	

1-87. 血液型検査に用いている主な方法として当てはまるものを全て選んでください

複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	試験管法	8	32.00%	62	59.62%	4	22.22%	3	23.08%	77	48.13%
2	カラム凝集法	5	20.00%	29	27.88%	18	100.00%	13	100.00%	65	40.63%
3	マイクロプレート法	7	28.00%	11	10.58%	0	0.00%	0	0.00%	18	11.25%
4	その他(不明)	9	36.00%	14	13.46%	0	0.00%	0	0.00%	23	14.38%
	回答施設合計	25		104		18		13		160	

1-88. 現在行っている血液型検査の内容として当てはまるものを全て選んでください

複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	抗A、抗B試薬によるオモテ検査	18	85.71%	91	92.86%	18	100.00%	13	100.00%	140	93.33%
2	A血球、B血球によるウラ検査	17	80.95%	86	87.76%	18	100.00%	12	92.31%	133	88.67%
3	抗D試薬を用いたD抗原検査	15	71.43%	84	85.71%	18	100.00%	13	100.00%	130	86.67%
	回答施設合計	21		98		18		13		150	

1-89. 貴施設での血液型検査の二重チェックについて当てはまるものを1つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則、同一患者の異なる時点での2検体で実施し、同一検体については2人の検査者がそれぞれに検査している(日勤帯・夜勤帯両方)	1	4.17%	8	8.60%	5	27.78%	5	38.46%	19	12.84%
2	原則、同一患者の異なる時点での2検体で実施し、同一検体については2人の検査者がそれぞれに検査している(日勤帯のみ)	3	12.50%	16	17.20%	3	16.67%	0	0.00%	22	4.00%
3	原則、同一患者の異なる時点での2検体で実施し、同一検体については実施していない(日勤帯・夜勤帯両方)	0	0.00%	14	15.05%	10	55.56%	7	53.85%	31	20.95%
4	原則、同一患者の異なる時点での2検体で実施し、同一検体については実施していない(日勤帯のみ)	0	0.00%	5	5.38%	0	0.00%	0	0.00%	5	3.38%
5	原則、同一患者の異なる時点での2検体では実施せず、同一検体については2人の検査者がそれぞれに検査している(日勤帯・夜勤帯両方)	4	16.67%	12	12.90%	0	0.00%	1	7.69%	17	11.49%
6	原則、同一患者の異なる時点での2検体では実施せず、同一検体については2人の検査者がそれぞれに検査している(日勤帯のみ)	2	8.33%	17	18.28%	0	0.00%	0	0.00%	19	12.84%
7	どちらも実施していない	14	58.33%	21	22.58%	0	0.00%	0	0.00%	35	23.65%
	回答施設合計	24		93		18		13		148	

1-90. 不規則抗体スクリーニングに用いている主な方法として当てはまるものを全て選んでください
 い 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	試験管法	3	12.50%	31	31.00%	3	16.67%	2	15.38%	39	25.16%
2	カラム凝集法	10	41.67%	45	45.00%	17	94.44%	13	100.00%	85	54.84%
3	固相法	0	0.00%	2	2.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.29%
4	その他(不明)	12	50.00%	25	25.00%	0	0.00%	0	0.00%	37	23.87%
	回答施設合計	24		100		18		13		155	

1-91. 現在行っている不規則抗体スクリーニングの内容として当てはまるものを全て選んでください
 い 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	生理食塩液法	5	20.83%	34	34.00%	2	11.11%	2	15.38%	43	27.74%
2	酵素法	8	33.33%	46	46.00%	13	72.22%	8	61.54%	75	48.39%
3	間接抗グロブリン法	6	25.00%	69	69.00%	18	100.00%	13	100.00%	106	68.39%
4	その他(不明)	13	54.17%	25	25.00%	0	0.00%	0	0.00%	38	24.52%
	回答施設合計	24		100		18		13		155	

1-92. 交差適合試験に用いている主な方法として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	試験管法	12	48.00%	58	57.43%	11	61.11%	7	53.85%	88	56.05%
2	カラム凝集法	1	4.00%	25	24.75%	12	66.67%	9	69.23%	47	29.94%
3	固相法	1	4.00%	3	2.97%	0	0.00%	0	0.00%	4	2.55%
4	その他(不明)	11	44.00%	18	17.82%	0	0.00%	0	0.00%	29	18.47%
	回答施設合計	25		101		18		13		157	

1-93. 現在行っている交差適合試験の主な方法として当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	生理食塩液法	11	45.83%	60	58.25%	11	61.11%	6	46.15%	88	55.70%
2	酵素法	6	25.00%	31	30.10%	2	11.11%	1	7.69%	40	25.32%
3	間接抗グロブリン法	9	37.50%	79	76.70%	18	100.00%	13	100.00%	119	75.32%
4	コンピュータクロスマッチ	0	0.00%	3	2.91%	3	16.67%	0	0.00%	6	3.80%
5	その他(不明)	11	45.83%	16	15.53%	0	0.00%	0	0.00%	27	17.09%
	回答施設合計	24		103		18		13		158	

1-94. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で臨床検査技師以外の職員が交差適合試験を行って、赤血球輸血を施行した症例はありましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	あった	1	4.00%	2	1.94%	0	0.00%	0	0.00%	3	1.89%
2	なかった	23	92.00%	99	96.12%	18	100.00%	13	100.00%	153	96.23%
3	不明	1	4.00%	2	1.94%	0	0.00%	0	0.00%	3	1.89%
	回答施設合計	25		103		18		13		159	

1-95. 緊急輸血時など血液型が確定できない時には、交差適合試験を省略して O 型 赤血球液を使用していますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用している	1	4.17%	9	8.74%	10	55.56%	12	92.31%	32	20.25%
2	使用していない	23	95.83%	69	66.99%	0	0.00%	0	0.00%	92	58.23%
3	使用していないが、マニュアルに使用を明記している	0	0.00%	24	23.30%	8	44.44%	1	7.69%	33	20.89%
4	不明	0	0.00%	1	0.97%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.63%
	回答施設合計	24		103		18		13		158	

交差適合試験を省略してO型 赤血球を使用した症例数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床						
1～299床	4	1	13	4.25	17	5.85
300～499床	6	0	26	5.67	34	10.11
500床以上	10	1	194	35.20	352	57.47
全体	20	0	194	18.30	403	42.84

1-96. 緊急輸血時など血液型が確定できない時には、AB 型 新鮮凍結人血漿を使用していますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用している	0	0.00%	7	6.86%	5	27.78%	11	84.62%	23	14.56%
2	使用していない	25	100.00%	71	69.61%	1	5.56%	1	7.69%	98	62.03%
3	使用していないが、マニュアルに使用を明記している	0	0.00%	22	21.57%	12	66.67%	1	7.69%	35	22.15%
4	不明	0	0.00%	2	1.96%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.27%
	回答施設合計	25		102		18		13		158	

AB型 新鮮凍結人血漿を使用した症例数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床						
1～299床	3	0	3	1.00	3	1.73
300～499床	3	0	5	2.00	6	2.65
500床以上	9	0	188	29.89	269	60.07
全体	15	0	188	15.78	278	47.65

1-97. 血液型が確定している患者に緊急輸血を実施する時、ABO 血液型同型赤血球液を、交差適合試験を省略して使用していますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用している	0	0.00%	9	8.57%	11	61.11%	8	61.54%	28	17.39%
2	使用していない	25	100.00%	75	71.43%	2	11.11%	4	30.77%	106	65.84%
3	使用していないが、マニュアルに使用を明記している	0	0.00%	21	20.00%	5	27.78%	1	7.69%	27	16.77%
4	不明	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	25		105		18		13		161	

ABO型同型赤血球液を、交差適合試験を省略して使用した症例数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床						
1～299床	4	0	159	49.00	196	75.22
300～499床	4	2	32	10.50	42	14.36
500床以上	4	1	413	111.00	444	201.46
全体	12	0	413	60.36	682	120.57

1-98. ABO 血液型、RhD 血液型、不規則抗体スクリーニングを事前に行い、臨床的に問題となる抗体が検出されない場合、赤血球輸血時にコンピュータクロスマッチを実施していますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	すべての症例で実施している	1	4.35%	3	2.94%	4	22.22%	0	0.00%	8	5.13%
2	T&S(type and screen)症例のみ実施している	0	0.00%	2	1.96%	2	11.11%	2	15.38%	6	3.85%
3	手術時の追加依頼の場合に実施している	0	0.00%	1	0.98%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.64%
4	実施していない	21	91.30%	95	93.14%	11	61.11%	10	76.92%	137	87.82%
5	その他	1	4.35%	1	0.98%	1	5.56%	1	7.69%	4	2.56%
	回答施設合計	23		102		18		13		156	

2-4) 輸血前の検体保管状況と感染症検査の実施状況について

1-99. 輸血前検体の保存について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	2	8.33%	68	66.02%	18	100.00%	13	100.00%	101	63.92%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	4	16.67%	8	7.77%	0	0.00%	0	0.00%	12	7.59%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	2	8.33%	5	4.85%	0	0.00%	0	0.00%	7	4.43%
4	保存していない	16	66.67%	22	21.36%	0	0.00%	0	0.00%	38	24.05%
	回答施設合計	24		103		18		13		158	

1-100. 検体保存期間として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	1.0ヶ月～6.0ヶ月	3	60.00%	7	9.33%	0	0.00%	0	0.00%	10	9.01%
2	6.1ヶ月～12.0ヶ月	0	0.00%	1	1.33%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.90%
3	12.1ヶ月～24.0ヶ月	0	0.00%	24	32.00%	6	33.33%	3	23.08%	33	29.73%
4	24.1ヶ月以上(永久保存を除く)	2	40.00%	42	56.00%	11	61.11%	9	69.23%	64	57.66%
5	永久保存	0	0.00%	1	1.33%	1	5.56%	1	7.69%	3	2.70%
	回答施設合計	5		75		18		13		111	

1-101. 輸血前検体保存の方法について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液型検査や交差適合試験の残りをそのまま保存している	5	83.33%	42	55.26%	7	38.89%	2	15.38%	56	49.56%
2	血液型検査や交差適合試験の残りを核酸検査に適合する試験管などに入れ保存している	1	16.67%	17	22.37%	8	44.44%	8	61.54%	34	30.09%
3	専用の採血管に採血し未開封のまま保存している	0	0.00%	11	14.47%	1	5.56%	2	15.38%	14	12.39%
4	その他	0	0.00%	6	7.89%	2	11.11%	1	7.69%	9	7.96%
	回答施設合計	6		76		18		13		113	

1-102. 輸血前に感染症マーカーの検査（輸血前感染症検査）について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血前検査として、原則として全ての症例で行っている	4	17.39%	32	31.37%	3	16.67%	6	50.00%	45	29.03%
2	輸血前検査として、症例によって行っている	3	13.04%	1	0.98%	2	11.11%	0	0.00%	6	3.87%
3	入院時検査や術前検査と合わせて行っている	9	39.13%	59	57.84%	10	55.56%	6	50.00%	84	54.19%
4	行っていない	7	30.43%	10	9.80%	3	16.67%	0	0.00%	20	12.90%
	回答施設合計	23		102		18		12		155	

1-103. 輸血前に実施している感染症検査の項目として当てはまるものを全て選んでください

複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	HBs抗原(*)	10	76.92%	90	97.83%	15	100.00%	12	100.00%	127	96.21%
2	HBs抗体(*)	5	38.46%	25	27.17%	7	46.67%	6	50.00%	43	32.58%
3	HBc抗体(*)	4	30.77%	15	16.30%	4	26.67%	6	50.00%	29	21.97%
4	HBe抗原	1	7.69%	5	5.43%	0	0.00%	0	0.00%	6	4.55%
5	HBe抗体	1	7.69%	6	6.52%	1	6.67%	0	0.00%	8	6.06%
6	HBV-DNA核酸増幅検査	0	0.00%	4	4.35%	0	0.00%	0	0.00%	4	3.03%
7	HCV抗体(*)	11	84.62%	91	98.91%	15	100.00%	12	100.00%	129	97.73%
8	HCVコア抗原(*)	1	7.69%	12	13.04%	4	26.67%	4	33.33%	21	15.91%
9	HCV-RNA核酸増幅検査	0	0.00%	3	3.26%	0	0.00%	0	0.00%	3	2.27%
10	HIV抗体(*)	3	23.08%	35	38.04%	4	26.67%	8	66.67%	50	37.88%
11	HIV抗原/HIV抗体同時測定	1	7.69%	24	26.09%	8	53.33%	5	41.67%	38	28.79%
12	HTLV-1 抗体	0	0.00%	7	7.61%	0	0.00%	1	8.33%	8	6.06%
	回答施設合計	13		92		15		12		132	

(*) 厚生労働省の推奨する検査項目

2-5) 輸血後の検体保管状況と感染症検査の実施状況について

1-104. 輸血後検体の保存について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則的に全ての患者さんの検体を凍結保存している	1	4.17%	17	16.19%	2	11.11%	1	7.69%	21	13.13%
2	原則的に全ての患者さんの検体を冷蔵保存している	2	8.33%	7	6.67%	2	11.11%	2	15.38%	13	8.13%
3	特別な場合以外、ほとんど保存していない	6	25.00%	25	23.81%	4	22.22%	3	23.08%	38	23.75%
4	保存していない	15	62.50%	56	53.33%	10	55.56%	7	53.85%	88	55.00%
	回答施設合計	24		105		18		13		160	

1-105. 検体保存期間として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	1.0ヶ月～6.0ヶ月	1	50.00%	9	37.50%	2	50.00%	2	66.67%	14	42.42%
2	6.1ヶ月～12.0ヶ月	0	0.00%	2	8.33%	0	0.00%	0	0.00%	2	6.06%
3	12.1ヶ月～24.0ヶ月	0	0.00%	6	25.00%	1	25.00%	1	33.33%	8	24.24%
4	24.1ヶ月以上(永久保存を除く)	1	50.00%	6	25.00%	1	25.00%	0	0.00%	8	24.24%
5	永久保存	0	0.00%	1	4.17%	0	0.00%	0	0.00%	1	3.03%
	回答施設合計	2		24		4		3		33	

1-106. 輸血後検体保存の方法について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	検査の残りをそのまま保存している	2	66.67%	19	86.36%	2	50.00%	2	66.67%	25	78.13%
2	検査の残りを核酸検査に適合する試験管などに入れ保存している	1	33.33%	1	4.55%	2	50.00%	0	0.00%	4	12.50%
3	専用の採血管に採血し未開封のまま保存している	0	0.00%	1	4.55%	0	0.00%	1	33.33%	2	6.25%
4	その他	0	0.00%	1	4.55%	0	0.00%	0	0.00%	1	3.13%
	回答施設合計	3		22		4		3		32	

1-107. 輸血後に感染症マーカーの検査（輸血後感染症検査）について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	原則として全ての症例で行っている	4	17.39%	35	33.02%	2	11.11%	1	7.69%	42	26.25%
2	症例によって行っている	2	8.70%	21	19.81%	14	77.78%	11	84.62%	48	30.00%
3	行っていない	17	73.91%	50	47.17%	2	11.11%	1	7.69%	70	43.75%
	回答施設合計	23		106		18		13		160	

1-108. 輸血後に実施している感染症検査の項目として当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	HBs抗原	5	83.33%	36	64.29%	6	37.50%	4	36.36%	51	57.30%
2	HBs抗体	3	50.00%	6	10.71%	2	12.50%	2	18.18%	13	14.61%
3	HBc抗体	2	33.33%	5	8.93%	0	0.00%	2	18.18%	9	10.11%
4	HBe抗原	1	16.67%	5	8.93%	0	0.00%	0	0.00%	6	6.74%
5	HBe抗体	1	16.67%	4	7.14%	0	0.00%	0	0.00%	5	5.62%
6	HBV-DNA核酸増幅検査(*)	2	33.33%	20	35.71%	11	68.75%	6	54.55%	39	43.82%
7	HCV抗体	5	83.33%	33	58.93%	6	37.50%	4	36.36%	48	53.93%
8	HCVコア抗原(*)	2	33.33%	21	37.50%	11	68.75%	7	63.64%	41	46.07%
9	HCV-RNA核酸増幅検査	0	0.00%	1	1.79%	0	0.00%	1	9.09%	2	2.25%
10	HIV抗体(*)	4	66.67%	26	46.43%	2	12.50%	7	63.64%	39	43.82%
11	HIV抗原／HIV抗体同時測定	1	16.67%	21	37.50%	11	68.75%	3	27.27%	36	40.45%
12	HTLV-1 抗体	0	0.00%	2	3.57%	0	0.00%	1	9.09%	3	3.37%
13	IgA-HEV抗体	0	0.00%	2	3.57%	0	0.00%	0	0.00%	2	2.25%
	回答施設合計	6		56		16		11		89	

(*) 厚生労働省の推奨する検査項目

2-6) 血漿分画製剤の管理について

1-109. アルブミン製剤を管理している部門として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	0	0.00%	2	2.08%	5	27.78%	4	30.77%	11	7.69%
2	検査部門	1	6.25%	3	3.13%	4	22.22%	2	15.38%	10	6.99%
3	薬剤部門	7	43.75%	84	87.50%	9	50.00%	6	46.15%	106	74.13%
4	その他	8	50.00%	7	7.29%	0	0.00%	1	7.69%	16	11.19%
	回答施設合計	16		96		18		13		143	

「その他」の場合

- ・ 2023 年 2 月のシステム更新時に薬剤部より輸血部門に移管する
- ・ 担当医及び病棟看護師
- ・ 看護部門
- ・ 使用なし
- ・ 透析部門
- ・ 基本的にアルブミン製剤は当院では使用してません

1-110. 今後、輸血部門および検査部門でアルブミン製剤を管理することは可能ですか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	可能	1	7.14%	6	6.98%	2	22.22%	1	16.67%	10	8.70%
2	不可能	12	85.71%	61	70.93%	6	66.67%	4	66.67%	83	72.17%
3	状況次第	1	7.14%	19	22.09%	1	11.11%	1	16.67%	22	19.13%
	回答施設合計	14		86		9		6		115	

「状況次第」の場合

- ・ スペースの確保、システムの導入、運用の変更周知など
- ・ システムや人材、スペースなどの課題あり
- ・ 2023 年 2 月のシステム更新時に薬剤部より輸血部門に移管する
- ・ 現行の電子カルテはカスタマイズ不可のため、電子カルテの更新時に移管を検討中
- ・ 病院の方針に準じる
- ・ 適応がわからない
- ・ 院内手続きの上
- ・ 検査部門で了解がとれたら大丈夫かと思う
- ・ 使用なし
- ・ 管理システム構築や一元管理を行っていないので薬剤科との調整が必要となる担当医及び病棟看護師

1-111. 免疫グロブリン製剤を管理している部門として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	0	0.00%	2	2.15%	1	5.56%	0	0.00%	3	2.14%
2	検査部門	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	薬剤部門	8	50.00%	86	92.47%	17	94.44%	13	100.00%	124	88.57%
4	その他	8	50.00%	5	5.38%	0	0.00%	0	0.00%	13	9.29%
	回答施設合計	16		93		18		13		140	

「その他」の場合

- ・使用実績が無いため、管理部門の設定なし
- ・使用なし
- ・使用しない
- ・取り扱いなし
- ・看護部
- ・使用例なし
- ・使用予定なし
- ・部門なし
- ・使用予定なし

1-112. 今後、輸血部門および検査部門で免疫グロブリン製剤を管理することは可能ですか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	可能	1	7.14%	6	6.98%	0	0.00%	1	8.33%	8	6.25%
2	不可能	12	85.71%	65	75.58%	12	75.00%	10	83.33%	99	77.34%
3	状況次第	1	7.14%	15	17.44%	4	25.00%	1	8.33%	21	16.41%
	回答施設合計	14		86		16		12		128	

「状況次第」の場合

- ・薬剤部との調整、適正使用に関する知識等の教育
- ・スペースの確保、システムの導入、運用の変更周知など
- ・システムや人材、スペースなどの課題あり
- ・現行の電子カルテはカスタマイズ不可のため、電子カルテの更新時に移管を検討中。
- ・病院の方針に準じる
- ・適応がわからない
- ・使用しない
- ・管理システム構築や一元管理を行っていないので薬剤科との調整が必要となる

1-113. フィブリノゲン製剤を管理している部門として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	0	0.00%	1	1.11%	1	5.56%	0	0.00%	2	1.48%
2	検査部門	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	薬剤部門	5	35.71%	80	88.89%	17	94.44%	12	92.31%	114	84.44%
4	その他	9	64.29%	9	10.00%	0	0.00%	1	7.69%	19	14.07%
	回答施設合計	14		90		18		13		135	

「その他」の場合

- ・輸血室と薬剤科で管理している
- ・未採用・未使用のため
- ・在庫なし
- ・使用実績が無いため、管理部門の設定なし
- ・使用していない, 使用していない, 使用していない
- ・使用なし
- ・使用しない
- ・取り扱い無し
- ・管理取り扱いが無い
- ・看護部
- ・使用例なし
- ・使用予定なし
- ・部門なし

1-114. 今後、輸血部門および検査部門でフィブリノゲン製剤を管理することは可能ですか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	可能	1	7.14%	5	5.75%	0	0.00%	1	9.09%	7	5.47%
2	不可能	13	92.86%	66	75.86%	12	75.00%	9	81.82%	100	78.13%
3	状況次第	0	0.00%	16	18.39%	4	25.00%	1	9.09%	21	16.41%
	回答施設合計	14		87		16		11		128	

「状況次第」の場合

- ・薬剤部との調整、適正使用に関する知識等の教育
- ・スペースの確保、システムの導入、運用の変更周知など
- ・システムや人材、スペースなどの課題あり
- ・現行の電子カルテはカスタマイズ不可のため、電子カルテの更新時に移管を検討中
- ・病院の方針に準じる
- ・適応がわからない
- ・使用なし

2-7) 輸血製剤・血漿分画製剤の適正使用について

1-115. 貴院では輸血オーダー時に輸血部門で適正か（輸血の適応か、適正な用量か）を評価していますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	評価している	2	9.09%	7	6.80%	3	16.67%	2	16.67%	14	9.03%
2	一部のみ評価している	0	0.00%	14	13.59%	5	27.78%	2	16.67%	21	13.55%
3	評価していない	2	9.09%	40	38.83%	10	55.56%	7	58.33%	59	38.06%
4	輸血部門がないため該当なし	18	81.82%	42	40.78%	0	0.00%	1	8.33%	61	39.35%
	回答施設合計	22		103		18		12		155	

1-116. 評価している血液製剤を全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	赤血球液	2	100.00%	19	95.00%	6	75.00%	4	100.00%	31	91.18%
2	血小板濃厚液	0	0.00%	11	55.00%	7	87.50%	4	100.00%	22	64.71%
3	新鮮凍結血漿	0	0.00%	9	45.00%	3	37.50%	4	100.00%	16	47.06%
4	アルブミン製剤	0	0.00%	6	30.00%	1	12.50%	0	0.00%	7	20.59%
5	免疫グロブリン製剤	0	0.00%	6	30.00%	0	0.00%	0	0.00%	6	17.65%
	回答施設合計	2		20		8		4		34	

1-117. 評価方法を全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	オーダーシステムにトリガー値を設定し、自動的に評価している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	オーダーシステムのトリガー値と病態・輸血目的等から総合的に評価している	0	0.00%	0	0.00%	1	12.50%	1	33.33%	2	6.06%
3	輸血(or検査)システム上で検査値を確認している	2	100.00%	16	80.00%	7	87.50%	3	100.00%	28	84.85%
4	電子カルテの病名・病態を確認している	1	50.00%	15	75.00%	3	37.50%	1	33.33%	20	60.61%
5	その他	0	0.00%	1	5.00%	0	0.00%	1	33.33%	2	6.06%
	回答施設合計	2		20		8		3		33	

「その他」の場合

・症例に応じて検査データや病態・病名を確認

1-118. 評価後の対応方法を選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	不適正と評価されたオーダーは全例問い合わせる	1	50.00%	7	35.00%	0	0.00%	1	25.00%	9	27.27%
2	不適正と評価されたオーダーのうちその度合いが大きいもののみ問い合わせる	1	50.00%	10	50.00%	7	100.00%	1	25.00%	19	57.58%
3	その時点では対応せず、事後に輸血療法委員会等で検討する	0	0.00%	3	15.00%	0	0.00%	2	50.00%	5	15.15%
4	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	2		20		7		4		33	

「その他」の場合 回答なし

1-119. 1-118 で「(1)、(2)」問い合わせると回答した施設へ、おたずねします。問い合わせているのは誰ですか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	業務を行った検査技師	0	0.00%	10	58.82%	2	28.57%	0	0.00%	12	42.86%
2	輸血担当技師(輸血療法の実施に関する指針に提示)	1	50.00%	2	11.76%	5	71.43%	2	100.00%	10	35.71%
3	輸血部門の医師	0	0.00%	1	5.88%	0	0.00%	0	0.00%	1	3.57%
4	輸血責任医師	1	50.00%	1	5.88%	0	0.00%	0	0.00%	2	7.14%
5	その他	0	0.00%	3	17.65%	0	0.00%	0	0.00%	3	10.71%
	回答施設合計	2		17		7		2		28	

「その他」の場合

- ・薬剤師
- ・薬剤師 (一部アルブミン、グロブリンのみ)
- ・業務を行った看護師輸血室と薬剤科で管理している

1-120. 貴院では輸血実施後にその輸血が適正だったかどうかを評価していますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	評価している	4	21.05%	17	17.53%	2	11.11%	2	16.67%	25	17.12%
2	一部のみ評価している	0	0.00%	10	10.31%	5	27.78%	3	25.00%	18	12.33%
3	評価していない	15	78.95%	70	72.16%	11	61.11%	7	58.33%	103	70.55%
	回答施設合計	19		97		18		12		146	

1-121. 評価している血液製剤を全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	赤血球液	4	100.00%	24	88.89%	7	100.00%	5	100.00%	40	93.02%
2	血小板濃厚液	0	0.00%	16	59.26%	7	100.00%	5	100.00%	28	65.12%
3	新鮮凍結血漿	0	0.00%	15	55.56%	5	71.43%	5	100.00%	25	58.14%
4	アルブミン製剤	0	0.00%	14	51.85%	3	42.86%	3	60.00%	20	46.51%
5	免疫グロブリン製剤	0	0.00%	8	29.63%	2	28.57%	0	0.00%	10	23.26%
	回答施設合計	4		27		7		5		43	

1-122. 評価方法を全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血療法委員会で検討している	0	0.00%	17	65.38%	7	100.00%	5	100.00%	29	69.05%
2	適正使用についての症例検討会で検討している	1	25.00%	2	7.69%	0	0.00%	0	0.00%	3	7.14%
3	医局会・診療会議で検討している	2	50.00%	4	15.38%	1	14.29%	0	0.00%	7	16.67%
4	院内研修会・勉強会で検討している	0	0.00%	1	3.85%	0	0.00%	0	0.00%	1	2.38%
5	保険対策委員会で検討している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	多職種カンファレンスで検討している	1	25.00%	4	15.38%	0	0.00%	0	0.00%	5	11.90%
7	その他	0	0.00%	4	15.38%	0	0.00%	0	0.00%	4	9.52%
	回答施設合計	4		26		7		5		42	

「その他」の場合

- ・技師間で話をしている
- ・担当医師による採血フォローアップ等が含まれる
- ・医師と看護師で評価輸血室と薬剤科で管理している

1-123. 貴院では輸血療法委員会の規約に「適正使用の推進」について記載されていますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	記載されている	1	5.00%	32	34.41%	17	100.00%	12	92.31%	62	43.36%
2	記載されていない	1	5.00%	16	17.20%	0	0.00%	0	0.00%	17	11.89%
3	輸血療法委員会がない	16	80.00%	36	38.71%	0	0.00%	0	0.00%	52	36.36%
4	輸血療法委員会の規約がない	2	10.00%	9	9.68%	0	0.00%	1	7.69%	12	8.39%
	回答施設合計	20		93		17		13		143	

1-124. 貴院では輸血療法委員会で具体的に適正使用について検討されていますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	検討されている	1	5.00%	21	23.08%	11	61.11%	10	76.92%	43	30.28%
2	検討されていない	2	10.00%	31	34.07%	7	38.89%	3	23.08%	43	30.28%
3	輸血療法委員会がない	17	85.00%	39	42.86%	0	0.00%	0	0.00%	56	39.44%
	回答施設合計	20		91		18		13		142	

1-125. 輸血療法委員会で検討するために提示されたものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血実施症例での輸血前後の検査値のリストの提示	1	100.00%	11	55.00%	3	27.27%	1	10.00%	16	38.10%
2	輸血実施症例での臨床効果のリストの提示	0	0.00%	5	25.00%	1	9.09%	1	10.00%	7	16.67%
3	不適正使用が疑われた症例の臨床経過の提示	0	0.00%	6	30.00%	4	36.36%	3	30.00%	13	30.95%
4	保険査定を受けた症例の臨床経過の提示	0	0.00%	3	15.00%	2	18.18%	1	10.00%	6	14.29%
5	手術用準備血と実際に使用された輸血量の提示	0	0.00%	5	25.00%	6	54.55%	7	70.00%	18	42.86%
6	Type & Screen導入に向けての基礎データ提示	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	20.00%	2	4.76%
7	その他	0	0.00%	1	5.00%	1	9.09%	0	0.00%	2	4.76%
	回答施設合計	1		20		11		10		42	

「その他」の場合

- ・純粋な使用量の多寡
- ・RBC/FFP 比

1-126. 次に挙げる項目のうち、輸血の適正使用推進に効果があったものを全て選んでください

複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	病院機能評価	1	5.56%	12	13.33%	9	52.94%	7	53.85%	29	21.01%
2	輸血機能評価(I&A)	1	5.56%	1	1.11%	2	11.76%	3	23.08%	7	5.07%
3	自治体の輸血監査	1	5.56%	1	1.11%	3	17.65%	0	0.00%	5	3.62%
4	合同輸血療法委員会等による査察	1	5.56%	1	1.11%	1	5.88%	1	7.69%	4	2.90%
5	特になし	4	22.22%	38	42.22%	5	29.41%	5	38.46%	52	37.68%
6	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
7	上記の全て経験なし	13	72.22%	39	43.33%	0	0.00%	1	7.69%	53	38.41%
	回答施設合計	18		90		17		13		138	

「その他」の場合 回答なし

1-127. 貴院では輸血部門から医師へ輸血の適正使用の意見を伝えることに抵抗感がありますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	とてもある	0	0.00%	3	3.37%	1	5.88%	1	7.69%	5	3.60%
2	かなりある	1	5.00%	11	12.36%	4	23.53%	2	15.38%	18	12.95%
3	多少ある	2	10.00%	13	14.61%	7	41.18%	3	23.08%	25	17.99%
4	あまりない	2	10.00%	3	3.37%	5	29.41%	5	38.46%	15	10.79%
5	ない	0	0.00%	2	2.25%	0	0.00%	1	7.69%	3	2.16%
6	輸血部門がない	15	75.00%	57	64.04%	0	0.00%	1	7.69%	73	52.52%
	回答施設合計	20		89		17		13		139	

1-128. 貴院では輸血部門が輸血の適正使用についての情報提供を行いやすい環境ですか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	とても行いやすい	1	5.00%	3	3.33%	0	0.00%	0	0.00%	4	2.86%
2	かなり行いやすい	0	0.00%	2	2.22%	1	5.88%	1	7.69%	4	2.86%
3	普通に行える	2	10.00%	20	22.22%	11	64.71%	7	53.85%	40	28.57%
4	かなり行いにくい	1	5.00%	6	6.67%	3	17.65%	4	30.77%	14	10.00%
5	とても行いにくい	0	0.00%	1	1.11%	1	5.88%	0	0.00%	2	1.43%
6	輸血部門がない	16	80.00%	58	64.44%	1	5.88%	1	7.69%	76	54.29%
	回答施設合計	20		90		17		13		140	

1-129. 貴院の輸血部門が輸血の適正使用について連携している部門があれば全て選んでください

複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	看護部門	1	5.00%	18	18.56%	3	17.65%	5	38.46%	27	18.37%
2	薬剤部門	1	5.00%	11	11.34%	3	17.65%	3	23.08%	18	12.24%
3	診療部門	0	0.00%	10	10.31%	6	35.29%	5	38.46%	21	14.29%
4	手術部門	0	0.00%	6	6.19%	3	17.65%	4	30.77%	13	8.84%
5	医療安全部門	0	0.00%	4	4.12%	4	23.53%	4	30.77%	12	8.16%
6	医療経営部門	0	0.00%	0	0.00%	1	5.88%	0	0.00%	1	0.68%
7	医事課	0	0.00%	5	5.15%	3	17.65%	3	23.08%	11	7.48%
8	特になし	4	20.00%	16	16.49%	9	52.94%	5	38.46%	34	23.13%
9	輸血部門がない	15	75.00%	58	59.79%	1	5.88%	1	7.69%	75	51.02%
	回答施設合計	20		97		17		13		147	

1-130. 貴院では輸血の適正使用について地域の医療連携を利用できるとしたら希望しますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	希望する	3	15.00%	11	11.83%	3	18.75%	0	0.00%	17	12.14%
2	希望しない	8	40.00%	21	22.58%	5	31.25%	3	27.27%	37	26.43%
3	どちらともいえない	9	45.00%	61	65.59%	8	50.00%	8	72.73%	86	61.43%
	回答施設合計	20		93		16		11		140	

1-131. 具体的に希望される連携先を全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	中核病院の輸血専門医	0	0.00%	8	72.73%	2	66.67%	0	0.00%	10	62.50%
2	中核病院の輸血担当技師	2	100.00%	8	72.73%	2	66.67%	0	0.00%	12	75.00%
3	中核病院の看護師	0	0.00%	3	27.27%	1	33.33%	0	0.00%	4	25.00%
4	中核病院の薬剤師	0	0.00%	2	18.18%	1	33.33%	0	0.00%	3	18.75%
5	合同輸血療法委員会の適正使用部会	1	50.00%	3	27.27%	2	66.67%	0	0.00%	6	37.50%
6	血液センターの学術担当者	1	50.00%	2	18.18%	3	100.00%	0	0.00%	6	37.50%
7	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	2		11		3		0		16	

「その他」の場合 回答なし

1-132. 貴院で輸血の適正使用について医師への教育を行う場合に最も効果的と思われる方法を 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	院外の輸血専門医による講演会	8	47.06%	31	34.44%	4	23.53%	4	33.33%	47	34.56%
2	e-learning研修の義務化	6	35.29%	27	30.00%	4	23.53%	1	8.33%	38	27.94%
3	輸血部門での定期的な研修会	1	5.88%	5	5.56%	3	17.65%	0	0.00%	9	6.62%
4	入職時オリエンテーションで輸血の適正使用の受講を必須事項とする	0	0.00%	5	5.56%	5	29.41%	7	58.33%	17	12.50%
5	血液センター学術担当者による勉強会	2	11.76%	22	24.44%	1	5.88%	0	0.00%	25	18.38%
6	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	17		90		17		12		136	

「その他」の場合 回答なし

1-133. 貴院での輸血の適正使用推進に関しての問題点があれば全て選んでください

複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	適正使用について検討する機会がない	13	81.25%	58	65.17%	9	60.00%	4	36.36%	84	64.12%
2	適正使用推進の責任者が明確でない	4	25.00%	49	55.06%	5	33.33%	5	45.45%	63	48.09%
3	多職種の間でルール化されていない	4	25.00%	24	26.97%	5	33.33%	2	18.18%	35	26.72%
4	担当医師の専門分野での輸血の知識が不足している	2	12.50%	9	10.11%	3	20.00%	3	27.27%	17	12.98%
5	担当医師の専門分野外での輸血の知識が不足している	2	12.50%	13	14.61%	6	40.00%	7	63.64%	28	21.37%
6	使用指針で示されていない慢性期の病態が多く、判断が難しい	3	18.75%	17	19.10%	2	13.33%	1	9.09%	23	17.56%
7	その他	0	0.00%	3	3.37%	2	13.33%	0	0.00%	5	3.82%
	回答施設合計	16		89		15		11		131	

「その他」の場合

- ・インセンティブなど成果報酬がないこと
- ・輸血の機会がない

1-134. 貴院で継続して適正使用を推進するために必要なことを全て選んでください

複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	最新の使用指針の情報提供	13	81.25%	64	71.91%	13	86.67%	7	63.64%	97	74.05%
2	輸血オーダーシステムの改善	2	12.50%	18	20.22%	8	53.33%	5	45.45%	33	25.19%
3	適正使用推進チームの構築	4	25.00%	31	34.83%	4	26.67%	5	45.45%	44	33.59%
4	適正使用推進計画の作成	4	25.00%	15	16.85%	2	13.33%	2	18.18%	23	17.56%
5	輸血管理料の改定	1	6.25%	8	8.99%	2	13.33%	3	27.27%	14	10.69%
6	外部評価(病院機能評価・I&A等)の活用	1	6.25%	12	13.48%	2	13.33%	5	45.45%	20	15.27%
7	輸血医療の地域連携	1	6.25%	8	8.99%	1	6.67%	0	0.00%	10	7.63%
8	その他	0	0.00%	2	2.25%	1	6.67%	0	0.00%	3	2.29%
	回答施設合計	16		89		15		11		131	

「その他」の場合

- ・医師への教育
- ・輸血を担当できる常勤医師の確保
- ・輸血委員会等がなく適正使用の推進が出来ないので判断ができない

1-135. 貴院での適正な輸血療法を推進する体制の整備状況を 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ほぼ完璧に整備されている	0	0.00%	1	1.10%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.72%
2	かなり整備されている	0	0.00%	4	4.40%	3	17.65%	1	8.33%	8	5.80%
3	多少整備されている	6	33.33%	19	20.88%	8	47.06%	7	58.33%	40	28.99%
4	あまり整備されていない	1	5.56%	24	26.37%	4	23.53%	2	16.67%	31	22.46%
5	ほとんど整備されていない	9	50.00%	32	35.16%	1	5.88%	2	16.67%	44	31.88%
6	わからない	2	11.11%	11	12.09%	1	5.88%	0	0.00%	14	10.14%

1-136. 輸血部門で以下のうち業務と考えている事項を全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血に関する説明・同意書の定期的な更新	1	5.26%	16	16.84%	9	52.94%	6	50.00%	32	22.38%
2	輸血に関するインフォームド・コンセントの一部担当	2	10.53%	8	8.42%	5	29.41%	0	0.00%	15	10.49%
3	輸血検査項目の選択と精度管理	3	15.79%	24	25.26%	16	94.12%	10	83.33%	53	37.06%
4	輸血の使用状況調査	3	15.79%	35	36.84%	16	94.12%	11	91.67%	65	45.45%
5	血液製剤の使用基準遵守についての事前評価	1	5.26%	12	12.63%	7	41.18%	2	16.67%	22	15.38%
6	血液製剤の使用基準遵守についての事後評価	1	5.26%	11	11.58%	4	23.53%	6	50.00%	22	15.38%
7	輸血療法に伴う副反応・合併症の把握と対策	3	15.79%	28	29.47%	15	88.24%	10	83.33%	56	39.16%
8	輸血療法に伴うインシデントの把握と対策	3	15.79%	25	26.32%	16	94.12%	10	83.33%	54	37.76%
9	輸血療法についての院内監査	1	5.26%	8	8.42%	6	35.29%	4	33.33%	19	13.29%
10	適正な院内血液製剤在庫量の検討	2	10.53%	20	21.05%	15	88.24%	9	75.00%	46	32.17%
11	適正な手術準備血の検討	1	5.26%	11	11.58%	5	29.41%	2	16.67%	19	13.29%
12	輸血関連情報の伝達	3	15.79%	27	28.42%	13	76.47%	10	83.33%	53	37.06%
13	自己血輸血の実施方法の検討	1	5.26%	9	9.47%	9	52.94%	2	16.67%	21	14.69%
14	輸血部門がない	17	89.47%	66	69.47%	1	5.88%	1	8.33%	85	59.44%
15	その他	0	0.00%	1	1.05%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.70%
	回答施設合計	19		95		17		12		143	

「その他」の場合

- ・輸血部門がなく判断出来ない

1-137. 輸血部門で以下のうち業務と考えていない事項を全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血に関する説明・同意書の定期的な更新	0	0.00%	10	11.90%	5	45.45%	3	25.00%	18	14.52%
2	輸血に関するインフォームド・コンセントの一部担当	1	5.88%	19	22.62%	7	63.64%	9	75.00%	36	29.03%
3	輸血検査項目の選択と精度管理	0	0.00%	4	4.76%	0	0.00%	0	0.00%	4	3.23%
4	輸血の使用状況調査	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	血液製剤の使用基準遵守についての事前評価	0	0.00%	8	9.52%	3	27.27%	2	16.67%	13	10.48%
6	血液製剤の使用基準遵守についての事後評価	0	0.00%	6	7.14%	2	18.18%	2	16.67%	10	8.06%
7	輸血療法に伴う副反応・合併症の把握と対策	0	0.00%	3	3.57%	1	9.09%	0	0.00%	4	3.23%
8	輸血療法に伴うインシデントの把握と対策	0	0.00%	1	1.19%	1	9.09%	0	0.00%	2	1.61%
9	輸血療法についての院内監査	0	0.00%	9	10.71%	4	36.36%	2	16.67%	15	12.10%
10	適正な院内血液製剤在庫量の検討	1	5.88%	4	4.76%	0	0.00%	1	8.33%	6	4.84%
11	適正な手術準備血の検討	0	0.00%	12	14.29%	5	45.45%	6	50.00%	23	18.55%
12	輸血関連情報の伝達	0	0.00%	1	1.19%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.81%
13	自己血輸血の実施方法の検討	1	5.88%	8	9.52%	2	18.18%	4	33.33%	15	12.10%
14	輸血部門がない	15	88.24%	66	78.57%	1	9.09%	1	8.33%	83	66.94%
15	その他	0	0.00%	3	3.57%	1	9.09%	0	0.00%	4	3.23%
	回答施設合計	17		84		11		12		124	

「その他」の場合

- ・全ての項目が輸血業務となりえる
- ・1～13まで業務と考えている

1-138. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で、高単位の血小板製剤（15 単位、20 単位）を使用した際に保険査定を受けたことがありますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	3	3.26%	5	33.33%	3	30.00%	11	8.03%
2	ない	7	35.00%	55	59.78%	9	60.00%	7	70.00%	78	56.93%
3	血小板製剤の使用なし	13	65.00%	34	36.96%	1	6.67%	0	0.00%	48	35.04%
	回答施設合計	20		92		15		10		137	

高単位の血小板製剤(15単位、20単位)を使用した際に保険査定を受けた件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床						
1～299床	2	1	12	6.50	13	7.78
300～499床	4	1	50	13.75	55	24.19
500床以上	2	1	7	4.00	8	4.24
全体	8	1	50	8.67	76	16.84

2-8) 業務手順書の整備状況について

1-139. 輸血療法に関する院内マニュアルはありますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	22	84.62%	86	85.15%	18	100.00%	13	100.00%	139	87.97%
2	ないが作成する予定である	0	0.00%	4	3.96%	0	0.00%	0	0.00%	4	2.53%
3	ない	4	15.38%	11	10.89%	0	0.00%	0	0.00%	15	9.49%
4	使用実績がない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	26		101		18		13		158	

1-140. 宗教的輸血拒否に関するマニュアルはありますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	2	8.00%	35	35.71%	14	77.78%	13	100.00%	64	41.56%
2	ないが作成する予定である	1	4.00%	6	6.12%	0	0.00%	0	0.00%	7	4.55%
3	ない	17	68.00%	45	45.92%	4	22.22%	0	0.00%	66	42.86%
4	使用実績がない	5	20.00%	12	12.24%	0	0.00%	0	0.00%	17	11.04%
	回答施設合計	25		98		18		13		154	

1-141. 貯血式自己血輸血に関するマニュアルはありますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	33	33.33%	18	100.00%	13	100.00%	64	41.29%
2	ないが作成する予定である	1	4.00%	3	3.03%	0	0.00%	0	0.00%	4	2.58%
3	ない	15	60.00%	33	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	48	30.97%
4	使用実績がない	9	36.00%	30	30.30%	0	0.00%	0	0.00%	39	25.16%
	回答施設合計	25		99		18		13		155	

1-142. 希釈式自己血輸血に関するマニュアルはありますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	2	2.04%	1	6.67%	2	18.18%	5	3.36%
2	ないが作成する予定である	1	4.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	9.09%	2	1.34%
3	ない	15	60.00%	42	42.86%	10	66.67%	6	54.55%	73	48.99%
4	使用実績がない	9	36.00%	54	55.10%	4	26.67%	2	18.18%	69	46.31%
	回答施設合計	25		98		15		11		149	

1-143. 回収式自己血輸血に関するマニュアルはありますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	7	7.14%	2	13.33%	2	18.18%	11	7.38%
2	ないが作成する予定である	1	4.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.67%
3	ない	15	60.00%	44	44.90%	9	60.00%	7	63.64%	75	50.34%
4	使用実績がない	9	36.00%	47	47.96%	4	26.67%	2	18.18%	62	41.61%
	回答施設合計	25		98		15		11		149	

2-9) 業務手順書に基づく血液製剤使用を徹底するための取り組みについて

1-144. 血液製剤の使用に関する業務手順書を院内で浸透させるための取り組みをしていますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血療法委員会等で検討し、病院全体で取り組んでいる	1	4.17%	35	33.98%	16	88.89%	12	92.31%	64	40.51%
2	病院全体では取組んでいないが、担当部署に任されている	13	54.17%	36	34.95%	2	11.11%	1	7.69%	52	32.91%
3	取り組んでいない	7	29.17%	20	19.42%	0	0.00%	0	0.00%	27	17.09%
4	わからない	3	12.50%	12	11.65%	0	0.00%	0	0.00%	15	9.49%
	回答施設合計	24		103		18		13		158	

1-145. 取り組みの内容として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	マニュアルの配布	10	76.92%	58	81.69%	16	88.89%	10	76.92%	94	81.74%
2	輸血前・後の評価システム導入	0	0.00%	6	8.45%	1	5.56%	1	7.69%	8	6.96%
3	アンケート実施	0	0.00%	3	4.23%	0	0.00%	1	7.69%	4	3.48%
4	手順書の改定	6	46.15%	45	63.38%	18	100.00%	10	76.92%	79	68.70%
5	輸血療法委員会で手順書について話し合った	4	30.77%	30	42.25%	12	66.67%	6	46.15%	52	45.22%
6	輸血療法委員会の回数増加	1	7.69%	3	4.23%	0	0.00%	0	0.00%	4	3.48%
7	専任の輸血責任医師の任命	0	0.00%	4	5.63%	2	11.11%	8	61.54%	14	12.17%
8	専任の輸血担当技師の任命	0	0.00%	3	4.23%	3	16.67%	7	53.85%	13	11.30%
9	その他	0	0.00%	6	8.45%	1	5.56%	0	0.00%	7	6.09%
	回答施設合計	13		71		18		13		115	

「その他」の場合

- ・病棟監査、院内研修
- ・共用閲覧で、イントラネットを用いて情報共有している
- ・院内の輸血に関する学習確認
- ・日赤に依頼し、必要時にその都度講習を行って貰うように頼んでいる
- ・医療安全研修会で説明
- ・医師の指導のもと、複数の看護師による指導、教育
- ・年間1回あるかの使用頻度のため、徹底する取り組みなどは実施していない医師への教育

2-10) その他輸血療法の安全管理について

1-146. 貴施設での不適合輸血（過誤輸血）を防ぐための対策について当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液型検査検体と交差適合試験用検体は別の時点で採血した検体を用いることを徹底する	11	45.83%	69	67.65%	16	88.89%	9	69.23%	105	66.88%
2	血液型検査用検体は一患者分のみの採血管を用意し採血する	15	62.50%	55	53.92%	9	50.00%	6	46.15%	85	54.14%
3	輸血担当検査技師を配置する	3	12.50%	21	20.59%	16	88.89%	11	84.62%	51	32.48%
4	検査技師による輸血検査の24 時間実施体制	0	0.00%	48	47.06%	17	94.44%	13	100.00%	78	49.68%
5	自動輸血検査機器の導入	0	0.00%	15	14.71%	16	88.89%	13	100.00%	44	28.03%
6	血液型検査において同一患者の二重チェック、同一検体の二重チェックの徹底	6	25.00%	61	59.80%	14	77.78%	7	53.85%	88	56.05%
7	輸血の準備および実施は、原則として1 回一患者ごと行う	18	75.00%	78	76.47%	13	72.22%	9	69.23%	118	75.16%
8	輸血担当検査技師による当直技師への輸血教育の実施	0	0.00%	20	19.61%	13	72.22%	13	100.00%	46	29.30%
9	血液型記入時の2 名の医療従事者によるダブルチェックその他	16	66.67%	64	62.75%	8	44.44%	7	53.85%	95	60.51%
10	電子機器による確認・照合	2	8.33%	38	37.25%	17	94.44%	13	100.00%	70	44.59%
11	輸血前に患者自身に名前、生年月日、血液型などを名乗ってもらう	14	58.33%	52	50.98%	12	66.67%	8	61.54%	86	54.78%
12	輸血責任医師を任命する	3	12.50%	21	20.59%	9	50.00%	9	69.23%	42	26.75%
13	輸血療法委員会等で不適合輸血予防策を検討し、マニュアルを作成し実施する	2	8.33%	34	33.33%	9	50.00%	9	69.23%	54	34.39%
14	看護手順等に不適合輸血予防策について記載して実施している	6	25.00%	28	27.45%	7	38.89%	8	61.54%	49	31.21%
15	輸血医療に専門性を有する医療従事者（医師、看護師、検査技師、薬剤師など）が巡視し指導・教育する	2	8.33%	4	3.92%	2	11.11%	3	23.08%	11	7.01%
16	院内輸血講習会を行う	2	8.33%	12	11.76%	7	38.89%	4	30.77%	25	15.92%
17	院外講師を呼んで輸血講演を行う	1	4.17%	6	5.88%	1	5.56%	1	7.69%	9	5.73%
	回答施設合計	24		102		18		13		157	

【3】使用実態について

3-6) 日赤製剤の発注について

1-185. 日赤への輸血用血液製剤の注文方法として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	手書きしたものをFax送信する	12	48.00%	29	28.16%	1	5.56%	4	30.77%	46	28.93%
2	印刷した物をFax送信する	1	4.00%	3	2.91%	0	0.00%	0	0.00%	4	2.52%
3	輸血システムから直接Fax送信する	1	4.00%	0	0.00%	1	5.56%	0	0.00%	2	1.26%
4	Webシステムで注文する	10	40.00%	66	64.08%	13	72.22%	7	53.85%	96	60.38%
5	電話で注文する	0	0.00%	2	1.94%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.26%
6	その他	1	4.00%	3	2.91%	3	16.67%	2	15.38%	9	5.66%
	回答施設合計	25		103		18		13		159	

「その他」の場合

- ・基本 Web、時間外非輸血専従者は、FAX 送信
- ・輸血システムとWebシステムの併用
- ・(1) と (4) を併用
- ・Web と Fax の併用
- ・(1)と(4)を併用してる。99%は(4)を使用
- ・2021 年 4/21 まで手書き Fax、4/22 より Web システム注文
- ・輸血検査担当者は Web システムで、それ以外は手書きしたものを Fax で注文する。
- ・電話で注文した後に手書きしたものを Fax 送信する

3-7) 院内調製の製剤について

1-186. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間に院内で下記製剤を調製しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	調製した	0	0.00%	2	1.98%	2	11.11%	4	33.33%	8	5.19%
2	調製しなかった	23	100.00%	99	98.02%	16	88.89%	8	66.67%	146	94.81%
	回答施設合計	23		101		18		12		154	

【該当する院内調製血】

院内調製洗浄血小板製剤	院内分割製剤
同種クリオプレシピテート製剤	

1-187. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間に院内で洗浄置換もしくは置換血小板を調製しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	調製した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	25.00%	1	12.50%
2	調製しなかった	0	0.00%	2	100.00%	2	100.00%	3	75.00%	7	87.50%
	回答施設合計	0		2		2		4		8	

年間院内で洗浄置換もしくは置換血小板を調製したことがある件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床						
1～299床						
300～499床						
500床以上	1	1	1	1.00	1	
全体	1	1	1	0.50	1	

1-188. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間に院内で分割した赤血球液を使用しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した	0	0.00%	2	100.00%	1	50.00%	4	100.00%	7	87.50%
2	使用しなかった	0	0.00%	0	0.00%	1	50.00%	0	0.00%	1	12.50%
	回答施設合計	0		2		2		4		8	

1-189. 問 1-188 で「(1) 使用した」の場合、2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間に院内で分割した赤血球を使用した患者数（実数）と元製剤の本数と分割したバッグの輸血した本数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 分割した赤血球を使用した患者数(実数)／人	0床						
	1～299床	2	8	12	10.00	20	2.83
	300～499床	1	3	3	3.00	3	
	500床以上	4	11	53	26.25	105	19.38
	全体	7	3	53	15.78	128	17.12
(2) 元製剤の本数／本	0床						
	1～299床	2	12	20	16.00	32	5.66
	300～499床	1	9	9	9.00	9	
	500床以上	4	13	53	27.25	109	18.41
	全体	7	9	53	18.22	150	15.26
(3) 分割バッグの輸血した本数(輸血件数)／本	0床						
	1～299床	1	20	20	20.00	20	
	300～499床	1	23	23	23.00	23	
	500床以上	3	27	64	40.67	122	20.31
	全体	5	20	64	26.57	165	17.82

1-190. 問 1-188 で「(2) 使用しなかった」の場合、分割しない理由として当てはまるものを全て選んでください 複数回答 回答なし

1-191. 問 1-190 で「(2)、(3)：対象症例がいるができない」の場合、対象患者数と予想される必要本数（概算でよい）を記入してください 回答なし

1-192. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間に院内で分割した濃厚血小板を使用しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した	0	0.00%	2	100.00%	0	0.00%	3	75.00%	5	71.43%
2	使用しなかった	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	25.00%	2	28.57%
	回答施設合計	0		2		1		4		7	

1-193. 問 1-192 で「(1) 使用した」の場合、2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間に院内で分割した濃厚血小板を使用した患者数（実数）と元製剤の本数と分割したバッグの輸血した本数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 分割した濃厚血小板を使用した患者数（実数）／人	0床						
	1～299床	2	1	4	2.50	5	2.12
	300～499床						
	500床以上	2	1	2	1.50	3	0.71
	全体	4	1	4	1.83	8	1.41
(2) 元製剤の本数／本	0床						
	1～299床	2	1	5	3.00	6	2.83
	300～499床						
	500床以上	2	2	6	4.00	8	2.83
	全体	4	1	6	2.83	14	2.38
(3) 分割バッグの輸血した本数（輸血件数）／本	0床						
	1～299床	2	2	6	4.00	8	2.83
	300～499床						
	500床以上	2	5	7	6.00	12	1.41
	全体	4	2	7	4.00	20	2.16

1-194. 問 1-192 で「(2) 使用しなかった」の場合、分割しない理由として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	対象症例がない	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	1	50.00%
2	対象症例がいるができない(設備:無菌接合機・シーラーがない)	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	対象症例がいるができない(人的余裕がない)	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	カリウム吸着フィルターを使用すると初流廃棄量が多いため、分割できないと判断している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	50.00%
	回答施設合計	0		0		1		1		2	

「その他」の場合

・ NICU で製剤から吸引して使用している

1-195. 問 1-194 で「(2)、(3)：対象症例がいるができない」の場合、対象患者数と予想される必要本数（概算でよい）を記入してください 回答なし

1-196. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間に院内で分割した新鮮凍結血漿を使用しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した	0		1	50.00%	1	50.00%	2	50.00%	4	50.00%
2	使用しなかった	0		1	50.00%	1	50.00%	2	50.00%	4	50.00%
	回答施設合計	0		2		2		4		8	

1-197. 問 1-196 で「(1) 使用した」の場合、2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間に院内で分割した新鮮凍結血漿を使用した患者数（実数）と元製剤の本数と分割したバッグの輸血した本数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
年間院内で分割した新鮮凍結血漿を使用した患者数(実数)	0床						
	1～299床	1	4	4	4.00	4	
	300～499床	1	1	1	1.00	1	
	500床以上	1	4	4	4.00	4	
	全体	3	1	4	2.50	9	1.73
年間院内で分割した新鮮凍結血漿を使用した元製剤の本数	0床						
	1～299床	1	9	9	9.00	9	
	300～499床	1	39	39	39.00	39	
	500床以上	1	5	5	5.00	5	
	全体	3	5	39	13.50	53	18.58
年間院内で分割した新鮮凍結血漿を使用した分割したバッグの輸血した本数	0床						
	1～299床						
	300～499床	1	147	147	147.00	147	
	500床以上	1	9	9	9.00	9	
	全体	2	9	147	52.00	156	97.58

1-198. 問 1-196 で「(2) 使用しなかった」の場合、分割しない理由として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	対象症例がない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	100.00%	2	66.67%
2	対象症例がいるができない(設備:無菌接合機・シーラーがない)	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	対象症例がいるができない(人的余裕がない)	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	カリウム吸着フィルターを使用すると初流廃棄量が多いため、分割できないと判断している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%
	回答施設合計	0		1		0		2		3	

「その他」の場合

- ・払い出し後に病棟で融解しているため

1-199. 問 1-198 で「(2)、(3)：対象症例がいるができない」の場合、対象患者数と予想される必要本数（概算でよい）を記入してください 回答なし

1-200. 2021 月の期間で血漿製剤(新鮮凍結血漿-LR-120、新鮮凍結血漿-LR-240、新鮮凍結血漿-LR-480)からクリオプレシピテートを作製しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	作製した	0	0.00%	1	50.00%	2	100.00%	2	50.00%	5	62.50%
2	作製しなかった	0	0.00%	1	50.00%	0	0.00%	2	50.00%	3	37.50%
	回答施設合計	0		2		2		4		8	

1-201. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で血漿製剤(新鮮凍結血漿-LR-120、新鮮凍結血漿-LR-240、新鮮凍結血漿-LR-480)から作製したクリオプレシピテートを使用しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した	0	0.00%	1	100.00%	2	100.00%	2	100.00%	5	100.00%
2	使用しなかった	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		1		2		2		5	

1-202. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間に作製し使用した、クリオプレシピテートの調製用製剤となった血漿製剤の使用総袋（本）数を、患者同型供給の場合は(1)に、AB 型供給のみに統一している場合は(2)に記入してください

【(1) 患者血液型同型 新鮮凍結人血漿】

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 新鮮凍結血漿-LR-120製剤／袋(本)	0床						
	1～299床	1	0	0	0.00	0	
	300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
	500床以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	4	0	0	0.17	0	0.00
(2) 新鮮凍結血漿-LR-240製剤／袋(本)	0床						
	1～299床	1	0	0	0.00	0	
	300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
	500床以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	4	0	0	0.17	0	0.00
(3) 新鮮凍結血漿-LR-480製剤／袋(本)	0床						
	1～299床	1	31	31	31.00	31	
	300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
	500床以上	1	12	12	12.00	12	
	全体	4	0	31	12.50	43	14.64

【(2) AB 型 新鮮凍結人血漿】

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 新鮮凍結血漿-LR-120製剤／袋(本)	0床						
	1～299床						
	300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
	500床以上	2	0	0	0.00	0	0.00
	全体	4	0	0	0.00	0	0.00
(2) 新鮮凍結血漿-LR-240製剤／袋(本)	0床						
	1～299床						
	300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
	500床以上	2	0	0	0.00	0	0.00
	全体	4	0	0	0.00	0	0.00
(3) 新鮮凍結血漿-LR-480製剤／袋(本)	0床						
	1～299床						
	300～499床	2	21	24	22.50	45	2.12
	500床以上	2	0	40	20.00	40	28.28
	全体	4	0	40	17.00	85	16.44

1-203. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で血漿製剤(新鮮凍結血漿-LR-120、新鮮凍結血漿-LR-240、新鮮凍結血漿-LR-480)からクリオプレシピテートを作製したが、使用せずに廃棄しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	廃棄した	0	0.00%	1	100.00%	1	50.00%	1	50.00%	3	60.00%
2	廃棄しなかった	0	0.00%	0	0.00%	1	50.00%	1	50.00%	2	40.00%
	回答施設合計	0		1		2		2		5	

1-204. 問 1-203 で「(1) 廃棄した」の場合、廃棄したクリオプレシピテートの調製用製剤となった血漿製剤の廃棄総袋（本）数を、患者同型供給の場合は(1) に、AB 型供給のみに統一している場合は(2)に記入してください

【(1) 患者血液型同型 新鮮凍結人血漿】

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 新鮮凍結血漿-LR-120製剤／袋(本)	0床						
	1～299床	1	0	0	0.00	0	
	300～499床	1	0	0	0.00	0	
	500床以上						
	全体	2	0	0	0.25	0	0.00
(2) 新鮮凍結血漿-LR-240製剤／袋(本)	0床						
	1～299床	1	0	0	0.00	0	
	300～499床	1	0	0	0.00	0	
	500床以上						
	全体	2	0	0	0.25	0	0.00
(3) 新鮮凍結血漿-LR-480製剤／袋(本)	0床						
	1～299床	1	4	4	4.00	4	
	300～499床	1	0	0	0.00	0	
	500床以上						
	全体	2	0	4	2.25	4	2.83

【(2) AB 型 新鮮凍結人血漿】

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 新鮮凍結血漿-LR-120製剤／袋(本)	0床						
	1～299床						
	300～499床	1	0	0	0.00	0	
	500床以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	2	0	0	0.00	0	0.00
(2) 新鮮凍結血漿-LR-240製剤／袋(本)	0床						
	1～299床						
	300～499床	1	0	0	0.00	0	
	500床以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	2	0	0	0.00	0	
(3) 新鮮凍結血漿-LR-480製剤／袋(本)	0床						
	1～299床						
	300～499床	1	3	3	3.00	3	
	500床以上	1	1	1	1.00	1	
	全体	2	1	3	1.33	4	1.41

1-205. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間に院内で合成血を調製しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	調製した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	調製しなかった	0	0.00%	1	100.00%	2	100.00%	2	100.00%	5	100.00%
	回答施設合計	0		1		2		2		5	

1-206. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で放射線未照射日赤製剤を使用しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した	1	4.17%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.64%
2	使用しなかった	23	95.83%	103	100.00%	18	100.00%	12	100.00%	156	99.36%
	回答施設合計	24		103		18		12		157	

1-207. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間に輸血が行われた放射線未照射日赤製剤の製剤別単位数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 未照射日赤赤血球製剤／単位	0床	1	0	0	0	0	
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体	1	0	0	0	0	
(2) 未照射日赤血小板製剤／単位	0床	1	0	0	0	0	
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体	1	0	0	0	0	

1-208. 放射線未照射日赤製剤を使用した理由として当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	緊急の輸血で照射を行なう余裕がなかった	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	時間外に院内照射を行なう体制がないため	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	放射線照射装置の故障のため	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	高K血症の予防のため	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%
	回答施設合計	1		0		0		0		1	

「その他」の場合

・回答なし

1-209. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で放射線未照射院内製剤を使用しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した	1	4.17%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.65%
2	使用しなかった	23	95.83%	99	100.00%	18	100.00%	12	100.00%	152	99.35%
	回答施設合計	24		99		18		12		153	

1-210. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間に輸血が行われた放射線未照射院内製剤の製剤別単位
数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 未照射院内採血赤血球製剤／単位	0床	1	0	0	0	0	
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体	1	0	0	0	0	
(2) 未照射院内採血血小板製剤／単位	0床	1	0	0	0	0	
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体	1	0	0	0	0	
(3) 未照射院内採血顆粒球製剤／単位	0床	1	0	0	0	0	
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体	1	0	0	0	0	
(4) 上記以外の製剤／単位	0床	1	0	0	0	0	
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体	1	0	0	0	0	

「その他」の場合

・ 回答なし

1-211. 放射線未照射院内製剤を使用した理由として当てはまるものを全て選んでください
複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	緊急の輸血で照射を行なう余裕がなかった	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	時間外に院内照射を行なう体制がないため	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	放射線照射装置の故障のため	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	放射線照射装置の設置がないため	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	高K血症の予防のため	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	その他	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%
	回答施設合計	1		0		0		0		1	

「その他」の場合

・ 回答なし

3-9) 外来輸血について

1-212. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で外来にて輸血を行いましたか（但し、救急外来での輸血は除く）

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	13	54.17%	51	51.52%	16	88.89%	12	100.00%	92	60.13%
2	行わなかった	11	45.83%	48	48.48%	2	11.11%	0	0.00%	61	39.87%
	回答施設合計	24		99		18		12		153	

1-213. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間に外来で各製剤を輸血した件数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 赤血球製剤／件	0床	13	0	175	21.31	277	46.56
	1～299床	43	1	762	68.49	2945	137.43
	300～499床	13	22	981	325.38	4230	342.03
	500床以上	12	158	1334	640.58	7687	383.89
	全体	81	0	1334	143.40	15139	306.65
(2) 血小板製剤／件	0床	13	0	55	4.23	55	15.25
	1～299床	43	0	364	14.81	637	58.36
	300～499床	13	0	630	89.69	1166	171.61
	500床以上	12	2	1025	236.58	2839	303.29
	全体	81	0	1025	42.09	4697	159.08
(3) 血漿製剤／件	0床	13	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	43	0	2	0.09	4	0.37
	300～499床	13	0	56	8.69	113	19.74
	500床以上	12	1	336	68.00	816	108.32
	全体	81	0	336	8.23	933	47.36

1-214. 外来輸血の実施場所として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	外来処置室	1	7.69%	41	82.00%	16	100.00%	12	100.00%	70	76.92%
2	外来の空いている診察室	0	0.00%	1	2.00%	1	6.25%	0	0.00%	2	2.20%
3	輸血部のベッド	0	0.00%	1	2.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	1.10%
4	病棟の空きベッド	0	0.00%	3	6.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	3.30%
5	その他	12	92.31%	12	24.00%	0	0.00%	0	0.00%	24	26.37%
	回答施設合計	13		50		16		12		91	

1-215. 外来輸血後、院内で経過観察する時間を設けていますか（会計等のための待ち時間は含みません）

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	設けている	10	76.92%	35	77.78%	9	60.00%	12	100.00%	66	77.65%
2	設けていない	3	23.08%	10	22.22%	6	40.00%	0	0.00%	19	22.35%
	回答施設合計	13		45		15		12		85	

1-216. 経過観察する時間として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	30分未満	1	10.00%	12	35.29%	3	37.50%	4	33.33%	20	31.25%
2	30分～60分	5	50.00%	15	44.12%	4	50.00%	7	58.33%	31	48.44%
3	60分以上	4	40.00%	7	20.59%	1	12.50%	1	8.33%	13	20.31%
	回答施設合計	10		34		8		12		64	

1-217. 帰宅後に見られる輸血関連有害事象（または輸血副反応）の説明を行っていますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	文書・口頭で実施している	8	61.54%	20	45.45%	7	46.67%	11	91.67%	46	54.76%
2	口頭で実施している	3	23.08%	16	36.36%	5	33.33%	0	0.00%	24	28.57%
3	文章を渡すのみ	0	0.00%	6	13.64%	0	0.00%	1	8.33%	7	8.33%
4	実施していない	2	15.38%	2	4.55%	3	20.00%	0	0.00%	7	8.33%
	回答施設合計	13		44		15		12		84	

1-218. 帰宅後に輸血関連有害事象が発生した時の連絡先の説明方法について当てはまるものを1つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	文書・口頭で実施している	6	46.15%	18	40.00%	6	42.86%	8	66.67%	38	45.24%
2	口頭で実施している	5	38.46%	20	44.44%	5	35.71%	3	25.00%	33	39.29%
3	文章を渡すのみ	1	7.69%	4	8.89%	0	0.00%	1	8.33%	6	7.14%
4	実施していない	1	7.69%	3	6.67%	3	21.43%	0	0.00%	7	8.33%
	回答施設合計	13		45		14		12		84	

1-219. 2021年4月～2022年3月の期間に、外来輸血を受けて帰宅した後に輸血関連有害事象が発生した時の対応として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	連携医療機関で対応してもらった	0	0.00%	0	0.00%	1	7.69%	0	0.00%	1	1.18%
2	近隣救急センターを利用してもらった	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	救急外来で対応した	0	0.00%	2	4.08%	0	0.00%	2	20.00%	4	4.71%
4	翌日に外来を受診してもらった	0	0.00%	0	0.00%	1	7.69%	1	10.00%	2	2.35%
5	往診した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	電話連絡のみで済ませた	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	10.00%	1	1.18%
7	連絡はなかった	11	84.62%	47	95.92%	11	84.62%	7	70.00%	76	89.41%
8	連絡を受ける体制がない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
9	その他	2	15.38%	0	0.00%	1	7.69%	1	10.00%	4	4.71%
	回答施設合計	13		49		13		10		85	

3-10) 病院外（介護施設・在宅）輸血について

1-220. 2021年4月～2022年3月の期間に病院外(介護施設・在宅)で輸血を行いましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行わなかった	19	76.00%	103	100.00%	18	100.00%	12	100.00%	152	96.20%
2	関連病院と連携して介護施設・在宅両方で実施した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	関連病院と連携して介護施設で実施した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	関連病院と連携して在宅で実施した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	関連病院と連携なく介護施設・在宅両方で実施した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	関連病院と連携なく介護施設で実施した	1	4.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.63%
7	関連病院と連携なく在宅で実施した	5	20.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	5	3.16%
	回答施設合計	25		103		18		12		158	

1-221. 病院外で輸血を実施した理由として当てはまるものについて、その件数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 病院まで距離が遠いため	0床	5	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体	5	0	0	0.00	0	0.00
(2) 通院困難	0床	5	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体	5	0	0	0.00	0	0.00
(3) 在宅治療を行っているため	0床	5	0	13	3.80	19	5.26
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体	5	0	13	3.17	19	5.26
(4) 終末期医療のため	0床	5	0	2	0.60	3	0.89
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体	5	0	2	0.50	3	0.89
(5) 病診連携で病院より依頼されたため	0床	5	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体	5	0	0	0.00	0	0.00
(6) 患者からの希望	0床	5	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体	5	0	0	0.00	0	0.00
(7) その他	0床	5	0	2	0.40	2	0.89
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体	5	0	2	0.33	2	0.89

1-222. 問 1-221 で「(2) 通院困難」の場合、通院困難な理由として当てはまるものについて、其の件数を記入してください 回答なし

1-223. 問 1-221 で「(3) 在宅治療を行っているため」の場合、患者の疾患として当てはまるものについて、その件数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 腎臓疾患(透析など)	0床	2	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体	2	0	0	0.00	0	0.00
(2) 血液疾患(貧血など)	0床	2	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体	2	0	0	0.00	0	0.00
(3) 血液悪性疾患(MDS、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など)	0床	2	0	4	2.00	4	2.83
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体	2	0	4	1.33	4	2.83
(4) 悪性新生物	0床	3	1	9	4.33	13	4.16
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体	3	1	9	3.25	13	4.16
(5) 消化器疾患(悪性新生物は除く)	0床	2	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体	2	0	0	0.00	0	0.00
(6) 産婦人科疾患(悪性新生物は除く)	0床	2	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体	2	0	0	0.00	0	0.00
(7) その他	0床	2	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体	2	0	0	0.00	0	0.00

1-224. 病院外輸血のインフォームド・コンセント(IC)について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	病院内輸血と同じ説明・同意書で行っている	1	20.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	20.00%
2	病院外(介護施設・在宅)輸血用の説明・同意書を別に作成し使用している	4	80.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	4	80.00%
3	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	5		0		0		0		5	

1-225. 赤血球製剤の保存に用いている保冷庫として当てはまるものを選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液製剤専用の自記式温度記録装置付き保冷庫	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	血液製剤専用で使用している保冷庫	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	薬品と同じ保冷庫	4	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	4	100.00%
4	保冷ボックス	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	4		0		0		0		4	

1-226. 複数人分の輸血用血液製剤を同じ場所で保管することがありますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	1	25.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	25.00%
2	ない	3	75.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	75.00%
	回答施設合計	4		0		0		0		4	

1-227. 病院外（介護施設・在宅）輸血での交差適合試験の実施について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	自院で必ず行っている	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	院外の検査センターで必ず行っている	4	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	4	100.00%
3	関連病院で必ず行っている	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	自院、院外の検査センターもしくは関連病院で必ず行っている	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	症例によって実施したりしなかったりする	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	実施していない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	4		0		0		0		4	

1-228. 輸血前後の感染症検査（HBV、HCV、HIV）の実施について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	院内と同様に実施している	2	66.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	66.67%
2	ほとんど実施していない	1	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%
3	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	3		0		0		0		3	

1-229. 輸血前後の検体保存の実施について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	院内と同様に実施している	1	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%
2	ほとんど実施していない	1	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%
3	その他	1	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%
	回答施設合計	3		0		0		0		3	

1-230. 病院外（介護施設・在宅）輸血を行う場合に実施困難な検査として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	血液型検査の二重チェック	2	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	100.00%
2	血液型検査のウラ試験	0	0.00%	0	50.00%	0	50.00%	0	50.00%	0	0.00%
3	不規則抗体スクリーニング	1	50.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	50.00%
4	間接抗グロブリン試験(クームス法)による交差適合試験	0	0.00%	0	50.00%	0	50.00%	0	50.00%	0	0.00%
5	輸血前感染症検査(肝炎ウイルスマーカー)	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	輸血後感染症検査(肝炎ウイルスマーカー)	1	50.00%	0	50.00%	0	50.00%	0	50.00%	1	50.00%
	回答施設合計	2		0		0		0		2	

1-231. 輸血の実施者として当てはまるものを全て選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血担当施設の医師	2	66.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	66.67%
2	輸血担当施設の看護師	2	66.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	66.67%
3	訪問看護ステーションの看護師	1	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%
4	連携病院の看護師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	3		0		0		0		3	

1-232. 病院外（介護施設・在宅）輸血後の患者観察（5 分後、15 分後）の実施について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	病院内輸血と同様に行っている	3	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	100.00%
2	不十分ながら担当者が行っている	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	ほとんど行っていない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	3		0		0		0		3	

1-233. 輸血中に付添う医療従事者として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血担当施設の医師	1	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%
2	輸血担当施設の看護師	2	66.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	66.67%
3	訪問看護ステーションの看護師	1	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%
4	連携病院の看護師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	3		0		0		0		3	

1-234. 輸血中に医療従事者以外で付き添う方として当てはまるものを全て選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	患者の家族	1	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%
2	患者の隣人・知人	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	ヘルパー	1	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%
4	いない(独居)	1	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	3		0		0		0		3	

1-235. 輸血終了時の抜針の実施者として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血担当施設の医師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	輸血担当施設の看護師	2	66.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	66.67%
3	訪問看護ステーションの看護師	1	33.33%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%
4	連携病院の看護師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	3		0		0		0		3	

1-236. 輸血バッグの廃棄方法として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血担当施設で廃棄	3	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	100.00%
2	訪問看護ステーションで廃棄	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	連携病院で廃棄	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	3		0		0		0		3	

1-237. 病院外（介護施設・在宅）輸血に際して、自施設で実施している項目を全て選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血開始のための血管確保	3	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	100.00%
2	輸血中の観察	3	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	100.00%
3	輸血中の有害事象への対応	3	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	100.00%
4	輸血後の抜針	2	66.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	66.67%
5	輸血終了後の輸血バッグの廃棄	3	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	100.00%
6	輸血終了後(患家を離れた後)の有害事象への対応	3	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	100.00%
	回答施設合計	3		0		0		0		3	

1-238. 病院外（介護施設・在宅）輸血に際して、訪問看護ステーションで実施している項目を全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血開始のための血管確保	1	50.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	50.00%
2	輸血中の観察	2	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	100.00%
3	輸血中の有害事象への対応	1	50.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	50.00%
4	輸血後の抜針	1	50.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	50.00%
5	輸血終了後の輸血バッグの廃棄	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	輸血終了後(患家を離れた後)の有害事象への対応	1	50.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	50.00%
	回答施設合計	2		0		0		0		2	

1-239. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で行った病院外(介護施設・在宅)輸血の延べ件数と総単位数を記入してください

病院外(介護施設・在宅)輸血の延べ件数と総単位数								
項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 赤血球製剤	件数(件)	0床	3	1	13	6.00	18	6.24
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体	3	1	13	4.50	18	6.24
	単位	0床	2	0	0	0.00	0	0.00
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体	2	0	0	0.00	0	0.00
(2) 血小板製剤	件数(件)	0床	2	0	0	0.00	0	0.00
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体	2	0	0	0.00	0	0.00
	単位	0床	3	2	26	12.00	36	12.49
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体	3	2	26	9.00	36	12.49
3) 血漿製剤	件数(件)	0床	2	0	0	0.00	0	0.00
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体	2	0	0	0.00	0	0.00
	単位	0床	2	0	0	0.00	0	0.00
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体	2	0	0	0.00	0	0.00

1-240. 病院外（介護施設・在宅）輸血後の副反応発症時の対応策として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	病院内輸血と同様に行っている	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	連絡をもらい適切な処置をとるように決めている	3	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	100.00%
3	関連病院と連携をとり適切な処置を取るように決めている	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	特に決めていない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	3		0		0		0		3	

3-11) 輸血副反応について

1-241. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で、輸血副反応が発生しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発生した	3	13.04%	31	30.10%	17	94.44%	13	100.00%	64	40.76%
2	発生しなかった	20	86.96%	68	66.02%	1	5.56%	0	0.00%	89	56.69%
3	把握していない	0	0.00%	4	3.88%	0	0.00%	0	0.00%	4	2.55%
	回答施設合計	23		103		18		13		157	

1-242. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で、輸血副反応が発生した件数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 発熱	0床	3	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	27	0	17	3.96	107	5.25
	300～499床	17	1	29	7.47	127	6.88
	500床以上	12	0	133	29.83	358	42.62
	全体	59	0	133	8.60	592	21.80
(2) 悪寒・戦慄	0床	3	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	27	0	5	0.67	18	1.18
	300～499床	17	0	3	1.06	18	1.09
	500床以上	11	0	11	4.36	48	3.91
	全体	58	0	11	1.53	84	2.39
(3) 熱感・ほてり	0床	3	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	26	0	8	1.08	28	1.96
	300～499床	16	0	3	0.56	9	1.03
	500床以上	11	0	12	2.27	25	3.88
	全体	56	0	12	1.42	62	2.28
(4) 掻痒感・かゆみ	0床	3	0	3	1.00	3	1.73
	1～299床	26	0	126	5.23	136	24.65
	300～499床	17	0	17	3.65	62	5.00
	500床以上	12	0	40	9.08	109	11.48
	全体	58	0	126	4.37	310	17.43
(5) 発赤・顔面紅潮	0床	3	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	26	0	13	1.42	37	2.98
	300～499床	17	0	5	1.59	27	1.37
	500床以上	11	0	17	3.82	42	5.13
	全体	57	0	17	1.99	106	3.20

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(6) 発疹・蕁麻疹	0床	3	0	4	1.33	4	2.31
	1～299床	26	0	142	6.77	176	27.79
	300～499床	17	0	44	8.88	151	11.56
	500床以上	12	3	48	18.50	222	14.89
	全体	58	0	142	7.73	553	21.05
(7) 呼吸困難	0床	3	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	28	0	4	0.36	10	0.83
	300～499床	16	0	3	0.88	14	1.15
	500床以上	11	0	4	1.27	14	1.35
	全体	58	0	4	0.91	38	1.07
(8) 嘔気・嘔吐	0床	3	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	27	0	4	0.44	12	1.01
	300～499床	17	0	1	0.35	6	0.49
	500床以上	11	0	5	1.82	20	1.78
	全体	58	0	5	0.95	38	1.19
(9) 胸痛・腹痛・腰背部痛	0床	3	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	27	0	1	0.07	2	0.27
	300～499床	16	0	1	0.19	3	0.40
	500床以上	11	0	1	0.18	2	0.40
	全体	57	0	1	0.46	7	0.33
(10) 頭痛・頭重感	0床	3	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	26	0	1	0.08	2	0.27
	300～499床	16	0	1	0.19	3	0.40
	500床以上	11	0	2	0.55	6	0.82
	全体	56	0	2	0.49	11	0.48
(11) 血圧低下	0床	3	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	26	0	4	0.46	12	0.99
	300～499床	16	0	4	1.06	17	1.48
	500床以上	12	0	10	3.17	38	3.33
	全体	57	0	10	1.28	67	2.09
(12) 血圧上昇	0床	3	0	1	0.33	1	0.58
	1～299床	26	0	13	1.00	26	2.62
	300～499床	17	0	4	0.47	8	1.07
	500床以上	11	0	4	0.73	8	1.42
	全体	57	0	13	1.15	43	1.96
(13) 動悸・頻脈	0床	3	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	26	0	0	0.00	0	0.00
	300～499床	17	0	2	0.24	4	0.56
	500床以上	11	0	3	0.45	5	0.93
	全体	57	0	3	0.45	9	0.53
(14) 血管痛	0床	3	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	26	0	1	0.12	3	0.33
	300～499床	17	0	2	0.24	4	0.56
	500床以上	11	0	3	0.64	7	1.03
	全体	57	0	3	0.54	14	0.61
(15) 意識障害	0床	3	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	26	0	0	0.00	0	0.00
	300～499床	16	0	2	0.13	2	0.50
	500床以上	11	0	0	0.00	0	0.00
	全体	56	0	2	0.36	2	0.27

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(16) 赤褐色尿	0床	3	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	26	0	1	0.04	1	0.20
	300～499床	16	0	1	0.06	1	0.25
	500床以上	11	0	0	0.00	0	0.00
	全体	56	0	1	0.38	2	0.19
(17) その他	0床	3	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	27	0	4	0.48	13	1.09
	300～499床	17	0	4	0.82	14	1.42
	500床以上	11	0	18	3.09	34	5.65
	全体	58	0	18	1.19	61	2.78

3-12) へき地・離島における輸血管理について

1-243. 貴施設の所在地として当てはまるものを1つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	へき地	0	0.00%	1	1.02%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.66%
2	離島	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	どちらにも該当しない	24	100.00%	97	98.98%	18	100.00%	12	100.00%	151	99.34%
	回答施設合計	24		98		18		12		152	

1-244. 血液センターからの血液製剤の定期搬送にかかる時間として当てはまるものを1つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	1.0-1.4時間	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%
2	1.5-1.9時間	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	2.0-2.4時間	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	2.5-2.9時間	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	3.0-3.9時間	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	4.0-4.9時間	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
7	5.0-5.9時間	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
8	6.0-6.9時間	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
9	7.0時間以上	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		1		0		0		1	

1-245. 貴施設はへき地・離島で中核となる医療機関ですか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%
2	いいえ	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%

1-246. 貴施設は地域医療支援病院ですか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	いいえ	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%
	回答施設合計	0		1		0		0		1	

1-247. 貴施設は輸血管理料を算定していますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	算定している	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%
2	算定していない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		1		0		0		1	

1-248. 輸血管理料の算定項目として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血管理料Ⅰの施設基準のみ	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	輸血管理料Ⅰの施設基準+適正使用加	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	輸血管理料Ⅱの施設基準のみ	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%
4	輸血管理料Ⅱの施設基準+適正使用加	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		1		0		0		1	

1-249. 貴施設は地域の合同輸血療法委員会に参加していますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	参加している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	参加していない	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%
	回答施設合計	0		1		0		0		1	

1-250. 地域の合同輸血療法委員会で僻地・離島の輸血医療連携について検討したことはありますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	ない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		0		0		0	

1-251. 貴施設では過去に地域の医療施設へ緊急避難的に血液製剤を供給したことがありますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	ない	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%
3	不明	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		1		0		0		1	

1-252. 貴施設では過去に地域の病院から緊急避難的に血液製剤を受領したことがありますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	ない	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%
3	不明	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		1		0		0		1	

1-253. 貴施設では緊急避難的な血液製剤の供給・受領についてのマニュアルがありますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	ない	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%
	回答施設合計	0		1		0		0		1	

1-254. 貴施設の所在地域では緊急避難的な血液の融通を行う必要がありますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	ない	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%
3	不明	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		1		0		0		1	

1-255. 貴施設では輸血医療を行っている小規模医療機関に対して技術的な指導を行うことは可能ですか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	可能	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	不可能	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%
3	当院が小規模医療機関	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		1		0		0		1	

1-256. 貴施設で実施可能な指導として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	実技講習会	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	教育講演会	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	連携会議	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	出張指導	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	問題発生時の相談体制	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		0		0		0	

1-257. 貴施設ではブラッドローション（BR）を行う要望はありますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	ない	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%
3	どちらともいえない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		1		0		0		1	

1-258. 問 1-257 で「(1) ある」と回答された施設へ、ATR の使用（活用）を希望しますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	希望する	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	希望しない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		0		0		0	

1-259. 貴施設の所在地域で BR を検討したことがありますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	ない	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%
	回答施設合計	0		1		0		0		1	

1-260. 貴施設では輸血が必要な重篤な病態をもつ患者の受け入れが可能ですか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	可能	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	不可能	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	病態による	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%
	回答施設合計	0		1		0		0		1	

「病態による」の場合

・ 回答なし

1-261. 貴施設の所在地域の自治体に輸血医療の地域連携についての要請・相談などをしたことがありますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	ない	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%
	回答施設合計	0		1		0		0		1	

1-262. 貴施設の所在地域の血液センターに輸血の搬送体制等の要請・相談などをしたことがありますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	ない	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%
	回答施設合計	0		1		0		0		1	

1-263. 貴施設の所在地域での自治体や血液センターとの輸血医療連携について問題点があれば記入してください 回答なし

1-264. 貴施設の所在地域以外の自治体・血液センターとの輸血医療連携について問題点があれば記入してください 回答なし

3-13) 自己血製剤使用の実績について

1-265. 2021年4月～2022年3月の期間で自己血（貯血式・希釈式・回収式）を使用しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した	0	0.00%	23	22.77%	14	77.78%	13	100.00%	50	32.26%
2	使用しなかった	23	100.00%	78	77.23%	4	22.22%	0	0.00%	105	67.74%
	回答施設合計	23		101		18		13		155	

1-266. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で貯血式自己血を使用しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した	0	0.00%	21	91.30%	14	100.00%	13	100.00%	48	96.00%
2	使用しなかった	0	0.00%	2	8.70%	0	0.00%	0	0.00%	2	4.00%
	回答施設合計	0		23		14		13		50	

1-267. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で貯血式自己血採血の症例数（実患者数）を記入してください

貯血式自己血採血の症例数(人)						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床	0					
1～299床	21	1	69	16.90	355	17.67
300～499床	13	1	147	38.31	498	49.24
500床以上	12	1	151	53.33	640	46.42
全体	46	1	151	27.46	1493	39.39

1-268. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で貯血式自己血採血の総件数を記入してください

貯血式自己血輸血採血の総件数						
項目	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
0床						
1～299床	21	1	76	20.48	430	21.11
300～499床	13	3	387	67.08	872	106.80
500床以上	12	2	227	83.25	999	67.52
全体	46	1	387	41.13	2301	71.69

1-269. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で使用した貯血式自己血の使用総袋（本）数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 貯血式自己血(200mL)使用総袋(本)数	0床						
	1～299床	21	0	10	1.14	24	2.31
	300～499床	14	0	16	1.86	26	4.37
	500床以上	12	0	131	23.17	278	39.07
	全体	47	0	131	5.75	328	21.56
(2) 貯血式自己血(400mL)使用総袋(本)数	0床						
	1～299床	21	0	69	18.95	398	19.79
	300～499床	14	0	223	55.93	783	76.33
	500床以上	12	2	283	77.17	926	80.26
	全体	47	0	283	37.16	2107	63.03

【特別集計：貯血式自己血の使用総袋（本）数と総単位数】

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
貯血式自己血の使用総袋(本)	0床						
	1～299床	21	1	73	20.10	422	19.79
	300～499床	14	0	223	57.79	809	77.52
	500床以上	12	2	414	100.33	1204	117.16
	全体	47	0	414	42.58	2435	78.96
貯血式自己血の使用総単位数	0床						
	1～299床	21	2	142	39.05	820	39.51
	300～499床	14	0	446	113.71	1592	153.79
	500床以上	12	4	697	177.50	2130	196.99
	全体	47	0	697	79.41	4542	141.25

【特別集計：一般病床数あたりの貯血式自己血製剤使用量】

一般病床数あたりの貯血式自己血製剤使用量(単位) (計算式:貯血式自己血製剤使用量÷一般病床数)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
貯血式自己血／単位	0床						
	1～299床	21	0.0092	1.3735	0.27310	5.7352	0.33
	300～499床	14	0	1.1178	0.29747	4.1646	0.41
	500床以上	12	0.0066	1.2228	0.27023	3.2428	0.33
	全体	47	0	1.3735	0.60627	13.1426	0.34

1-270. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で使用せずに廃棄した貯血式自己血はありましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	あった	0	0.00%	10	47.62%	9	64.29%	12	92.31%	31	64.58%
2	なかった	0	0.00%	11	52.38%	5	35.71%	1	7.69%	17	35.42%
	回答施設合計	0		21		14		13		48	

1-271. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で使用せずに廃棄した、貯血式自己血の総袋（本）数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1)貯血式自己血(200mL)廃棄総袋(本)数							
	1～299床	10	0	11	1.30	13	3.43
	300～499床	7	0	1	0.14	1	0.38
	500床以上	11	0	15	3.09	34	5.11
	全体	28	0	15	1.92	48	3.89
(2)貯血式自己血(400mL)廃棄総袋(本)数							
	1～299床	10	0	36	8.50	85	12.07
	300～499床	8	1	172	27.75	222	58.59
	500床以上	11	2	38	16.18	178	11.96
	全体	29	0	172	14.24	485	31.86

【特別集計：貯血式自己血の廃棄総袋（本）数と総単位数】

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
貯血式自己血の 廃棄総袋(本)							
	1～299床	10	1	37	9.80	98	11.95
	300～499床	8	1	172	27.88	223	58.55
	500床以上	11	3	39	19.27	212	12.70
	全体	29	1	172	15.84	533	31.83
貯血式自己血の 廃棄総単位数							
	1～299床	10	2	73	18.30	183	23.77
	300～499床	8	2	344	55.63	445	117.13
	500床以上	11	6	76	35.45	390	24.13
	全体	29	2	344	29.81	1018	63.57

1-272. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で貯血式自己血輸血の実績（実際に使用されたもの）を記入してください

貯血式自己血輸血の実績(単位)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 全血／単位	0床						
	1～299床	21	0	127	33.29	699	36.86
	300～499床	14	0	446	119.21	1669	166.33
	500床以上	12	4	697	154.83	1858	198.51
	全体	47	0	697	73.95	4226	143.72
(2) MAP／単位	0床						
	1～299床	20	0	14	0.70	14	3.13
	300～499床	13	0	45	5.77	75	13.94
	500床以上	12	0	176	14.67	176	50.81
	全体	45	0	176	4.90	265	27.13
(3) FFP／単位							
	1～299床	20	0	0	0.00	0	0.00
	300～499床	13	0	44	5.00	65	12.83
	500床以上	12	0	190	15.83	190	54.85
	全体	45	0	190	4.51	255	28.98
(4) フィブリン糊 /単位							
	1～299床	20	0	0	0.00	0	0.00
	300～499床	13	0	22	1.69	22	6.10
	500床以上	12	0	76	6.33	76	21.94
	全体	45	0	76	1.93	98	11.72
(5) 血小板糊／単位							
	1～299床	20	0	0	0.00	0	0.00
	300～499床	13	0	0	0.00	0	0.00
	500床以上	12	0	0	0.00	0	0.00
	全体	45	0	0	0.33	0	0.00

1-273. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で希釈式自己血を使用しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した	0	0.00%	0	0.00%	1	8.33%	3	27.27%	4	8.70%
2	使用しなかった	0	0.00%	23	100.00%	11	91.67%	8	72.73%	42	91.30%
	回答施設合計	0		23		12		11		46	

1-274. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で使用した、希釈式自己血の使用総袋（本）数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
1) 希釈式自己血(200mL)使用総袋(本)数	0床						
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上	2	0	1	0.50	1	0.71
	全体	2	0	1	0.33	1	0.71
(2) 希釈式自己血(400mL)使用総袋(本)数	0床						
	1～299床						
	300～499床	1	3	3	3.00	3	
	500床以上	2	3	78	40.50	81	53.03
	全体	3	3	78	21.00	84	43.30

【特別集計：希釈式自己血の使用総袋（本）数と総単位数】

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
希釈式自己血の使用総単位数	0床						
	1～299床						
	300～499床	1	6	6	6	6	
	500床以上	2	7	156	81.5	163	105.36
	全体	3	6	156	42.25	169	86.32
希釈式自己血の使用総袋(本)	0床						
	1～299床						
	300～499床	1	3	3	3	3	
	500床以上	2	4	78	41	82	52.33
	全体	3	3	78	21.25	85	43.02

1-275. 希釈式自己血の運用について輸血部門が関与していますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	関与している	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	33.33%	2	50.00%
2	関与していない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	66.67%	2	50.00%
	回答施設合計	0		0		1		3		4	

1-276. 希釈式自己血の運用について輸血部門が関与している項目を選択してください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	バッグラベルの作成	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%	2	100.00%
2	採取バッグの準備	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	50.00%
3	手術室での採取補助	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	50.00%
4	運用マニュアルの作成	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		1		1		2	

1-277. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で回収式自己血を使用しましたか 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した(濃縮・洗浄法)	0	0.00%	5	21.74%	3	30.00%	7	58.33%	15	33.33%
2	使用した(濾過法)	0	0.00%	1	4.35%	0	0.00%	0	0.00%	1	2.22%
3	使用しなかった	0	0.00%	17	73.91%	7	70.00%	5	41.67%	29	64.44%
	回答施設合計	0		23		10		12		45	

1-278. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で使用した、回収式自己血の件数と使用総数と使用総量を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 回収式自己血使用件数(件)	0床						
	1～299床	4	14	34	26.25	105	8.81
	300～499床	3	141	254	210.67	632	60.93
	500床以上	6	104	547	211.33	1268	167.99
	全体	13	14	547	128.06	2005	142.42
(2) 回収式自己血使用総量(mL)	0床						
	1～299床	4	3368	32900	15359.75	61439	13427.86
	300～499床	3	18960	152400	95669.67	287009	68927.05
	500床以上	3	54992	260808	133752.67	401258	111082.57
	全体	10	3368	260808	60700.77	749706	82047.84

1-279. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で回収式自己血を手術室から移動した後で輸血を開始し使用しましたかの期間で使用した、回収式自己血の件数と使用総量を記入してください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した	0	0.00%	1	25.00%	1	33.33%	1	20.00%	3	25.00%
2	使用しなかった	0	0.00%	3	75.00%	2	66.67%	4	80.00%	9	75.00%
	回答施設合計	0		4		3		5		12	

1-280. 手術室、集中治療室、など輸血部門以外で回収式自己血の一時保管はありますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ある	0	0.00%	1	25.00%	1	33.33%	1	20.00%	3	25.00%
2	ない	0	0.00%	3	75.00%	2	66.67%	4	80.00%	9	75.00%
	回答施設合計	0		4		3		5		12	

1-281. 回収式自己血の運用について輸血部門が関与していますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	関与している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	14.29%	1	5.88%
2	関与していない	0	0.00%	4	100.00%	6	100.00%	6	85.71%	16	94.12%
	回答施設合計	0		4		6		7		17	

1-282. 回収式自己血の運用について輸血部門が関与している項目を選択してください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	バッグラベルの作成	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	100.00%
2	採取バッグの準備	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	手術室での採取補助	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	運用マニュアルの作成	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		0		1		1	

1-283. 自己フィブリン糊の作製について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	自己クリオプレシペート(用手法)を作製している	0	0.00%	0	0.00%	1	9.09%	2	15.38%	3	6.38%
2	自己フィブリン糊(調製装置法)を作製している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	自己クリオプレシペート(用手法)と自己フィブリン糊(調製装置法)の両方を作製している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	7.69%	1	2.13%
4	いいえ(将来作製予定)	0	0.00%	2	8.70%	0	0.00%	2	15.38%	4	8.51%
5	いいえ(今後も作製する予定はない)	0	0.00%	21	91.30%	10	90.91%	8	61.54%	39	82.98%
	回答施設合計	0		23		11		13		47	

1-284. 自己フィブリン糊を使用している診療科として当てはまるものを全て選んでください

複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	脳神経外科・間脳下垂体外科	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	1	33.33%	2	50.00%
2	心臓血管外科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	25.00%
3	整形外科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	25.00%
4	産婦人科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	呼吸器外科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	消化器外科・肝胆膵外科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
7	歯科・口腔外科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	25.00%
8	耳鼻咽喉科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
9	皮膚科・形成外科	0	0.00%	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	1	25.00%
10	消化器内科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
11	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		1		3		4	

3-18)免疫グロブリン製剤（皮下注）の使用実績について

1-300. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で使用した免疫グロブリン製剤（皮下注）の総本数と総グラム数を使用場所別に記入してください

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1)病棟	使用件数	0床						
		1～299床	3	0	23	13.00	39	11.79
		300～499床						
		500床以上	7	0	27	6.00	42	9.61
		全体	10	0	27	8.10	81	10.19
	使用グラム数	0床						
		1～299床	3	0	92	38.33	115	47.88
		300～499床						
		500床以上	7	0	108	23.14	162	38.61
		全体	10	0	108	27.70	277	39.46

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(2) 外来	使用件数	0床						
		1～299床	3	1	185	75.00	225	97.14
		300～499床						
		500床以上	7	0	221	50.71	355	85.07
		全体	10	0	221	58.00	580	84.02
	使用グラム数	0床						
		1～299床	3	1	316	157.67	473	157.51
		300～499床						
		500床以上	7	0	884	202.57	1418	340.41
		全体	10	0	884	189.10	1891	288.51
(3) 救急外来	使用件数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床						
		500床以上	7	0	0	0.00	0	0.00
		全体	9	0	0	0.00	0	0.00
	使用グラム数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床						
		500床以上	7	0	0	0.00	0	0.00
		全体	9	0	0	0.00	0	0.00
(4) 手術室	使用件数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床						
		500床以上	7	0	0	0.00	0	0.00
		全体	9	0	0	0.00	0	0.00
	使用グラム数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床						
		500床以上	7	0	0	0.00	0	0.00
		全体	9	0	0	0.00	0	0.00
(5) 集中治療室	使用件数	0床						
		1～299床	2	0	6	3.00	6	4.24
		300～499床						
		501床以上	7	0	0	0.00	0	0.00
		全体	9	0	6	0.67	6	2.00
	使用グラム数	0床						
		1～299床	2	0	24	12.00	24	16.97
		300～499床						
		500床以上	7	0	0	0.00	0	0.00
		全体	9	0	24	2.67	24	8.00
(6) 医療機関外	使用件数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床						
		502床以上	7	0	1988	333.43	2334	734.19
		全体	9	0	1988	259.33	2334	652.60
	使用グラム数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床						
		500床以上	7	0	7218	1228.86	8602	2661.23
		全体	9	0	7218	955.78	8602	2367.54

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(7)その他	使用件数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床						
		502床以上	7	0	0	0.00	0	0.00
		全体	9	0	0	0.00	0	0.00
	使用グラム数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床						
		503床以上	7	0	0	0.00	0	0.00
		全体	9	0	0	0.00	0	0.00

1-301. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で使用した免疫グロブリン製剤（皮下注）の適応疾患の件数と総使用グラム数を記入してください

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1)低・無ガンマグロブリン血症	使用件数	0床						
		1～299床	2	12	13	12.50	25	0.71
		300～499床						
		500床以上	7	0	109	27.57	193	46.48
		全体	9	0	109	24.22	218	40.80
	使用グラム数	0床						
		1～299床	2	264	339	301.50	603	53.03
		300～499床						
		500床以上	7	0	3374	799.43	5596	1205.83
		全体	9	0	3374	688.78	6199	1067.28
(2)慢性炎症性脱髄性多発根神経炎の運動機能低下の進行抑制	使用件数	0床						
		1～299床	1	1	1	1.00	1	
		300～499床						
		500床以上	6	0	38	6.83	41	15.28
		全体	7	0	38	6.00	42	14.12
	使用グラム数	0床						
		1～299床	2	8	8	8.00	8	
		300～499床						
		500床以上	7	0	3887	760.17	4561	1552.22
		全体	9	0	3887	652.71	4569	1445.21
(3)その他	使用件数	0床						
		1～299床	2	8	8	8.00	8	
		300～499床						
		500床以上	7	0	3887	760.17	4561	1552.22
		全体	9	0	3887	652.71	4569	1445.21
	使用グラム数	0床						
		1～299床	2	0	1	0.50	1	0.71
		300～499床						
		500床以上	7	0	24	3.43	24	9.07
		全体	9	0	24	2.78	25	7.97

1-302. 在宅使用における皮下注用免疫グロブリン製剤を供給していますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	供給している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	4	57.14%	4	40.00%
2	供給していない	0	0.00%	3	100.00%	0	0.00%	3	42.86%	6	60.00%
	回答施設合計	0		3		0		7		10	

1-303. 在宅使用のための皮下注用免疫グロブリン製剤の供給について当てはまるものを1つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	薬剤部から供給している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	50.00%	2	50.00%
2	輸血部門から供給している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	院外処方箋を渡している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	50.00%	2	50.00%
4	診療科にストックされた製剤を診療科が渡している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		0		4		4	

1-304. 2021年4月～2022年3月の期間での皮下注用免疫グロブリン製剤の在宅使用について、使用実患者数と使用量について記入してください

項目		施設数	施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
在宅用の免疫グロブリン製剤 (皮下注)	使用実患者数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	
		300～499床						
		500床以上	7	1	19	5.75	23	8.85
		全体	9	1	19	5.75	23	8.85
	使用総グラム数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	
		300～499床						
		500床以上	7	440	6750	2143.50	8574	3073.64
		全体	9	440	6750	2143.50	8574	3073.64

1-305. 皮下注用免疫グロブリン製剤の在宅での使用記録の管理について当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	薬剤部門が把握している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	33.33%
2	輸血部門が把握している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	診療科医師が把握している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	33.33%
4	把握していない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	33.33%
	回答施設合計	0		0		0		3		3	

1-306. 皮下注用免疫グロブリン製剤の在宅使用記録の内容について当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用日時	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	33.33%
2	ロット番号	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	33.33%
3	副反応の有無	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	33.33%
4	使用記録は返却されていないのでわからない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	33.33%
	回答施設合計	0		0		0		3		3	

【4】一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会 詳細調査

4-1) 異型適合血および輸血副反応の実態について

2-1. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で輸血過誤により ABO 型異型輸血、間違った同型輸血が発生しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発生した	0	0.00%	1	0.97%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.65%
2	発生しなかった	21	100.00%	102	99.03%	17	100.00%	13	100.00%	153	99.35%
3	不明	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	21		103		17		13		154	

「(1)発生した」場合、症例数を整数で記入してください

輸血過誤により ABO 型異型輸血、間違った同型輸血 1 施設 2 症例

2-2. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で輸血過誤により ABO 型異型輸血、間違った同型輸血が発生しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	あった	0	0.00%	10	10.10%	11	64.71%	11	84.62%	32	21.19%
2	なかった	21	95.45%	88	88.89%	6	35.29%	2	15.38%	117	77.48%
3	不明	1	4.55%	1	1.01%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.32%
	回答施設合計	22		99		17		13		151	

2-3. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で輸血用血液製剤の ABO 異型適合血輸血を実施した総件数と総使用単位数を記入してください

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 同型血入手不能時のO型赤血球製剤の輸血	事例数/件	0床						
		1～299床	7	0	2	0.43	3	0.79
		300～499床	8	0	36	5.38	43	12.49
		500床以上	6	0	5	1.17	7	1.94
		全体	21	0	36	2.52	53	7.81
	総使用単位数	0床						
		1～299床	7	0	6	1.43	10	2.51
		300～499床	8	0	72	12.50	100	25.00
		500床以上	6	0	40	7.67	46	15.92
		全体	21	0	72	7.43	156	17.52
(2) 同型血入手不能時のO型以外の赤血球製剤輸血	事例数/件	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	8	0	2	0.38	3	0.74
		500床以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	18	0	2	0.17	3	0.51
	総使用単位数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	8	0	6	1.25	10	2.38
		500床以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	18	0	6	0.56	10	1.65

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(3) 血液型未確定時のO 型赤血球製剤輸血	事例数／件	0床						
		1～299床	5	0	13	3.60	18	5.32
		300～499床	10	0	16	6.90	69	5.76
		500床以上	9	0	194	34.78	313	61.87
		全体	24	0	194	16.67	400	39.45
	総使用単位数	0床						
		1～299床	5	0	28	10.00	50	11.14
		300～499床	10	0	94	26.60	266	31.54
		500床以上	9	0	508	119.11	1072	169.30
		全体	24	0	508	57.83	1388	113.01
(4) 血液型未確定時の O 型以外の赤血球製剤輸血	事例数／件	0床						
		1～299床	4	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	7	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	16	0	0	0.00	0	0.00
	総使用単位数	0床						
		1～299床	4	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	7	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	16	0	0	0.00	0	0.00
(5) 造血幹細胞移植による異型輸血	事例数／件	0床						
		1～299床	5	0	568	113.80	569	253.91
		300～499床	7	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	5	0	232	49.40	247	102.28
		全体	17	0	568	48.00	816	145.24
	総使用単位数	0床						
		1～299床	5	0	1000	200.40	1002	446.99
		300～499床	7	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	5	0	1970	403.20	2016	876.09
		全体	17	0	1970	177.53	3018	521.25
(6) ABO 不適合の臓器移植による異型輸血	事例数／件	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	7	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	17	0	0	0.00	0	0.00
	総使用単位数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	7	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	5	0	0	0.00	0	0.00
		全体	17	0	0	0.00	0	0.00
(7) その他(理由を下の枠内に記入してください)	事例数／件	0床						
		1～299床	5	0	13	4.40	22	5.32
		300～499床	9	0	47	6.11	55	15.56
		500床以上	6	0	64	14.33	86	25.71
		全体	20	0	64	8.15	163	17.31
	総使用単位数	0床						
		1～299床	5	0	130	49.80	249	60.95
		300～499床	9	0	248	37.56	338	84.34
		500床以上	6	0	128	34.33	206	54.94
		全体	20	0	248	39.65	793	67.90

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(8) 合計事例数／件	事例数／件	0床						
		1～299床	7	1	583	87.43	612	218.56
		300～499床	11	1	47	15.45	170	16.08
		500床以上	9	4	253	72.56	653	91.95
		全体	27	1	583	53.15	1435	121.54
	総使用単位数	0床						
		1～299床	7	0	104	24.43	171	36.61
		300～499床	11	2	248	64.91	714	74.36
		500床以上	9	14	2046	371.11	3340	647.55
		全体	27	0	2046	156.48	4225	394.52

「その他」の場合

- ・ 亜型、母体由来移行抗体陽性患児など
- ・ 緊急時、未クロスで出庫
- ・ Bm 型に B 血を輸血
- ・ HLA-PC 異型輸血
- ・ ABO 表うら不一致のため O 型 RBC、AB 型 PC 使用
- ・ PC-HLA で ABO 血液型異型輸血
- ・ 血液型未確定時の AB 型以外の血小板・血漿製剤輸血事例数
- ・ 同型血入手不能時の PC 輸血
- ・ HLA 適合血小板の HLA 優先 11 件、同型 PC の不足 2 件
- ・ 母子 ABO 不適合で移行抗体（+）の新生児に対して O 型輸血を実施。

2-4. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で ABO 異型輸血、間違った同型輸血以外の重篤な溶血性副反応（輸血過誤以外）が発生しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発生した	0	0.00%	0	0.00%	1	5.88%	0	0.00%	1	0.65%
2	発生しなかった	22	100.00%	102	100.00%	16	94.12%	12	100.00%	152	99.35%
3	不明	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	22		102		17		12		153	

「(1)発生した」場合、その件数を整数で記入してください

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
「(1) 発生した」場合、症例数(件)	0床							
	1～299床							
	300～499床		1	1	1	1.00	1	
	500床以上							
	全体		1	1	1	1.00	1	

2-5. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で輸血関連急性肺障害（TRALI）が発生しましたか（疑いも含む）

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発生した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	発生しなかった	22	100.00%	99	99.00%	16	100.00%	13	100.00%	150	99.34%
3	不明	0	0.00%	1	1.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.66%
	回答施設合計	22		100		16		13		151	

「(1)発生した」場合、その件数を整数で記入してください 回答なし

2-6. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で重症アレルギー反応が発生しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発生した	0	0.00%	1	0.99%	0	0.00%	1	8.33%	2	1.32%
2	発生しなかった	22	100.00%	99	98.02%	16	100.00%	11	91.67%	148	98.01%
3	不明	0	0.00%	1	0.99%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.66%
	回答施設合計	22		101		16		12		151	

「(1)発生した」場合、その件数を整数で記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
「(1) 発生した」場合、症例数(件)	0床						
	1～299床	1	1	1	1.00	1	
	300～499床						
	500床以上	1	5	5	5.00	5	
	全体	2	1	5	3.00	6	2.83

2-7. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で移植片対宿主病（GVHD）が発生しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発生した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	発生しなかった	22	100.00%	99	99.00%	16	100.00%	12	100.00%	149	99.33%
3	不明	0	0.00%	1	1.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.67%
	回答施設合計	22		100		16		12		150	

「(1)発生した」場合、その件数を整数で記入してください 回答なし

2-8. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で輸血による輸血に重篤な細菌感染症が発生しましたか（疑い例も含む）

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発生した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	発生しなかった	22	100.00%	98	98.99%	16	100.00%	13	100.00%	149	99.33%
3	不明	0	0.00%	1	1.01%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.67%
	回答施設合計	22		99		16		13		150	

「(1)発生した」場合、その件数を整数で記入してください 回答なし

2-9. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で輸血関連純化負荷（TACO）発生しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発生した	0	0.00%	0	0.00%	1	6.25%	2	15.38%	3	2.03%
2	発生しなかった	22	100.00%	96	98.97%	15	93.75%	11	84.62%	144	97.30%
3	不明	0	0.00%	1	1.03%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.68%
	回答施設合計	22		97		16		13		148	

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
「(1) 発生した」場合、症例数(件)	0床						
	1～299床						
	300～499床	1	1	1	1.00	1	
	500床以上	2	1	1	1.00	2	0.00
	全体	3	1	1	1.00	3	0.00

2-10. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で上記（問 2-4～問 2-9）以外の重篤な副反応が発生しましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	発生した	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	発生しなかった	22	100.00%	99	99.00%	16	100.00%	13	100.00%	150	99.34%
3	不明	0	0.00%	1	1.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.66%
	回答施設合計	22		100		16		13		151	

「(1)発生した」場合、その件数を整数で記入してください 回答なし

4-2) 輸血管理料

2-11. 輸血管理料取得の有無について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血管理料Ⅰを取得している	0	0.00%	3	3.09%	8	47.06%	9	69.23%	20	13.70%
2	輸血管理料Ⅱを取得している	1	5.26%	32	32.99%	8	47.06%	4	30.77%	45	30.82%
3	取得していない	18	94.74%	62	63.92%	1	5.88%	0	0.00%	81	55.48%
	回答施設合計	19		97		17		13		146	

2-12. 問 2-11 で「(3)取得していない」を選択した施設にお尋ねします。取得できない理由として
 当てはまるもの全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血療法委員会の開催回数をクリアできない	10	62.50%	27	46.55%	0	0.00%	0		37	49.33%
2	専任(専従)の輸血責任医師が配置されていない	13	81.25%	48	82.76%	1	100.00%	0		62	82.67%
3	専任(専従)の常勤臨床検査技師が配置されていない	14	87.50%	38	65.52%	0	0.00%	0		52	69.33%
4	輸血製剤及びアルブミン製剤の一元管理がされていない	5	31.25%	24	41.38%	1	100.00%	0		30	40.00%
5	指定された輸血関連検査が常時実施できる体制ではない	10	62.50%	23	39.66%	0	0.00%	0		33	44.00%
6	輸血前後の感染症検査ができない	5	31.25%	9	15.52%	0	0.00%	0		14	18.67%
7	輸血前後の検体保存ができない	4	25.00%	9	15.52%	0	0.00%	0		13	17.33%
8	副反応監視体制ができない	3	18.75%	6	10.34%	0	0.00%	0		9	12.00%
9	輸血療法の実施に関する指針及び血液製剤の使用指針が厳守できていない	3	18.75%	6	10.34%	0	0.00%	0		9	12.00%
	回答施設合計	16		58		1		0		75	

2-13. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で輸血適正使用加算に関する新鮮凍結血漿、赤血球濃厚液及びアルブミン製剤の使用状況、血漿交換療法の回数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 赤血球濃厚液(RBC)の使用量(整数)／単位	0床	10	0	598	81.00	810	182.96
	1～299床	47	0	6239	821.49	38610	1185.62
	300～499床	12	113	9997	4244.75	50937	3018.78
	500床以上	11	3177	14207	9886.18	108748	4047.27
	全体	80	0	14207	2488.81	199105	3826.25
2) 新鮮凍結血漿(FFP)の全使用量(整数)／単位	0床	7	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	48	0	2852	155.73	7475	449.79
	300～499床	12	0	4344	1246.33	14956	1528.86
	500床以上	11	1280	10396	4553.00	50083	2761.11
	全体	78	0	10396	929.67	72514	1946.95
(3-1) 血漿交換療法における新鮮凍結血漿(FFP)の使用量(整数)／単位	0床	7	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	41	0	824	26.63	1092	129.07
	300～499床	12	0	574	83.83	1006	170.59
	500床以上	10	0	1736	584.40	5844	632.19
	全体	70	0	1736	113.46	7942	323.28
(3-2) 新鮮凍結血漿(FFP)を用いた血漿交換療法の回数(整数)／回	0床	6	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	40	0	29	0.93	37	4.59
	300～499床	11	0	4	0.82	9	1.40
	500床以上	10	0	62	20.00	200	21.63
	全体	67	0	62	3.67	246	11.14
(4) アルブミン製剤の使用量(小数点以下 2 桁)／単位	0床	7	0	83.33	16.67	116.66	31.91
	1～299床	43	0	5147	659.33	28350.99	1051.05
	300～499床	12	103.33	13930.83	5539.95	66479.35	4885.52
	500床以上	9	5935.83	20991	11638.38	104745.46	5166.93
	全体	71	0	20991	2812.57	199692.46	4731.26

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(5-1) 血漿交換療法におけるアルブミン製剤の使用量(小数点以下2桁)/単位	0床	7	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	39	0	230	8.46	330	39.77
	300～499床	12	0	3650	540.63	6487.5	1266.94
	500床以上	7	0	5937.5	1316.05	9212.33	2107.70
	全体	65	0	5937.5	246.61	16029.83	935.85
(5-2) アルブミン製剤を用いた血漿交換療法の回数(整数)/回	0床	7	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	39	0	10	0.49	19	2.13
	300～499床	11	0	21	2.00	22	6.31
	500床以上	8	0	121	26.25	210	40.30
	全体	65	0	121	3.86	251	16.07
(6) FFP/RBC 比 ((2) - (3-1)/2) / (1) = (小数点以下2桁)	0床	5	0	0	0.00	0	0.00
	1～299床	39	0	206.25	5.36	209.22	33.01
	300～499床	12	0	0.53	0.21	2.49	0.16
	500床以上	10	0.1	0.69	0.41	4.14	0.17
	全体	66	0	206.25	3.27	215.85	25.37
(7) アルブミン/RBC 比 ((4) - (5-1)/(1) = (小数点以下2桁)	0床	5	0	20.83	4.18	20.89	9.31
	1～299床	40	0	1783.8	50.99	2039.51	283.43
	300～499床	12	0.13	4.23	1.16	13.96	1.05
	500床以上	8	0.73	1.87	1.19	9.48	0.40
	全体	65	0	1783.8	32.06	2083.84	222.58

2-14. 輸血適正使用加算取得の有無について当てはまるものを1つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血適正使用加算を取得している	1	6.67%	29	36.25%	11	64.71%	8	61.54%	49	39.20%
2	取得していない	14	93.33%	51	63.75%	6	35.29%	5	38.46%	76	60.80%
	回答施設合計	15		80		17		13		125	

2-15. 問 2-14 で「(2)取得していない」と回答された施設にうかがいます。取得できない理由として当てはまるもの全て選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	FFP/RBCの基準をクリアできない	7	70.00%	17	48.57%	3	50.00%	5	10.00%	32	31.68%
2	ALB/RBCの基準をクリアできない	8	80.00%	16	45.71%	2	33.33%	2	4.00%	28	27.72%
3	その他	2	20.00%	17	48.57%	3	50.00%	0	0.00%	22	21.78%
	回答施設合計	10		35		6		50		101	

「その他」の場合

- ・専任医師、専任技師の配置ができない
- ・2-19の詳細が不明のため、その他も選択しています。
- ・輸血療法委員会がなく適正使用の検討する機会がないため
- ・輸血療法委員会がない
- ・輸血管理料Ⅰ,Ⅱどちらも取得していないから
- ・専任技師がいないため
- ・専任医師と専任臨床検査技師がいない為
- ・取得の為の基準などの知識がない
- ・質問2-12の(2)(3)(9)に該当する為
- ・輸血管理料加算を取得していないため
- ・輸血管理料の算定ができない
- ・輸血管理料を算定していない為
- ・管理料を取得していない
- ・FFPは使用していないため
- ・該当する事例がない
- ・輸血管理料算定の施設基準に該当していない為。
- ・臨床検査技師がいない

2-16. 2-15 で「(1) FFP/RBC の基準をクリアできない」を選択した施設にうかがいます。2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で基準をクリアできない原因となる病態・治療法に当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	大量出血(外傷)	3	60.00%	4	28.57%	1	100.00%	2	50.00%	10	41.67%
2	心臓血管外科手術(移植を除く)	3	60.00%	4	28.57%	0	0.00%	4	100.00%	11	45.83%
3	肝・胆・膵手術(移植を除く)	3	60.00%	3	21.43%	1	100.00%	0	0.00%	7	29.17%
4	肝移植	3	60.00%	2	14.29%	0	0.00%	0	0.00%	5	20.83%
5	腎移植	3	60.00%	2	14.29%	0	0.00%	1	25.00%	6	25.00%
6	心臓移植	3	60.00%	2	14.29%	0	0.00%	0	0.00%	5	20.83%
7	肺移植	3	60.00%	2	14.29%	0	0.00%	0	0.00%	5	20.83%
8	血漿交換治療(PE)	3	60.00%	2	14.29%	1	100.00%	1	25.00%	7	29.17%
9	肝不全(PE以外)	3	60.00%	2	14.29%	0	0.00%	0	0.00%	5	20.83%
10	血栓性血小板減少性紫斑病(PE以外)	3	60.00%	1	7.14%	0	0.00%	0	0.00%	4	16.67%
11	濃縮製剤のない凝固因子欠乏症	3	60.00%	1	7.14%	0	0.00%	0	0.00%	4	16.67%
12	凝固・線溶阻害因子欠乏症	3	60.00%	2	14.29%	0	0.00%	0	0.00%	5	20.83%
13	その他	4	80.00%	6	42.86%	0	0.00%	0	0.00%	10	41.67%
	回答施設合計	5		14		1		4		24	

2-17. 2-16 で選択した項目の 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間の症例数、FFP と RBC の使用単位数を記入ください

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 大量出血(外傷)	症例数/件	0床						
		1～299床	1	2	2	2.00	2	
		300～499床						
		500床以上	1	1	1	1.00	1	
		全体	2	1	2	1.50	3	0.71
	使用FFP単位数/単位	0床						
		1～299床	1	0	0	0.00	0	
		300～499床						
		500床以上	1	12	12	12.00	12	
		全体	2	0	12	6.00	12	8.49
	使用RBC単位数/単位	0床						
		1～299床	1	6	6	6.00	6	
		300～499床						
		500床以上	1	14	14	14.00	14	
		全体	2	6	14	10.00	20	5.66
(2) 心臓血管外科手術(移植を除く)	症例数/件	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上	2	85	101	93.00	186	11.31
		全体	2	85	101	93.00	186	11.31
	使用FFP単位数/単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上	2	644	925	784.50	1569	198.70
		全体	2	644	925	784.50	1569	198.70
	使用RBC単位数/単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上	2	606	944	775.00	1550	239.00
		全体	2	606	944	775.00	1550	239.00

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(3) 肝・胆・膵手術(移植を除く)	症例数／件	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用FFP単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
(4) 肝移植	症例数／件	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用FFP単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
(5) 腎移植	症例数／件	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上	1	32	32	32.00	32	
		全体	1	32	32	32.00	32	
	使用FFP単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上	1	26	26	26.00	26	
		全体	1	26	26	26.00	26	
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上	1	44	44	44.00	44	
		全体	1	44	44	44.00	44	

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(6) 心臓移植	症例数／件	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用FFP単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
(7) 肺移植	症例数／件	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用FFP単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
(8) 血漿交換治療 (PE)	症例数／件	0床						
		1～299床	1	5	5	5.00	5	
		300～499床						
		500床以上	1	8	8	8.00	8	
		全体	2	5	8	6.50	13	2.12
	使用FFP単位 数／単位	0床						
		1～299床	1	824	824	824.00	824	
		300～499床						
		500床以上	1	254	254	254.00	254	
		全体	2	254	824	539.00	1078	403.05
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床	1	0	0	0.00	0	
		300～499床						
		500床以上	1	0	0	0.00	0	
		全体	2	0	0	0.00	0	0.00

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(9) 肝不全(PE以外)	症例数／件	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用FFP単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
(10) 血栓性血小板減少性紫 斑病(PE以外)	症例数／件	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用FFP単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
(11) 濃縮製剤のない凝固因 子欠乏症	症例数／件	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用FFP単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(12) 凝固・線溶阻害因子欠乏症	症例数／件	0床						
		1～299床	1	4	4	4.00	4	
		300～499床						
		500床以上						
		全体	1	4	4	4.00	4	
	使用FFP単位 数／単位	0床						
		1～299床	1	30	30	30.00	30	
		300～499床						
		500床以上						
		全体	1	30	30	30.00	30	
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床	1	18	18	18.00	18	
		300～499床						
		500床以上						
		全体	1	18	18	18.00	18	
(13) その他	症例数／件	0床						
		1～299床	3	2	173	59.67	179	98.15
		300～499床						
		500床以上						
		全体	3	2	173	59.67	179	98.15
	使用FFP単位 数／単位	0床						
		1～299床	3	0	310	105.33	316	177.27
		300～499床						
		500床以上						
		全体	3	0	310	105.33	316	177.27
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床	3	11	669	244.67	734	368.11
		300～499床						
		500床以上						
		全体	3	11	669	244.67	734	368.11

2-18. 2-15 で「(2) ALB/RBC の基準をクリアできない」を選択した施設にうかがいます。2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で基準をクリアできない原因となる病態・治療法に当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	出血性ショック	3	60.00%	3	30.00%	0	0.00%	1	100.00%	7	43.75%
2	人工心肺を使用する心臓手術	3	60.00%	2	20.00%	0	0.00%	1	100.00%	6	37.50%
3	肝硬変に伴う難治性腹水	3	60.00%	3	30.00%	0	0.00%	0	0.00%	6	37.50%
4	難治性の浮腫	3	60.00%	1	10.00%	0	0.00%	0	0.00%	4	25.00%
5	肺水腫を伴うネフローゼ症候群	3	60.00%	1	10.00%	0	0.00%	0	0.00%	4	25.00%
6	循環動態が不安定な体外循環	3	60.00%	3	30.00%	0	0.00%	0	0.00%	6	37.50%
7	重症熱傷	3	60.00%	1	10.00%	0	0.00%	0	0.00%	4	25.00%
8	肝移植	3	60.00%	1	10.00%	0	0.00%	0	0.00%	4	25.00%
9	腎移植	3	60.00%	1	10.00%	0	0.00%	0	0.00%	4	25.00%
10	その他	3	60.00%	7	70.00%	0	0.00%	0	0.00%	10	62.50%
	回答施設合計	5		10		0		1		16	

「その他」の場合

- ・低アルブミン血症
- ・ステロイドパルス療法
- ・該当がない
- ・上記重症例に対応していない
- ・弛緩出血
- ・アルブミン使用なし

2-19. 2-18 で選択した項目の 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間の症例数、アルブミンと RBC の使用単位数を記入ください

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 出血性ショック	症例数／件	0床						
		1～299床	1	1	1	1.00	1	
		300～499床						
		500床以上						
		全体	1	1	1	1.00	1	
	使用アルブミン 単位数／単位	0床						
		1～299床	1	13	13	13.00	13	
		300～499床						
		500床以上						
		全体	1	13	13	13.00	13	
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(2) 人工心肺を使用する心臓手術	症例数／件	0床						
		1～299床	1	23	23	23.00	23	
		300～499床						
		500床以上						
		全体	1	23	23	23.00	23	
	使用アルブミン 単位数／単位	0床						
		1～299床	1	642	642	642.00	642	
		300～499床						
		500床以上						
		全体	1	642	642	642.00	642	
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
(3) 肝硬変に伴う難治性腹水	症例数／件	0床						
		1～299床	1	29	29	29.00	29	
		300～499床						
		500床以上						
		全体	1	29	29	29.00	29	
	使用アルブミン 単位数／単位	0床						
		1～299床	1	796	796	796.00	796	
		300～499床						
		500床以上						
		全体	1	796	796	796.00	796	
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
(4) 難治性の浮腫	症例数／件	0床						
		1～299床	1	2	2	2.00	2	
		300～499床						
		500床以上						
		全体	1	2	2	2.00	2	
	使用アルブミン 単位数／単位	0床						
		1～299床	1	80	80	80.00	80	
		300～499床						
		500床以上						
		全体	1	80	80	80.00	80	
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(5) 肺水腫を伴うネフローゼ症候群	症例数／件	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用アルブミン 単位数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
(6) 循環動態が不安定な体外循環	症例数／件	0床						
		1～299床	1	42	42	42.00	42	
		300～499床						
		500床以上						
		全体	1	42	42	42.00	42	
	使用アルブミン 単位数／単位	0床						
		1～299床	1	1230	1230	1230.00	1230	
		300～499床						
		500床以上						
		全体	1	1230	1230	1230.00	1230	
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
(7) 重症熱傷	症例数／件	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用アルブミン 単位数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(8) 肝移植	症例数／件	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用アルブミン 単位数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
(9) 腎移植	症例数／件	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用アルブミン 単位数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床						
		300～499床						
		500床以上						
		全体						
(10) その他	症例数／件	0床						
		1～299床	2	7	391	199.00	398	271.53
		300～499床						
		500床以上						
		全体	2	7	391	199.00	398	271.53
	使用アルブミン 単位数／単位	0床						
		1～299床	2	20	400	210.00	420	268.70
		300～499床						
		500床以上						
		全体	2	20	400	210.00	420	268.70
	使用RBC単位 数／単位	0床						
		1～299床	2	12	96	54.00	108	59.40
		300～499床						
		500床以上						
		全体	2	12	96	54.00	108	59.40

2-20. 貯血式自己血輸血管理体制加算の取得の有無について当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	取得している	0	0.00%	3	4.48%	2	14.29%	5	41.67%	10	9.26%
2	取得する予定	0	0.00%	1	1.49%	0	0.00%	1	8.33%	2	1.85%
3	取得する予定なし	15	100.00%	63	94.03%	12	85.71%	6	50.00%	96	88.89%
	回答施設合計	15		67		14		12		108	

4-3) 血液粘弾性検査について

2-21. 施設内で血液粘弾性検査（トロンボエラストメトリー）を周術期に行っていますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行っている	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	30.00%	3	2.11%
2	行っていない	20	100.00%	96	100.00%	16	100.00%	7	70.00%	139	97.89%
	回答施設合計	20		96		16		10		142	

2-22. 血液粘弾性検査を行う機器を全て選んでください

複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ROTEM	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	TEG 6s	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	100.00%	2	100.00%
3	Sonoclot	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		0		2		2	

2-23. 血液粘弾性検査を行う機器はどこに設置されていますか 設置場所を全て選んでください

複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	手術室	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	66.67%	2	66.67%
2	ICU等	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	検査部門	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	輸血部門	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	33.33%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		0		3		3	

2-24. 血液粘弾性検査を行う診療科を全て選んでください

複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	心臓血管外科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	100.00%	3	100.00%
2	産婦人科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	66.67%	2	66.67%
3	救急科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	33.33%
4	肝胆膵外科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	麻酔科	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	33.33%
6	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	33.33%
	回答施設合計	0		0		0		3		3	

2-25. 血液粘弾性検査は1週間におおよそどの程度の頻度で行っていますか 当てはまるものを1つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	0-30回	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	100.00%	2	100.00%
2	31-60回	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	61-90回	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	91-120回	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	121回以上	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		0		2		2	

2-26. 血液粘弾性検査の結果は他科と共有していますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	紙カルテ／電カルテで共有している	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	66.67%	2	66.67%
2	共有していない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	33.33%
3	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		0		3		3	

4-4) 大量出血時の輸血について

2-27. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で大量出血のため 1 日につき赤血球液 10 単位以上輸血した症例はありましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	あった	0	0.00%	14	14.00%	16	88.89%	13	100.00%	43	28.29%
2	なかった	21	100.00%	86	86.00%	2	11.11%	0	0.00%	109	71.71%
	回答施設合計	21		100		18		13		152	

2-28. 貴施設では大量出血・大量輸血時の凝固障害に使用する製剤として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	新鮮凍結血漿のみ	0	0.00%	12	92.31%	11	73.33%	8	61.54%	31	75.61%
2	新鮮凍結血漿＋クリオプレシピテート	0	0.00%	1	7.69%	2	13.33%	3	23.08%	6	14.63%
3	新鮮凍結血漿＋フィブリノゲン濃縮製剤	0	0.00%	0	0.00%	2	13.33%	2	15.38%	4	9.76%
4	新鮮凍結血漿＋クリオプレシピテート、または新鮮凍結血漿＋フィブリノゲン濃縮製剤	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		13		15		13		41	

2-29. 問 2-28 で「(2)～(4)」と答えた施設では、クリオプレシピテートおよびフィブリノゲン濃縮製剤の投与基準を決めていますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	決めている	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	3	60.00%	4	40.00%
2	決めていない	0	0.00%	0	0.00%	4	100.00%	2	40.00%	6	60.00%
	回答施設合計	0		1		4		5		10	

2-30. 問 2-29 で「(1) 決めている」と答えた施設での、クリオプレシピテートおよびフィブリノゲン濃縮製剤の投与基準を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 出血量(mL)	0床						
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体						
(2) PT 値(%)	0床						
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上						
	全体						
(3)フィブリノゲン値 (mg/dL)	0床						
	1～299床	1	150	150	150.00	150	
	300～499床						
	500床以上	2	150	150	150.00	300	0.00
	全体	3	150	150	150.00	450	0.00

2-31. 問 2-28 で「(2)および(4)」と答えた施設で、2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で作成し使用したクリオプレシピテートの、調製用製剤となった血漿製剤の使用総袋（本）数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 新鮮凍結人血漿(新鮮凍結血漿-LR-120製剤)／袋(本)	0床						
	1～299床	1	0	0	0	0	
	300～499床	2	0	0	0	0	0.00
	500床以上	1	0	0	0	0	
	全体	4	0	0	0	0	0.00
(2) 新鮮凍結人血漿(新鮮凍結血漿-LR-240製剤)／袋(本)	0床						
	1～299床	1	0	0	0	0	
	300～499床	2	0	0	0	0	0.00
	500床以上	1	0	0	0	0	
	全体	4	0	0	0	0	0.00
(3) 新鮮凍結人血漿(新鮮凍結血漿-LR-480製剤)／袋(本)	0床						
	1～299床	1	38	38	38	38	
	300～499床	2	21	27	24	48	4.24
	500床以上	2	40	281	160.5	321	170.41
	全体	5	21	281	81.4	407	111.85
(4) 合計／袋(本)	0床						
	1～299床	1	38	38	38	38	
	300～499床	2	21	27	24	48	4.24
	500床以上	2	40	281	160.5	321	170.41
	全体	5	21	281	81.4	407	111.85

2-32. 問 2-28 で「(2)～(4)」と答えた施設でクリオプレシピテートおよびフィブリノゲン濃縮製剤の 1 回あたりの投与量を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) クリオプレシピテート/バック	0床						
	1～299床	1	1	1	1.00	1	
	300～499床	2	3	3	3.00	6	0.00
	500床以上	2	2	2	2.00	4	0.00
	全体	5	1	3	2.20	11	0.84
(2) フィブリノゲン濃縮製剤/g	0床						
	1～299床						
	300～499床						
	500床以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	1	0	0	0.00	0	

2-33. 問 2-28 で「(2)～(4)」と答えた施設でクリオプレシピテートおよびフィブリノゲン濃縮製剤を使用する診療科と 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間での件数を記入してください

クリオプレシピテート使用件数(件)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 心臓血管外科(小児を含む)	0床						
	1～299床	1	31	31	31.00	31	
	300～499床						
	500床以上	1	5	5	5.00	5	
	全体	2	5	31	18.00	36	18.38
(2) 産科	0床						
	1～299床	1	0	0	0.00	0	
	300～499床						
	500床以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	2	0	0	0.00	0	0.00
(3) 救命救急	0床						
	1～299床	1	0	0	0.00	0	
	300～499床						
	500床以上	1	2	2	2.00	2	
	全体	2	0	2	1.00	2	1.41
(4) 肝胆膵外科	0床						
	1～299床	1	0	0	0.00	0	
	300～499床						
	500床以上	1	4	4	4.00	4	
	全体	2	0	4	2.00	4	2.83
(5) 血液内科	0床						
	1～299床	1	0	0	0.00	0	
	300～499床						
	500床以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	2	0	0	0.00	0	0.00
(6) その他	0床						
	1～299床	1	0	0	0.00	0	
	300～499床						
	500床以上	1	4	4	4.00	4	
	全体	2	0	4	2.00	4	2.83

フィブリノゲン濃縮製剤使用件数(件)							
項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 心臓血管外科(小児を含む)	0床						
	1～299床	1	0	0	0.00	0	
	300～499床						
	500床以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	2	0	0	0.00	0	0.00
(2) 産科	0床						
	1～299床	1	0	0	0.00	0	
	300～499床						
	500床以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	2	0	0	0.00	0	0.00
(3) 救命救急	0床						
	1～299床	1	0	0	0.00	0	
	300～499床						
	500床以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	2	0	0	0.00	0	0.00
(4) 肝胆膵外科	0床						
	1～299床	1	0	0	0.00	0	
	300～499床						
	500床以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	2	0	0	0.00	0	0.00
(5) 血液内科	0床						
	1～299床	1	0	0	0.00	0	
	300～499床						
	500床以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	2	0	0	0.00	0	0.00
(6) その他	0床						
	1～299床	1	0	0	0.00	0	
	300～499床						
	500床以上	1	0	0	0.00	0	
	全体	2	0	0	0.00	0	0.00

2-34. 貴院では MTP (Massive transfusion protocol) を実施していますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	25.00%	3	2.17%
2	いいえ	18	100.00%	93	100.00%	15	100.00%	9	75.00%	135	97.83%
	回答施設合計	18		93		15		12		138	

2-35. MTP (Massive transfusion protocol) をオーダーリングで運用していますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	はい	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	66.67%	2	66.67%
2	いいえ	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	33.33%
	回答施設合計	0		0		0		3		3	

2-36. MTP を対象としている部署について当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	救急外来(初療室)	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	3	100.00%	3	100.00%
2	手術室	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	分娩室	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		0		3		3	

2-37. MTP を導入して問題となっていることを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	製剤の廃棄率の増加	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	33.33%
2	不適切な使用(適応外使用)	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	33.33%
3	人員確保	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	33.33%
4	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		0		0		3		3	

4-5) 血漿交換療法が保険適応の疾患に対して行っている治療法について

2-38. 血漿交換療法が保険適応の疾患に対して、アルブミンを置換液とした血漿交換を行っていますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行っている	0	0.00%	2	2.11%	4	26.67%	6	60.00%	12	8.45%
2	行っていない	22	100.00%	93	97.89%	11	73.33%	4	40.00%	130	91.55%
	回答施設合計	22		95		15		10		142	

2-39. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間でアルブミンを置換液とした血漿交換を実施した適応疾患の件数と総使用グラム数を記入してください

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 重症筋無力症	件数	0床						
		1～299床	2	0	1	0.50	1	0.71
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	5	1.67	5	2.89
		全体	7	0	5	0.86	6	1.86
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	2	0	290	145.00	290	205.06
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	375	125.00	375	216.51
		全体	7	0	375	95.00	665	164.09
(2) 多発性硬化症	件数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	4	1.33	4	2.31
		全体	7	0	4	0.57	4	1.51
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	2063	687.67	2063	1191.07
		全体	7	0	2063	294.71	2063	779.74
(3) 慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(CIDP)	件数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
(4)ギラン・バレー症候群	件数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(5)天疱瘡	件数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	1	0.33	1	0.58
		全体	7	0	1	0.14	1	0.38
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	350	116.67	350	202.07
		全体	7	0	350	50.00	350	132.29
(6)類天疱瘡	件数	0床						
		1～299床	2	0	1	0.50	1	0.71
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	1	0.14	1	0.38
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	2	0	400	200.00	400	282.84
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	400	57.14	400	151.19
(7)中毒性皮膚壊死症	件数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
(8)スティーブンス・ジョンソン症候群	件数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	1	0.33	1	0.58
		全体	7	0	1	0.14	1	0.38
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	220	73.33	220	127.02
		全体	7	0	220	31.43	220	83.15
(9)多発性骨髄腫	件数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	2	0.67	2	1.15
		全体	7	0	2	0.29	2	0.76
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	716	238.67	716	413.38
		全体	7	0	716	102.29	716	270.62

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(10)マクログロブリン血症	件数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
(11)血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)	件数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
(12)溶血性尿毒症症候群	件数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
(13)インヒビターを有する血友病	件数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
(14)術後肝不全	件数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(15)急性肝不全(劇症肝炎)	件数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
(16)慢性C型肝炎	件数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
(17)巣状糸球体硬化症	件数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
(18)抗糸球体基底膜抗体型 急速進行性糸球体腎炎(抗GBM抗体型RPGN)	件数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	2	1.00	2
		500床以上	3	0	1	0.33	1
		全体	7	0	2	0.43	3
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	3200	1600.00	3200
		500床以上	3	0	175	58.33	175
		全体	7	0	3200	482.14	3375
(19)抗白血球細胞質抗体型 急速進行性糸球体腎炎 (ANCA関連RPGN)	件数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(20)ABO血液型不適合もしくは抗リンパ球抗体陽性の同種腎移植	件数	0床						
		1～299床	2	0	1	0.50	1	0.71
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	3	1.00	3	1.73
		全体	7	0	3	0.57	4	1.13
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	2	0	240	120.00	240	169.71
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	462.5	154.17	462.5	267.02
		全体	7	0	462.5	100.36	702.5	183.03
(21)ABO血液型不適合もしくは抗リンパ球抗体陽性の同種肝移植	件数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
(22)家族性高コレステロール血症(FH)	件数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
(23)閉塞性動脈硬化症(ASO)	件数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
(24)全身性エリテマトーデス(SLE)	件数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	2	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	2	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	3	0	0	0.00	0	0.00
		全体	7	0	0	0.00	0	0.00

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(25)悪性関節リウマチ(MRA)	件数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
(26)川崎病	件数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
(27)重度血液型不適合妊娠	件数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
(28)薬物中毒	件数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	2	0	0	0.00	0
		300～499床	2	0	0	0.00	0
		500床以上	3	0	0	0.00	0
		全体	7	0	0	0.00	0

2-40. 血漿交換療法が保険適応の疾患に対して、FFP を置換液とした血漿交換を行っていますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行っている	0	0.00%	6	6.52%	6	40.00%	8	66.67%	20	14.18%
2	行っていない	22	100.00%	86	93.48%	9	60.00%	4	33.33%	121	85.82%
	回答施設合計	22		92		15		12		141	

2-41. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で FFP を置換液とした血漿交換を実施した適応疾患の件数と総使用単位数を記入してください

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(1) 重症筋無力症	件数	0床					
		1～299床	5	0	0	0.00	0
		300～499床	4	0	0	0.00	0
		500床以上	6	0	0	0.00	0
		全体	15	0	0	0.00	0
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	5	0	0	0.00	0
		300～499床	4	0	0	0.00	0
		500床以上	6	0	0	0.00	0
		全体	15	0	0	0.00	0
(2) 多発性硬化症	件数	0床					
		1～299床					
		300～499床	4	0	0	0.00	0
		500床以上	6	0	0	0.00	0
		全体	10	0	0	0.00	0
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	5	0	0	0.00	0
		300～499床	4	0	0	0.00	0
		500床以上	6	0	0	0.00	0
		全体	15	0	0	0.00	0
(3) 慢性炎症性脱髄性多発根神経炎(CIDP)	件数	0床					
		1～299床	5	0	0	0.00	0
		300～499床	4	0	0	0.00	0
		500床以上	6	0	0	0.00	0
		全体	15	0	0	0.00	0
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	5	0	0	0.00	0
		300～499床	4	0	0	0.00	0
		500床以上	6	0	0	0.00	0
		全体	15	0	0	0.00	0
(4) グラン・バレー症候群	件数	0床					
		1～299床	5	0	0	0.00	0
		300～499床	4	0	0	0.00	0
		500床以上	6	0	0	0.00	0
		全体	15	0	0	0.00	0
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	5	0	0	0.00	0
		300～499床	4	0	0	0.00	0
		500床以上	6	0	0	0.00	0
		全体	15	0	0	0.00	0
(5) 天疱瘡	件数	0床					
		1～299床	5	0	0	0.00	0
		300～499床	4	0	1	0.25	1
		500床以上	6	0	0	0.00	0
		全体	15	0	1	0.07	1
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	5	0	0	0.00	0
		300～499床	4	0	200	50.00	200
		500床以上	6	0	0	0.00	0
		全体	15	0	200	13.33	200

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(6)類天疱瘡	件数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	0	0.00	0	0.00
(7)中毒性皮膚壊死症	件数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	0	0.00	0	0.00
(8)スティーブンス・ジョンソン症候群	件数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	0	0.00	0	0.00
(9)多発性骨髄腫	件数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	1	0.17	1	0.41
		全体	15	0	1	0.07	1	0.26
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	25	4.17	25	10.21
		全体	15	0	25	1.67	25	6.45
(10)マクログロブリン血症	件数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	1	0.25	1	0.50
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	1	0.07	1	0.26
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	104	26.00	104	52.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	104	6.93	104	26.85

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(11)血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)	件数	0床					
		1～299床	5	0	0	0.00	0
		300～499床	4	0	0	0.00	0
		500床以上	6	0	3	0.67	4
		全体	15	0	3	0.27	4
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	5	0	0	0.00	0
		300～499床	4	0	0	0.00	0
		500床以上	6	0	60	20.00	120
		全体	15	0	60	8.00	120
(12)溶血性尿毒症症候群	件数	0床					
		1～299床	5	0	0	0.00	0
		300～499床	4	0	0	0.00	0
		500床以上	6	0	1	0.17	1
		全体	15	0	1	0.07	1
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	5	0	0	0.00	0
		300～499床	4	0	0	0.00	0
		500床以上	6	0	24	4.00	24
		全体	15	0	24	1.60	24
(13)インヒビターを有する血友病	件数	0床					
		1～299床	5	0	0	0.00	0
		300～499床	4	0	1	0.25	1
		500床以上	6	0	0	0.00	0
		全体	15	0	1	0.07	1
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	5	0	0	0.00	0
		300～499床	4	0	68	17.00	68
		500床以上	6	0	0	0.00	0
		全体	15	0	68	4.53	68
(14)術後肝不全	件数	0床					
		1～299床	5	0	2	0.80	4
		300～499床	4	0	0	0.00	0
		500床以上	6	0	0	0.00	0
		全体	15	0	2	0.27	4
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	5	0	80	28.00	140
		300～499床	4	0	0	0.00	0
		500床以上	6	0	0	0.00	0
		全体	15	0	80	9.33	140
(15)急性肝不全(劇症肝炎)	件数	0床					
		1～299床	5	0	0	0.00	0
		300～499床	4	0	0	0.00	0
		500床以上	6	0	2	0.50	3
		全体	15	0	2	0.20	3
	総使用グラム数	0床					
		1～299床	5	0	0	0.00	0
		300～499床	4	0	0	0.00	0
		500床以上	6	0	40	11.33	68
		全体	15	0	40	4.53	68

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(16)慢性C型ウイルス肝炎	件数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	0	0.00	0	0.00
(17)巣状糸球体硬化症	件数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	1	0.25	1	0.50
		500床以上	6	0	1	0.17	1	0.41
		全体	15	0	1	0.13	2	0.35
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	178	44.50	178	89.00
		500床以上	6	0	40	6.67	40	16.33
		全体	15	0	178	14.53	218	46.38
(18)抗糸球体基底膜抗体型 急速進行性糸球体腎炎(抗 GBM抗体型RPGN)	件数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	1	0.33	2	0.52
		全体	15	0	1	0.13	2	0.35
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	124	24.67	148	49.60
		全体	15	0	124	9.87	148	32.17
(19)抗白血球細胞質抗体型 急速進行性糸球体腎炎 (ANCA関連RPGN)	件数	0床						
		1～299床	5	0	1	0.20	1	0.45
		300～499床	4	0	1	0.25	1	0.50
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	1	0.13	2	0.35
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	5	0	37	7.40	37	16.55
		300～499床	4	0	30	7.50	30	15.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	37	4.47	67	11.86
(20)ABO血液型不適合もしくは 抗リンパ球抗体陽性の同 種腎移植	件数	0床						
		1～299床	5	0	1	0.20	1	0.45
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	5	1.00	6	2.00
		全体	15	0	5	0.47	7	1.30
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	5	0	64	12.80	64	28.62
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	128	26.33	158	51.23
		全体	15	0	128	14.80	222	35.95

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(21)ABO血液型不適合もしくは抗リンパ球抗体陽性の同種肝移植	件数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	0	0.00	0	0.00
(22)家族性高コレステロール血症(FH)	件数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	0	0.00	0	0.00
(23)閉塞性動脈硬化症(ASO)	件数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	0	0.00	0	0.00
(24)全身性エリテマトーデス(SLE)	件数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	32	5.50	33	12.99
		全体	15	0	32	2.20	33	8.25
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	640	156.67	940	265.46
		全体	15	0	640	62.67	940	177.42
(25)悪性関節リウマチ(MRA)	件数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	0	0.00	0	0.00

項目			施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
(26)川崎病	件数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	0	0.00	0	0.00
(27)重度血液型不適合妊娠	件数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	0	0.00	0	0.00
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	0	0.00	0	0.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	0	0.00	0	0.00
(28)薬物中毒	件数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	1	0.25	1	0.50
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	1	0.07	1	0.26
	総使用グラム数	0床						
		1～299床	5	0	0	0.00	0	0.00
		300～499床	4	0	16	4.00	16	8.00
		500床以上	6	0	0	0.00	0	0.00
		全体	15	0	16	1.07	16	4.13

4-6) 院内成分採血細胞処理・凍結保存・保管に関する実施状況調査

2-42. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で輸血部または関連する部門で下記の採血、細胞処理、凍結、保存を行いましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	2	2.04%	4	22.22%	7	53.85%	13	8.67%
2	行わなかった	21	100.00%	96	97.96%	14	77.78%	6	46.15%	137	91.33%
	回答施設合計	21		98		18		13		150	

2-43. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で輸血部または関連する部門で、血縁および非血縁末梢血幹細胞採取を行いましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	1	50.00%	2	50.00%	6	85.71%	9	69.23%
2	行わなかった	0	0.00%	1	50.00%	2	50.00%	1	14.29%	4	30.77%
	回答施設合計	0		2		4		7		13	

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
採取した症例数(件)	0床						
	1～299床	1	16	16	16.00	16	
	300～499床	2	1	4	2.50	5	2.12
	500床以上	2	2	7	4.50	9	3.54
	全体	5	1	16	6.00	30	6.04

2-44. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で輸血部または関連する部門で、自家末梢血幹細胞採取を行いましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	2	100.00%	4	100.00%	7	100.00%	13	100.00%
2	行わなかった	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		2		4		7		13	

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
採取した症例数(件)	0床						
	1～299床	2	2	4	3.00	6	1.41
	300～499床	4	1	16	7.50	30	6.86
	500床以上	3	9	22	13.33	40	7.51
	全体	9	1	22	8.44	76	6.98

2-45. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で輸血部または関連する部門で、ドナーリンパ球採取（アフェレーシス法）を行いましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	1	50.00%	0	0.00%	4	57.14%	5	38.46%
2	行わなかった	0	0.00%	1	50.00%	4	100.00%	3	42.86%	8	61.54%
	回答施設合計	0		2		4		7		13	

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
採取した症例数(件)	0床						
	1～299床	1	3	3	3.00	3	
	300～499床						
	500床以上	1	2	2	2.00	2	
	全体	2	2	3	2.50	5	0.71

2-46. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で輸血部または関連する部門で、顆粒球採取（アフエレーシス法）を行いましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	行わなかった	0	0.00%	2	100.00%	4	100.00%	7	100.00%	13	100.00%
	回答施設合計	0		2		4		7		13	

2-47. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で輸血部または関連する部門で、自己リンパ球（アフエレーシス法）を行いましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	行わなかった	0	0.00%	2	100.00%	4	100.00%	7	100.00%	13	100.00%
	回答施設合計	0		2		4		7		13	

2-48. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で輸血部または関連する部門で細胞の凍結処理・保管管理を行いましたか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	行った	0	0.00%	2	100.00%	2	50.00%	6	85.71%	10	76.92%
2	行わなかった	0	0.00%	0	0.00%	2	50.00%	1	14.29%	3	23.08%
	回答施設合計	0		2		4		7		13	

項目		施設数	最小	最大	平均	合計値	標準偏差
採取した症例数(件)	0床						
	1～299床	2	2	25	13.50	27	16.26
	300～499床	1	3	3	3.00	3	
	500床以上	2	9	11	10.00	20	1.41
	全体	5	2	25	10.00	50	9.22

2-49. 標準作業手順書（SOP）を作成・使用していますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	している	0	0.00%	1	50.00%	3	100.00%	6	100.00%	10	90.91%
2	していない	0	0.00%	1	50.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	9.09%
	回答施設合計	0		2		3		6		11	

2-50. 作業工程の記録をしていますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	している	0	0.00%	2	100.00%	2	66.67%	6	100.00%	10	90.91%
2	していない	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	0	0.00%	1	9.09%
	回答施設合計	0		2		3		6		11	

2-51. 2021 年 4 月～2022 年 3 月までの期間で実施された成分採血で、連続成分採血装置の主な操作者の職種として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	医師	0	0.00%	1	50.00%	1	33.33%	0	0.00%	2	16.67%
2	看護師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	14.29%	1	8.33%
3	臨床工学技士	0	0.00%	0	0.00%	2	66.67%	4	57.14%	6	50.00%
4	臨床検査技師	0	0.00%	1	50.00%	0	0.00%	2	28.57%	3	25.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		2		3		7		12	

2-52. 2021 年 4 月～2022 年 3 月までの期間で実施された成分採血で、静脈路への接続について主に関わる職種として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	医師	0	0.00%	1	100.00%	3	100.00%	4	57.14%	8	72.73%
2	看護師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	28.57%	2	18.18%
3	臨床工学技士	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	14.29%	1	9.09%
4	臨床検査技師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		1		3		7		11	

2-53. 2021 年 4 月～2022 年 3 月までの期間で実施された成分採血で、静脈路からの抜針・止血について主に関わる職種として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	医師	0	0.00%	1	100.00%	2	66.67%	3	42.86%	6	54.55%
2	看護師	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	2	28.57%	3	27.27%
3	臨床工学技士	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	28.57%	2	18.18%
4	臨床検査技師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		1		3		7		11	

4-7) 細胞治療（再生医療等製品）に関する実施状況調査

2-54. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で下記の細胞治療（再生医療等製品）を使用しましたか

- | | | |
|------|-----------------------------|--------------|
| (1) | ヒト（同種）骨髄由来間葉系幹細胞 | 『テムセル HS 注』 |
| (2) | ヒト（自己）骨格筋由来細胞シート | 『ハートシート』 |
| (3) | ヒト（自己）表皮由来細胞シート | 『ジェイス』 |
| (4) | ヒト（自己）軟骨由来組織 | 『ジャック』 |
| (5) | ヒト（自己）骨髄由来 間葉系幹細胞 | 『ステミラック注』 |
| (6) | チサゲンレクルユーセル | 『キムリア点滴静注』 |
| (7) | ヒト（自己）角膜輪部由来角膜上皮細胞シート | 『ネビック』 |
| (8) | アキシカブタゲン シロルユーセル | 『イエスカルタ点滴静注』 |
| (9) | リソカブタゲン マラルユーセル | 『ブレヤンジ静注』 |
| (10) | ヒト（自己）口腔粘膜由来上皮細胞シート | 『オキュラル』 |
| (11) | ダルバドストロセル | 『アロフィセル注』 |
| (12) | ヒト羊膜基質使用ヒト（自己）口腔粘膜由来上皮細胞シート | 『サクラシー』 |
| (13) | イデカブタゲン ビクルユーセル | 『アベクマ点滴静注』 |

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	使用した	0	0.00%	2	2.11%	0	0.00%	3	23.08%	5	3.47%
2	使用しなかった	20	100.00%	93	97.89%	16	100.00%	10	76.92%	139	96.53%
	回答施設合計	20		95		16		13		144	

2-55. 2021 年 4 月～2022 年 3 月の期間で使用した細胞治療（再生医療等製品）として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	ヒト(同種)骨髄由来間葉系幹細胞『テムセルHS注』	0	0.00%	1	50.00%	0	0.00%	3	100.00%	4	80.00%
2	ヒト(自己)骨格筋由来細胞シート『ハートシート』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	ヒト(自己)表皮由来細胞シート『ジェイス』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	ヒト(自己)軟骨由来組織『ジャック』	0	0.00%	1	50.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	20.00%
5	ヒト(自己)骨髄由来 間葉系幹細胞『ステミラック注』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
6	チサゲンレクルユーセル『キムリア点滴静注』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	20.00%
7	ヒト(自己)角膜輪部由来角膜上皮細胞シート『ネビック』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
8	アキシカブタゲン シロルユーセル『イエスカルタ点滴静注』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
9	リソカブタゲン マラルユーセル『ブレヤンジ静注』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	33.33%	1	20.00%
10	ヒト(自己)口腔粘膜由来上皮細胞シート『オキュラル』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
11	ダルバドストロセル『アロフィセル注』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
12	ヒト羊膜基質使用ヒト(自己)口腔粘膜由来上皮細胞シート『サクラシー』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
13	イデカブタゲン ビクルユーセル『アベクマ点滴静注』	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	回答施設合計	0		2		0		3		5	

2-56. 投与記録の管理をしていますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	している	0	0.00%	1	50.00%	0	0.00%	3	100.00%	4	80.00%
2	していない	0	0.00%	1	50.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	20.00%
	回答施設合計	0		2		0		3		5	

2-57. 院内で投与記録の管理を担当する部署として当てはまるものを 1 つ選んでください

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部門	0	0.00%	1	100.00%	0	0.00%	1	33.33%	2	50.00%
2	事務部門	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
3	薬剤部門	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
4	その他の部門	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	66.67%	2	50.00%
	回答施設合計	0		1		0		3		4	

2-58. 再生医療等製品の調製担当者として当てはまるものを全て選んでください 複数回答

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	輸血部医師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
2	診療科医師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	66.67%	2	40.00%
3	検査技師	0	0.00%	1	50.00%	0	0.00%	1	33.33%	2	40.00%
4	薬剤師	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
5	その他	0	0.00%	1	50.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	20.00%
	回答施設合計	0		2		0		3		5	

2-59. 調製担当者は、認定細胞治療管理師の資格を持っていますか

番号	項目	0床		1～299床		300～499床		500床以上		全体	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
1	持っている	0	0.00%	2	100.00%	0	0.00%	1	33.33%	3	60.00%
2	持っていない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	2	66.67%	2	40.00%
	回答施設合計	0		2		0		3		5	

4-8) その他

2-60. 赤十字血液センターについてご意見があれば記入してください

- ・当院は県境に位置しているが隣県の血液センターのほうが近いので、緊急時だけでも隣県セーから供給を受けたい。
- ・"Web 発注システムを 2023.3.31 までに完成させてほしい。
- ・それ以降に当直者に練習をさせるため。"
- ・特記なし
- ・特になし
- ・いつも柔軟にご対応いただき助かっています。
- ・製剤のセグメントに、血液型と Lot 番号を印字してほしいです。
- ・使用していない項目のにすべて 0 つけるのは考え直してください。 違う方法へ変更するなど等
- ・いつも助かっております。

2-61. 一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会についてご意見があれば記入してください

- ・特記なし
- ・特になし
- ・輸血部が無く、専任医師及び専任検査技師の居ない中小病院にとって、この質問項目は多過ぎ、本業の診療行為に支障をきたすため、もっと項目の削減をして頂きたい。
- ・本調査は、当院のような年間輸血件数が非常に少ない医療機関も調査参加する必要があるのでしょうか？もし必要だとしても、この質問数は多すぎると思えます。輸血管理料を算定していない医療機関は、もっと質問数を減らしてもいいのでは…………。
- ・当調査において、輸血実績以外の変更がない場合には一括チェックできるよう項目を設けて欲しい。
- ・いつも助かっております。